

柏市地域健康福祉アンケート調査報告書
＜市民＞

2024年3月

目次

I 調査の概要	1
1. 調査の目的	1
2. 調査対象	1
3. 調査期間	1
4. 調査方法	1
5. 調査項目	1
6. 回収結果	1
7. 調査結果を見る上での注意点	1
8. 調査結果の要約	2
II 調査結果	5
1. 回答者属性	5
(1) 性別	5
(2) 年代	5
(3) 地域エリア	7
(4) 現在の地区での居住年数	8
(5) 職業	10
(6) 家族構成	11
(7) 居住形態	13
2. 地域との関わりについて	14
(1) 普段の隣近所の方との付き合い方	14
(2) 今後の近所の方との付き合い方	16
(3) 気にかかる人(支援が必要そうな人)がいるか	19
(4) 今住む地域で、充実したい・充実してほしいこと	21
(5) 隣近所や地域の付き合いや関り方において、手助けできると思うこと	23
(6) 今住んでいる地域に愛着はあるか	25
3. 地域での活動について	28
(1) 地域福祉に関するボランティアや市民活動などに取り組んでいるか	28
(2) 地域福祉に関するボランティアに取り組む理由	31
(3) 地域福祉に関するボランティアや市民活動などに現在取り組んでいない理由	32
(4) 地域での支え合いや助け合いに関心を持っているか	33
(5) 地域における助け合いや支えあいの活動を活発にするために、充実すべきだと思うこと	35
4. 健康福祉について	37
(1) 柏市の健康や福祉に関する情報は、入手しやすいと思うか	37
(2) 柏市の健康や福祉に関する情報を主にどこから入手しているか	38
(3) 健康や福祉に関することで困ったときに、相談できる人	39

(4) 健康だと感じているか.....	41
(5) 普段どれくらい外出しているか.....	43
(6) 地域的課題に対し、望む解決方法に近いもの.....	44
(7) 健康や福祉に関する柏市の取組についてどう感じるか.....	45
(8) 以下の相談窓口を知っているか.....	46
5. 安全安心の取組について.....	47
(1) 地域の中で安心して生活できていると感じるか.....	47
(2) 住んでいる地域は障害者・高齢者や子育てをしている方にとって安心して生活できる環境 だと思うか.....	49
(3) 災害が起きた時に支援をしてくれる人はいるか.....	50
(4) 柏市防災福祉 K-Net を知っているか.....	52
(5) 災害発生時の避難行動を想定して、どのような事前準備をしているか.....	53
(6) 近所に「避難行動要支援者」がいた際は、どのような手助けができると思うか.....	54
(7) 「成年後見制度」を知っているか.....	55
(8) 「社会を明るくする運動」という言葉や内容を知っているか.....	56
(9) 非行や犯罪を犯した人の立ち直りや再犯防止に何が必要だと思うか.....	57
6. 市民の考えや意見（自由記述）.....	58
(1) 自由記述の設問・回答数.....	58
(2) 分析方法.....	58
(3) 基礎分析（頻出ワード抽出）.....	58
(4) 詳細分析.....	59
III 資料編（調査票）.....	62

I 調査の概要

1. 調査の目的

柏市第5期地域健康福祉計画の改定にあたり、地域福祉に関する施策の方向性を検討していく際の基礎資料とするため、市民の意識・ニーズ、実態を把握することを目的に実施した。

2. 調査対象

柏市在住の満18歳以上の市民を無作為抽出により抽出した4,000人
(令和5年9月16日現在の住民基本台帳に基づく)

3. 調査期間

令和5年11月7日～11月30日

4. 調査方法

郵送による配布・回収

5. 調査項目

- (1) 地域との関わりについて
- (2) 地域での活動について
- (3) 健康福祉について
- (4) 安全安心の取組について
- (5) 地域共生社会の実現

6. 回収結果

配付数	回収数	有効回答数	有効回収率
4,000通	1,376通	1,371通	34.3%

(注1) 有効回収率は小数点第2位で四捨五入

7. 調査結果を見る上での注意点

- ・表・グラフなどに使われる「n」は、各設問に対する回答者数(調査数)を示している。
- ・回答は各質問の回答者数(N)を基盤とした百分率(%)で示している。また、小数点以下第2位を四捨五入しているため、内訳の合計が100.0%にならない場合がある。
- ・1人の回答者が2つ以上の回答をすることができる設問(複数回答)の場合、回答比率の合計が100.0%を超える場合がある。
- ・本調査は、18歳以上を対象にしているため、20歳以下の数値は、18歳から20歳までの集計値となっている。
- ・クロス集計の場合は、無回答を排除しているため、クロス集計の有効回答数の合計と単純集計(全体)の有効回答数が合致しないことがある。なお、クロス集計とは、複数項目の組み合わせ

せを分類した集計のことで、複数の質問項目を交差して並べ、表やグラフを作成することにより、その相互の関係を明らかにするための集計方法である。

- 本文、表、グラフは、表示の都合上、調査票の選択肢や結果数値等の文言を一部簡略化及び省略している場合がある。
- 回答者数が30未満の場合、比率が上下しやすいため、傾向をみるにとどめ、本文中ではふれていない場合がある。

8. 調査結果の要約

【回答者の属性】

- 回答者の属性は、「男性」が約4割、「女性」が5割台半ばで女性の方が高く、年齢は、60代以上が過半数を占め、回答者の平均年齢は60.4歳である。
- 居住地区は、「田中」地域が最も多く、次いで「豊四季台地域」となっており、概ね地域別の人口比率と地域ごとの回答比率は同程度となっている。
- 家族構成は、50代までは「親と子の2世代世帯」が半数以上を占めるが、60代以降は「夫婦のみ世帯」と「ひとり暮らし世帯」が増加傾向にあり、80代以上の5人に1人は「ひとり暮らし世帯」となっている。居住の形態としては、全体においては「持ち家」が8割以上を占めているが、30代以下については、「持ち家」が6割半ばにとどまり、3割近くは「賃貸」となっている。
- 職業は、正規雇用・非正規雇用・自由業等を合わせた“有職者”が約5割となっており、「その他」が4割を占めている。「その他」の内訳は、多くは無職か年金受給者であった。

【地域との関わりについて】

- 近所との付き合い方は、現状では「あいさつ程度がほとんど」が4割半ば、「会えば親しく話をする人がいる」が3割半ば、「近所の仲の良い人とよく行き来している」及び「近所づきあいをほとんどしていない」は共に1割程度となっている。「近所の仲の良い人とよく行き来している」の割合は、70代が最も高く16.3%、対して最も低かったのは20代以下で0%であった。
- 隣近所の支援が必要そうな人の有無については、「周りに気にかかる人はいない」「支援が必要な人がいるかわからない」という答えが共に3割を超えていることから、近所の状況について手助けの必要な人の存在の把握まではできていない可能性がうかがえる。一方で、手助けできるとすることとしては、「異変を感じた時の市役所などへの連絡」が5割程度、「安否確認の声かけ」が4割台半ばと他項目より高く、「手助けできることはない」は1割に満たないことから、程度の違いはあるが、手助けすること自体に否定的ではないことがうかがえる。
- 今住む地域で充実したい・充実してほしいことは、全体では「何か困った時に相談できる、身近な相談窓口」が半数以上いる。年代別に見ると、20代以下・30代は「子育て世帯や子どもの見守り支援」が最も多く半数以上を占めており、50・60代は、身近な相談窓口に次いで「要支援者（高齢者・障害者等）への生活支援」は4割程度を占めている。

- 今住んでいる地域への愛着度は、全体で見ると「ある」と「どちらかと言えばある」を合わせた“ある”が8割以上となり、肯定的な意見が大半を占めている。年代別に見ると、60代が最も高く“ある”が9割を超えています。一方で、20代・30代については、愛着が“ある”は7割程度にとどまり、「あまりない」と「ない」が合わせて2割を超え、他世代より高くなっている。

【地域での活動について】

- 地域福祉に関するボランティア活動の経験は、「取り組んだことはない」が5割半ばで最も高く、「現在、継続的に取り組んでいる」と「たまに取り組むことがある」を合わせても1割程度となっている。
- ボランティアに取り組む理由としては「社会の役に立ちたいと思ったから」が5割強と最も高く、次いで「自己啓発や自らの成長につながると考えるため」が約4割、「自分や家族が関係している活動への支援」が約3割となっている。
- ボランティアに取り組んだことのない理由は、「興味・関心がない」「面倒な気がする」といった回答もそれぞれ1割程度あるが、「時間がない」(23.3%)、「どのようなボランティア活動があるか知らないため」(11.7%)、「きっかけがないため」(11.0%)、「一人で参加する自信がないため」(7.8%)といった、障害となっている部分の排除やきっかけがあれば、活動に取り組める可能性のある方は5割程度の結果であった。
- 地域での支え合いや助け合いへの関心については、「とても関心がある」が1割程度、「少し関心がある」6割程度と、“関心のある”層が7割を超えている。関心の変化については、以前(平成29年度調査)と比べると、「とても関心がある」の割合はほぼ同じであるが、「少し関心がある」割合が1割程度増加しており、少し関心がある人が増えつつある。
- 地域活動の活発化に向けて充実すべき点は、半数以上が「日頃から近所や地域で助け合える信頼関係を築くこと」と「福祉に関する情報が住民に行き届くこと」が必要であると回答している。

【健康福祉について】

- 柏市の健康や福祉に関する情報の入手のしやすさは、「入手しやすい」「どちらかといえば入手しやすい」の割合が、以前(平成29年度調査)よりは微増してはいるものの、未だ4割に満たない状態であり、約6割は課題がある状態となっている。市の情報を得る手段としては「市が発信している行政情報(市のホームページ・SNS等)」が約6割と最も高く、次いで「回覧板や町会掲示板」が3割強となっている。
- 健康や福祉について困ったことがあった際の相談先は、「家族」が8割以上、次いで「友人」が約3割、「親戚」や「近所の人」がそれぞれ1割台半ばとなっている。相談先について、年代別に見ると、年齢が高い人ほど「近所の人」の割合が高くなり、若い人ほど「職場の上司や同僚」が高くなる傾向がある。
- 地域福祉に関する相談窓口の認知度については、「名前も機能も知っている」と「名前は知っている」を合わせた“認知度”は、「民生委員・児童委員」が最も高く8割弱となっています。

「社会福祉協議会」の“認知度”も6割と高い割合ではあるが、「名前も機能も知っている」は2割弱にとどまっている。

- 柏市の健康・福祉の取り組みについて、「地域活動（イベント等）の場」は「充実している」「どちらかといえば充実している」が3割程度と、比較的高くなっているが、ほとんどの取組については「充実していない」と「わからない」で半数以上を占めている。

【安全安心の取組について】

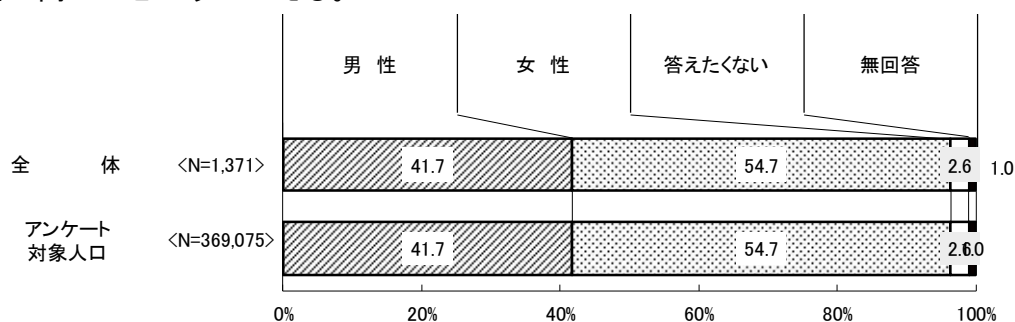
- 地域の中で安心して生活できているかについては、安心を「感じている」「どちらかといえば感じている」を合わせて“感じている”が8割強を占めている。住んでいる地域が障害者・高齢者、子育てをしている方にとって安心して生活できる環境だと思うかについては、「そう思う」は1割程度とあまり高くないが、「どちらかといえばそう思う」が53.4%と合わせると“そう思う”が6割を超えている。
- 災害が起きた時に支援してくれる人としては、「家族」が82.6%で最も高く、「親戚」「近所の人」「友人」が25%程度となっている。
- 柏市内の避難行動要支援者と支援者をつなぐネットワーク「柏市防災福祉K-Net」の認知については、「名前も内容も知っている」と「名前は聞いたことはあるが、内容はわからない」を合わせても認知率は3割弱にとどまっている。年代別で見ると、高い年齢層ほど認知率は高くなる傾向はあるが、最も認知率の高い80代以上でも、4割程度であった。
- 避難行動要支援者が近所にいた場合にどのような手助けができるかについては、「避難の際の声掛け」が最も多く、7割弱となっています。次いで「一緒に避難する」が多く、約4割となっている。対して、「その人の家族など関係先に連絡する」や「避難所での身の回りの世話」などは、できると回答した人が2割を切っており、「手助けはできない」という方も1割程度となっている。
- 「成年後見人制度」の認知度は、「言葉・制度の内容共に知っている」は3割程度で、「言葉は聞いたことがあるが、内容はわからない」は4割強で、合わせると8割近くになる。年代別で見ると、20代以下の認知度が最も低く約6割となっており、年代が上がるにつれ認知度は少しずつ高くなる傾向がある。
- 犯罪や非行のない安全で安心な明るい地域社会を築くための全国的な運動である「社会を明るくする運動」という言葉の認知度をみると「言葉・制度の内容ともに知っている」は1割にも満たず、「言葉は聞いたことがあるが、内容はわからない」と合わせても、3割にとどまっている。年代別で見ると、80代以上の認知度が最も高く、5割程度となっている。
- 非行や犯罪を犯した人への立ち直りや再犯防止のために必要な支援については、「仕事に就く機会を充実することや教職雇用主を増やすこと」が最も高く、約6割となっている。

II 調査結果

1. 回答者属性

(1) 性別

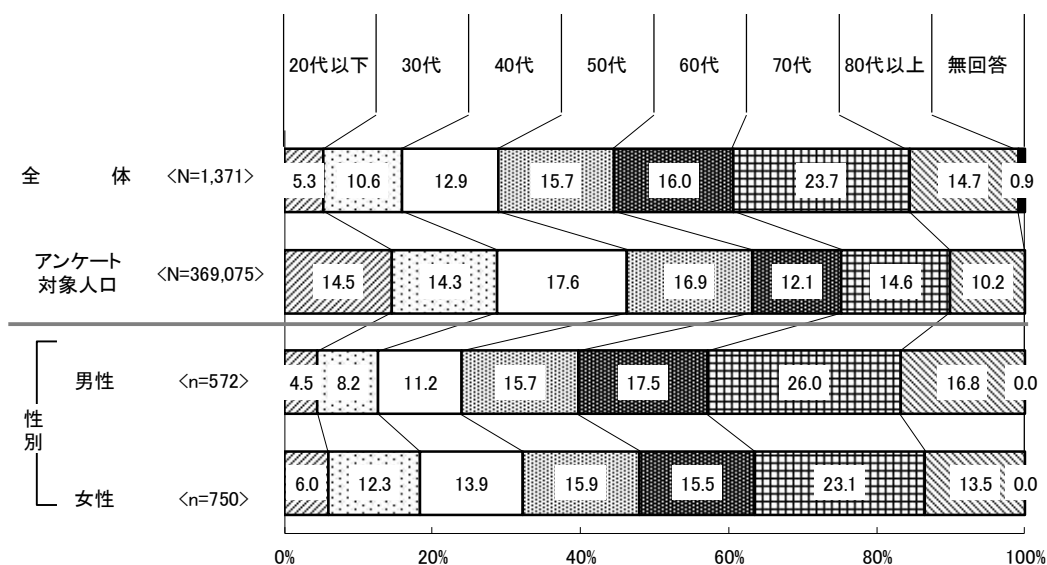
- 男性の割合が41.7%、女性の割合が54.7%であった。
- 18歳以上の柏市総人口の性別比率とアンケートの回答率を比較すると、女性の回答者の割合が高いことがうかがえる。



※アンケート対象人口：令和5年10月時点の住民基本台帳に登録のある18歳以上のかたの人口

(2) 年代

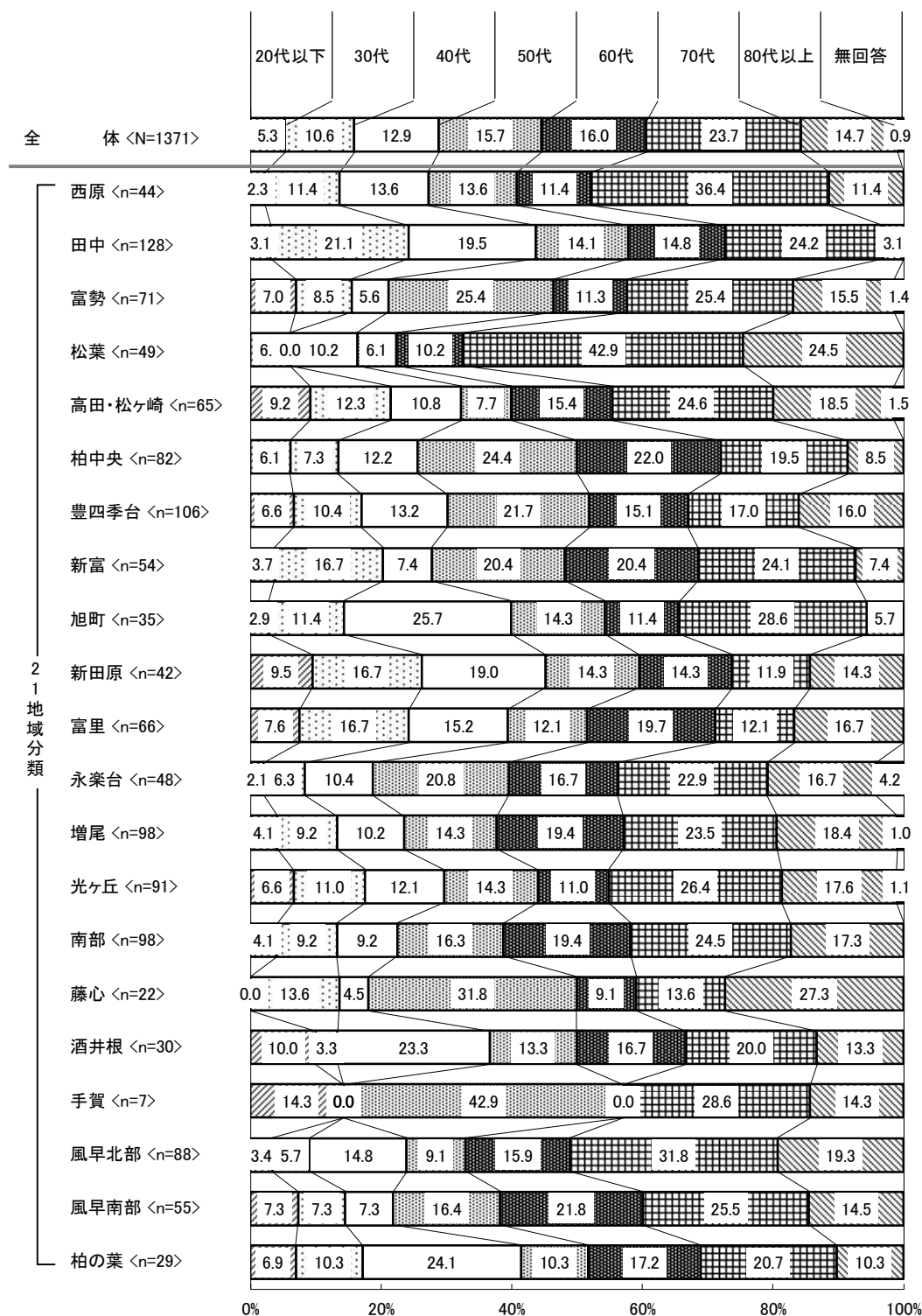
- 回答者全体の年代の内訳は、70代の割合が23.7%で最も多く、以下、80代以上の割合が14.7%、60代の割合が16.0%、50代の割合が15.7%などと続いている。平均は60.4歳である。
- 男女別にみると、男性の方が総じて年齢は高めで、平均も男性が62.5歳、女性が59.1歳である。
- 18歳以上の柏市総人口の年齢構成比とアンケートの回答者における年齢構成比を比較すると、若年層より高齢層の方が回答率がよいことがうかがえる。



※アンケート対象人口：令和5年10月時点の住民基本台帳に登録のある18歳以上のかたの人口

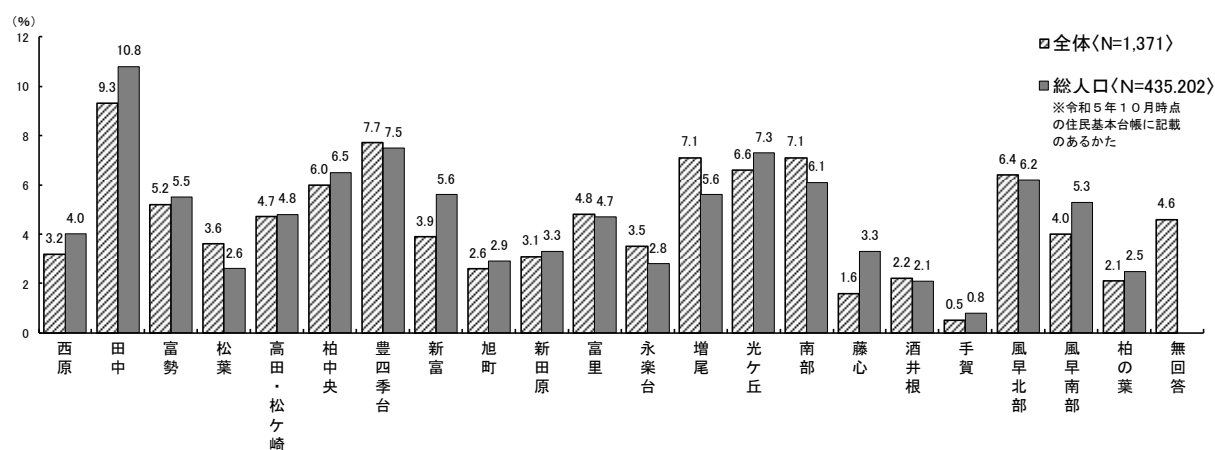
【地域別】

- 21 地域分類別では、回答者の平均年齢が高いのは松葉が 68.6 歳、風早北部が 64.8 歳、藤心が 63.6 歳、永楽台が 63.5 歳、増尾が 62.8 歳などとなっている。一方、年齢が低いのは、新田原が 54.2 歳、田中が 54.9 歳、富里が 56.7 歳などとなっている。



(3) 地域エリア

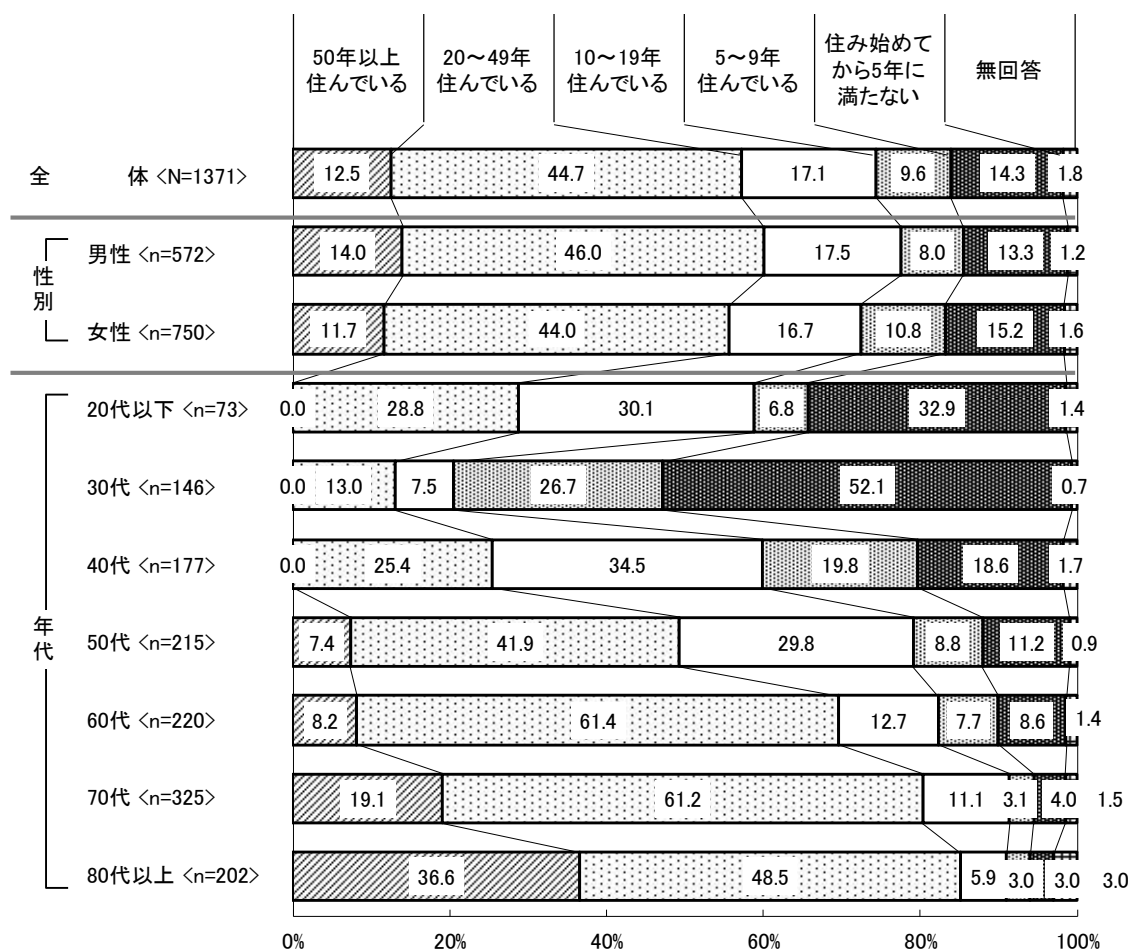
- 回答者の地域エリアは、田中が9.3%、豊四季台が7.7%、増尾と南部が7.1%などとなっている。一方、少ないのは手賀0.5%、などである。
- 地域別人口構成比と今回のアンケート調査回答者の地域別構成比は、同じ程度である。



(4) 現在の地区での居住年数

問) あなたは現在の地区に何年住んでいますか。

- 「20～49 年住んでいる」(44.7%) が最も多く、以下「10～19 年住んでいる」(17.1%)、「住み始めてから 5 年に満たない」(14.3%)、「50 年以上住んでいる」(12.5%) などの順で、平均は「26.7 年」となっている。
- 性別にみると、男性の方が女性よりも居住年数は総じて長く、平均も「男性」(27.7 年)、「女性」(26.0 年) と男性の方が長めである。
- 年代別にみると、当然ながら年代が上がるほど居住年数は長くなっている。



【地域別】

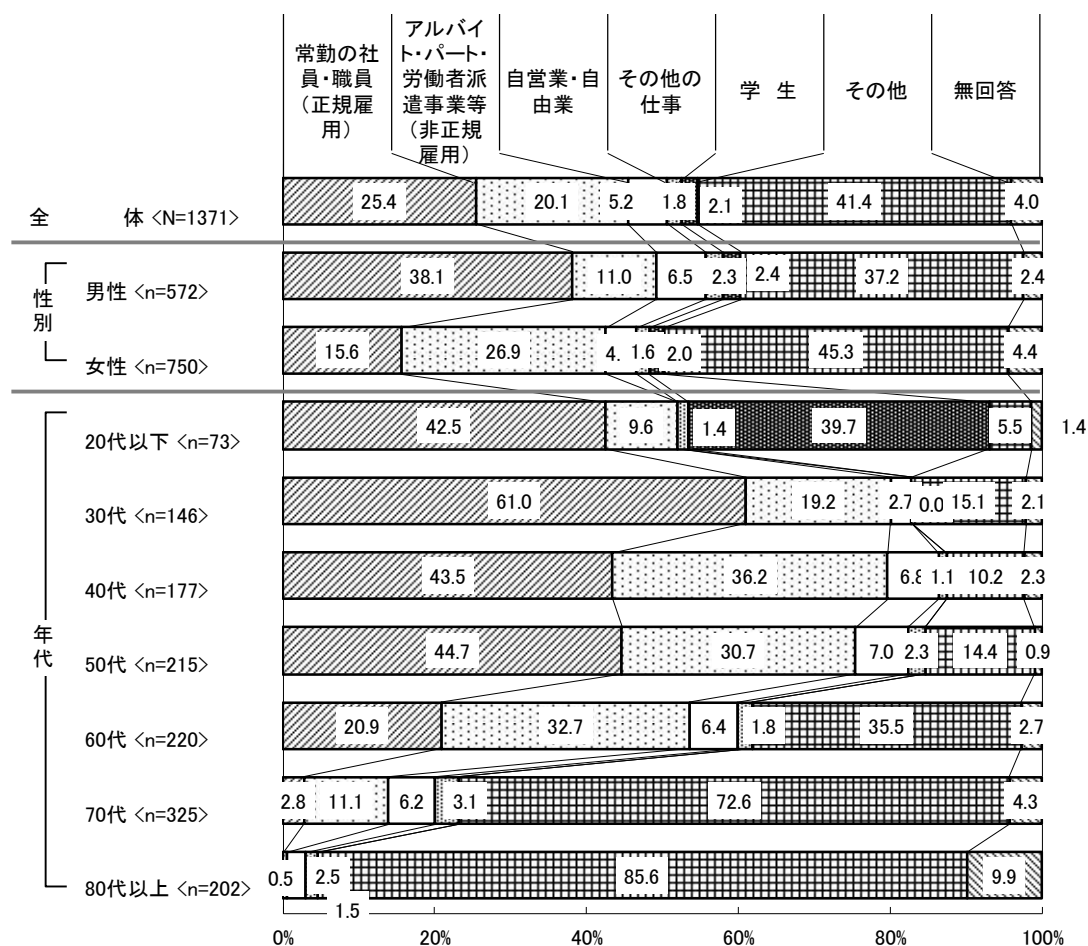
- ・ 21 地域分類別では、ほとんどの地域が「20-49 年住んでいる」割合が一番高く、地域の中での構成割合を見ると、地域別に違いがみられる。

		サンプル数 上段：人 下段：%						無回答
			50年以上住 んでいる	20～49年住 んでいる	10～19年住 んでいる	5～9年住ん でいる	住み始めて から5年に 満たない	
全 体		1371 100.0	171 12.5	613 44.7	234 17.1	132 9.6	196 14.3	25 1.8
21地域分類	西原	44 100.0	8 18.2	23 52.3	4 9.1	4 9.1	5 11.4	- -
	田中	128 100.0	10 7.8	42 32.8	22 17.2	21 16.4	33 25.8	- -
	富勢	71 100.0	10 14.1	35 49.3	15 21.1	2 2.8	9 12.7	- -
	松葉	49 100.0	2 4.1	39 79.6	5 10.2	2 4.1	1 2.0	- -
	高田・松ヶ崎	65 100.0	12 18.5	29 44.6	5 7.7	9 13.8	10 15.4	- -
	柏中央	82 100.0	8 9.8	35 42.7	20 24.4	10 12.2	9 11.0	- -
	豊四季台	106 100.0	24 22.6	24 22.6	19 17.9	13 12.3	26 24.5	- -
	新富	54 100.0	3 5.6	21 38.9	15 27.8	11 20.4	4 7.4	- -
	旭町	35 100.0	3 8.6	12 34.3	8 22.9	6 17.1	6 17.1	- -
	新田原	42 100.0	4 9.5	14 33.3	11 26.2	6 14.3	7 16.7	- -
	富里	66 100.0	8 12.1	30 45.5	13 19.7	5 7.6	10 15.2	- -
	永楽台	48 100.0	7 14.6	24 50.0	7 14.6	3 6.3	7 14.6	- -
	増尾	98 100.0	17 17.3	52 53.1	14 14.3	5 5.1	9 9.2	1 1.0
	光ヶ丘	91 100.0	18 19.8	32 35.2	11 12.1	11 12.1	19 20.9	- -
	南部	98 100.0	11 11.2	62 63.3	7 7.1	7 7.1	11 11.2	- -
	藤心	22 100.0	5 22.7	5 22.7	9 40.9	1 4.5	2 9.1	- -
	酒井根	30 100.0	1 3.3	18 60.0	7 23.3	- -	4 13.3	- -
	手賀	7 100.0	3 42.9	4 57.1	- -	- -	- -	- -
	風早北部	88 100.0	4 4.5	57 64.8	15 17.0	4 4.5	8 9.1	- -
	風早南部	55 100.0	7 12.7	29 52.7	9 16.4	4 7.3	5 9.1	1 1.8
	柏の葉	29 100.0	- -	9 31.0	8 27.6	6 20.7	6 20.7	- -

(5) 職業

問) あなたの職業は何ですか。

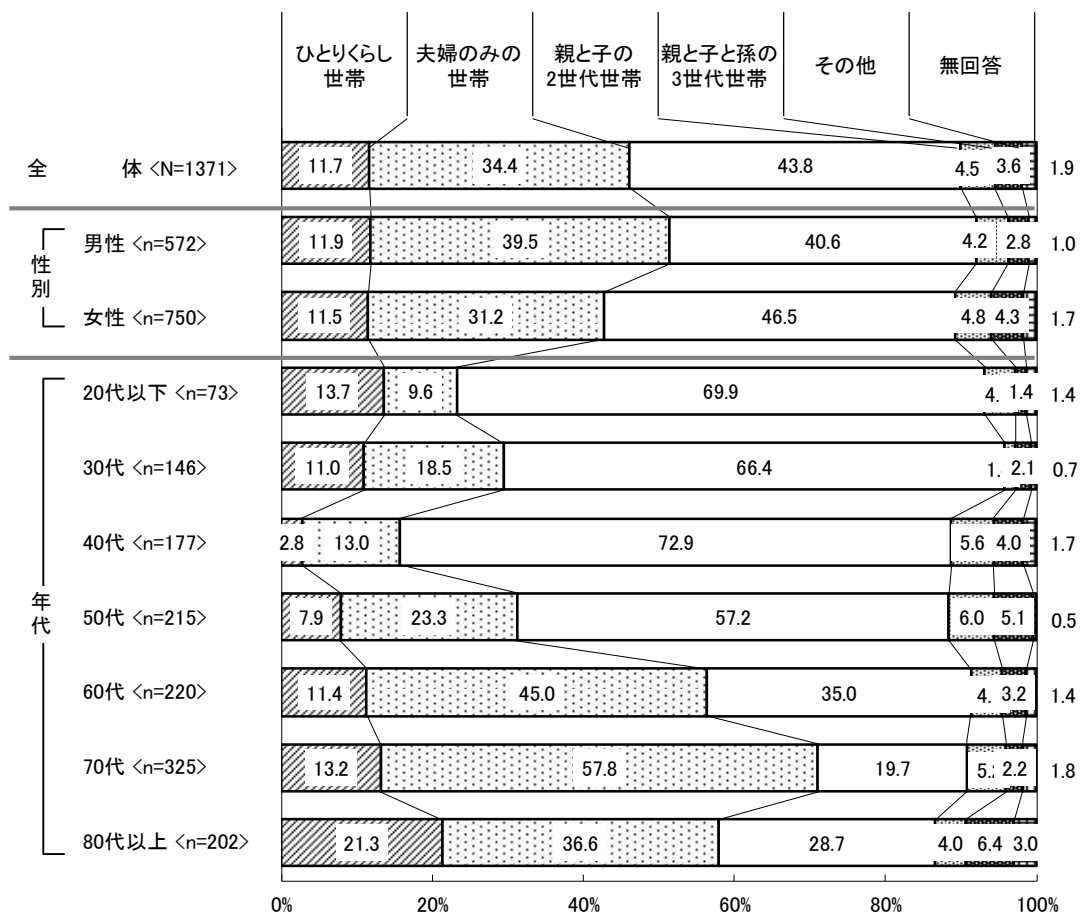
- 「常勤の社員・職員（正規雇用）」（25.4%）、「アルバイト・パート・労働者派遣事業等（非正規雇用）」（20.1%）、「自営業・自由業」（5.2%）、「その他の仕事」（1.8%）となり、約半数（52.5%）が有職者となっている。
- 職業で最も多いのは「その他」（41.4%）で、具体的には「無職／年金」が多くなっている。
- 属性別にみると、まず性別では、「常勤の社員・職員（正規雇用）」は「男性」（38.1%）の方が「女性」（15.6%）よりもかなり多くなっている。逆に、「アルバイト・パート・労働者派遣事業等（非正規雇用）」は、「男性」（11.0%）よりも「女性」（26.9%）の方がかなり多い。
- 年代別では、60代以上では年代が上がるほど「その他」が多くなっている。また、30代をピークとして「常勤の社員・職員（正規雇用）」は若い人ほど高い割合である。



(6) 家族構成

問) あなたの家族構成を選んでください。

- 家族構成としては、「親と子の2世代世帯」(43.8%)が最も多く、次いで「夫婦のみの世帯」(34.4%)となっている。
- 80代以上の5に1人は、ひとり暮らしであった。
- 年代別によると、50代以下は、「親と子の2世代世帯」の割合が多くを占めるが、60代以上になると、「夫婦のみの世帯」が多くなっている。



【地域別】

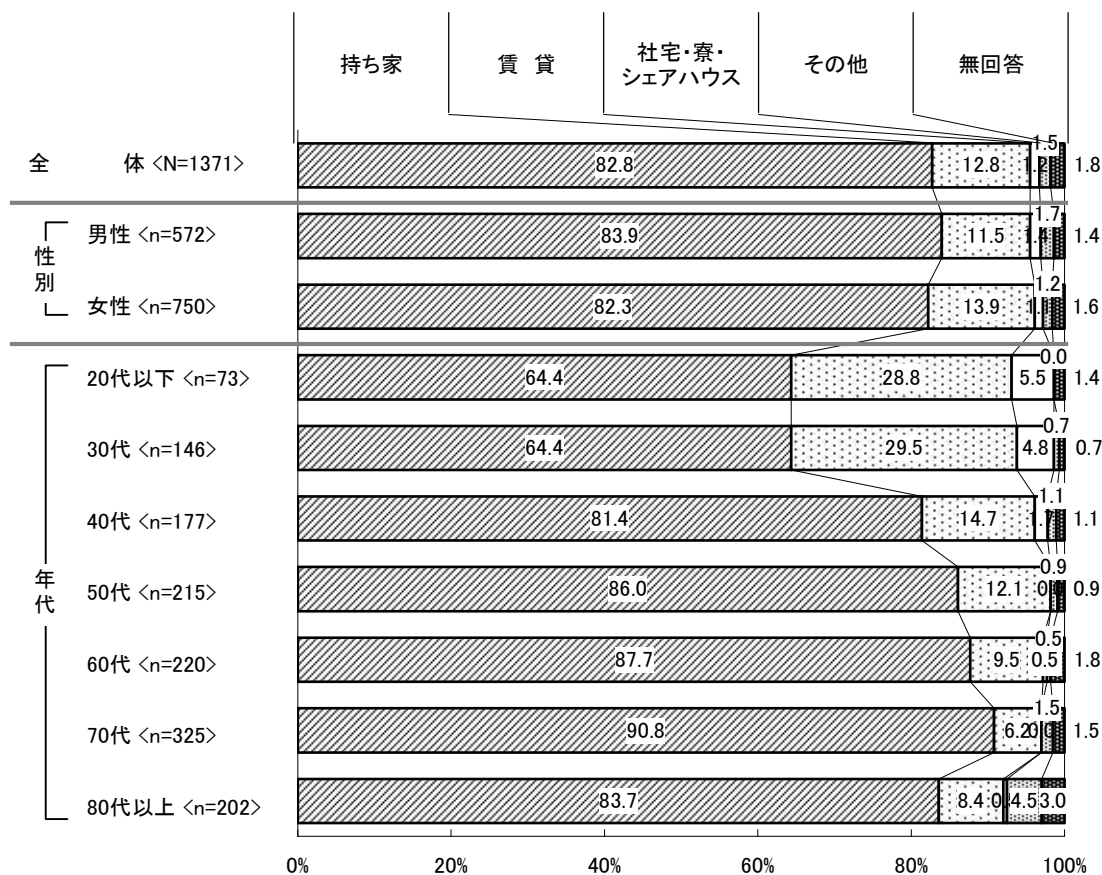
- 21 地域分類別では、「親と子の2世代世帯」の割合が高い地域が一番多いが、地域の中での構成割合を見ると、地域別に違いがみられる。

		サンプル数 上段：人 下段：%						無回答
			ひとりくらし 世帯	夫婦のみの 世帯	親と子の2 世代世帯	親と子と孫 の3世代世 帯	その他	
全 体		1371 100.0	161 11.7	471 34.4	601 43.8	62 4.5	50 3.6	26 1.9
21地域分類	西原	44 100.0	3 6.8	16 36.4	24 54.5	1 2.3	－ －	－ －
	田中	128 100.0	16 12.5	34 26.6	62 48.4	11 8.6	5 3.9	－ －
	富勢	71 100.0	7 9.9	30 42.3	30 42.3	2 2.8	1 1.4	1 1.4
	松葉	49 100.0	5 10.2	27 55.1	15 30.6	1 2.0	1 2.0	－ －
	高田・松ヶ崎	65 100.0	14 21.5	17 26.2	30 46.2	1 1.5	3 4.6	－ －
	柏中央	82 100.0	15 18.3	27 32.9	37 45.1	2 2.4	1 1.2	－ －
	豊四季台	106 100.0	15 14.2	33 31.1	45 42.5	5 4.7	8 7.5	－ －
	新富	54 100.0	6 11.1	21 38.9	23 42.6	4 7.4	－ －	－ －
	旭町	35 100.0	4 11.4	10 28.6	17 48.6	2 5.7	2 5.7	－ －
	新田原	42 100.0	1 2.4	11 26.2	26 61.9	2 4.8	2 4.8	－ －
	富里	66 100.0	6 9.1	25 37.9	29 43.9	3 4.5	3 4.5	－ －
	永楽台	48 100.0	6 12.5	20 41.7	16 33.3	4 8.3	2 4.2	－ －
	増尾	98 100.0	8 8.2	45 45.9	36 36.7	1 1.0	7 7.1	1 1.0
	光ヶ丘	91 100.0	13 14.3	29 31.9	44 48.4	3 3.3	2 2.2	－ －
	南部	98 100.0	14 14.3	23 23.5	51 52.0	7 7.1	3 3.1	－ －
	藤心	22 100.0	2 9.1	10 45.5	9 40.9	1 4.5	－ －	－ －
	酒井根	30 100.0	2 6.7	11 36.7	15 50.0	－ －	2 6.7	－ －
	手賀	7 100.0	－ －	2 28.6	5 71.4	－ －	－ －	－ －
	風早北部	88 100.0	13 14.8	31 35.2	39 44.3	3 3.4	2 2.3	－ －
	風早南部	55 100.0	5 9.1	23 41.8	21 38.2	3 5.5	2 3.6	1 1.8
	柏の葉	29 100.0	4 13.8	12 41.4	11 37.9	－ －	2 6.9	－ －

(7) 居住形態

問) あなたのお住まいの居住形態は、どれにあたりますか。

- 居住形態は、「持ち家」が8割強(82.8%)を占めて圧倒的に多い。次いで、「賃貸」(12.8%)が1割程度となっている。
- 性別ではほとんど差はない。
- 年代別では、20代、30代では「持ち家」の割合はいずれも64.4%で、それより上の年代に比べて低く、その分「賃貸」の割合が3割近くと高くなっている。

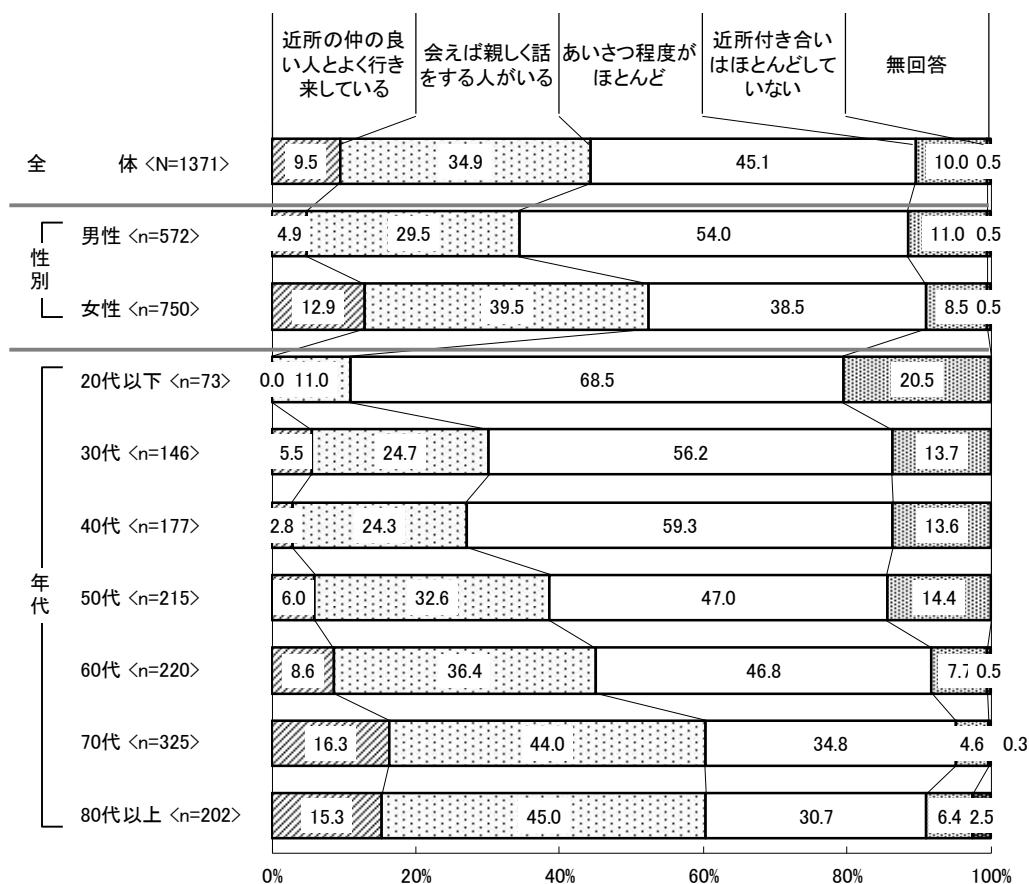


2. 地域との関わりについて

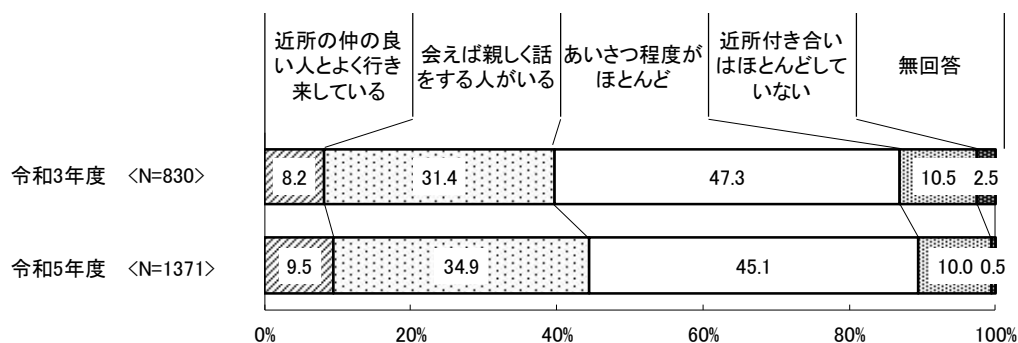
(1) 普段の隣近所の方との付き合い方

問) あなたは、ふだん隣近所の人とどのような付き合い方をしていますか。

- ・ 隣近所の方との付き合い方は、「あいさつ程度がほとんど」(45.1%)、「会えば親しく話をする人がある」(34.9%)のどちらかが多く、「近所付き合いはほとんどしていない」(10.0%)、「近所の仲の良い人とよく行き来している」(9.5%)は1割程度である。
- ・ 性別にみると、男性よりも女性の方が近所付き合いは深い傾向がみられる。
- ・ 年代別にみると、年代が上がるほど近所付き合いは深く、特に70代、80代以上でその傾向が強い。
- ・ 同設問を以前(令和3年度調査)の結果と比較すると、大きな変動はなかった。

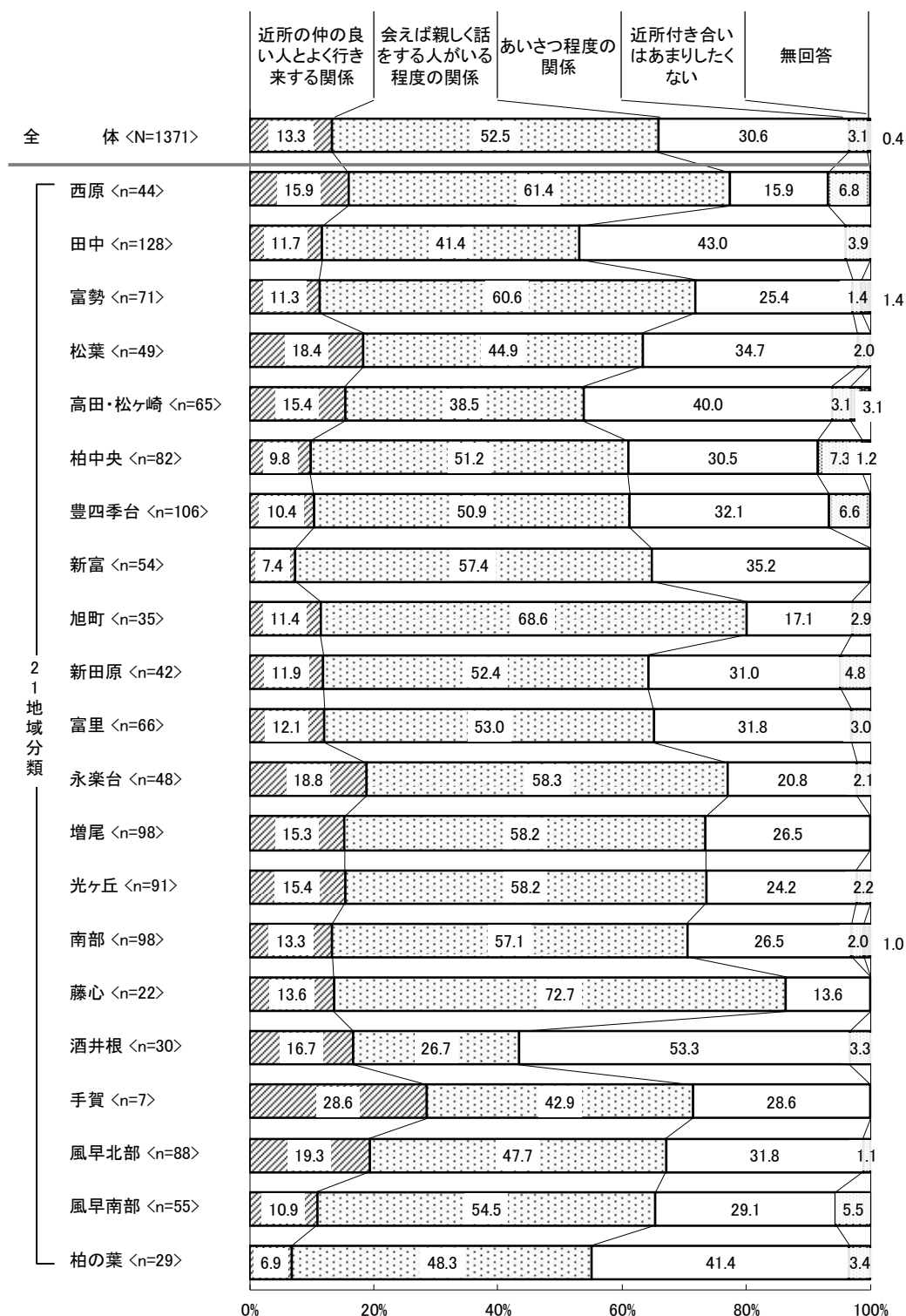


【前回調査比較】



【地域別の状況】

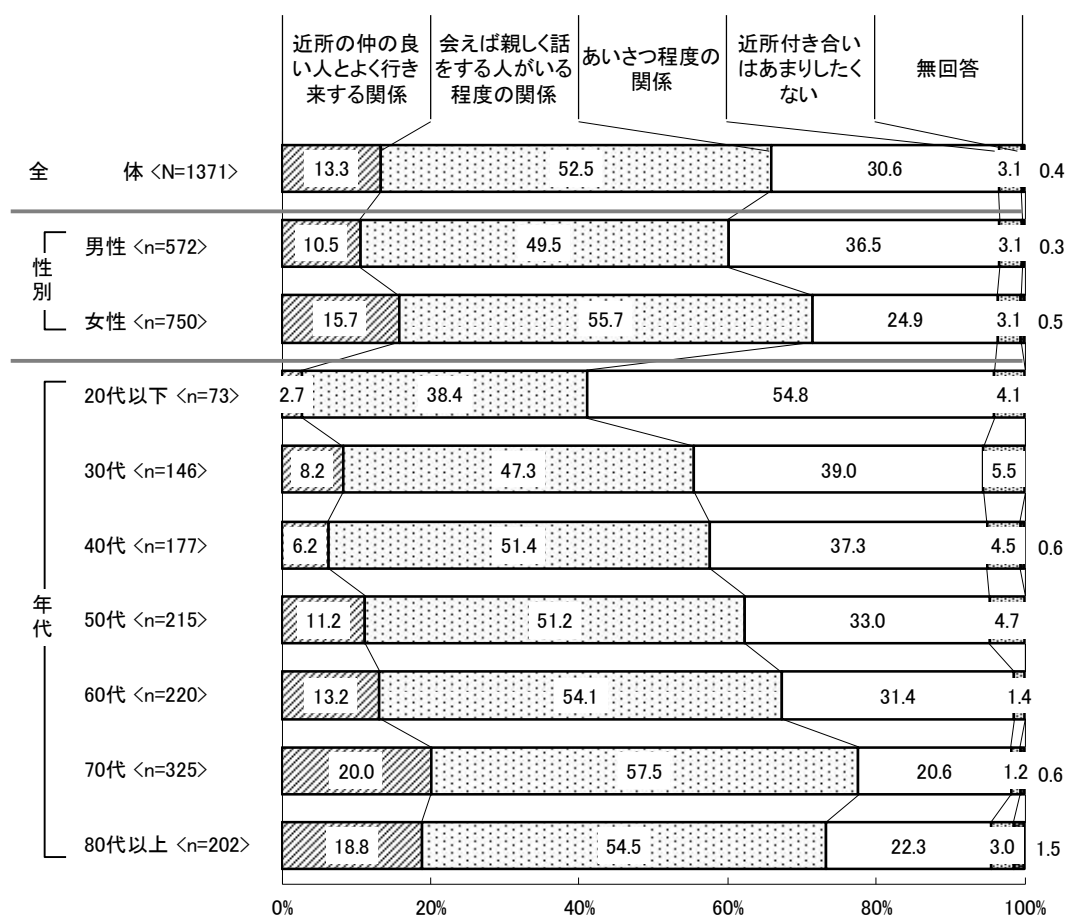
- 21 地域分類別にみると、「会えば親しく話をする人がいる」が多いのは「西原」（50.0%）、「富勢」（47.9%）、「藤心」（45.5%）であった。
- 一方で、「近所づきあいがほとんどしていない」の割合が比較的高い地域は、「柏の葉」（17.2%）、「柏中央」（17.1%）、「富里」（16.7%）、豊四季台（16.0%）であった。



(2) 今後の近所の方との付き合い方

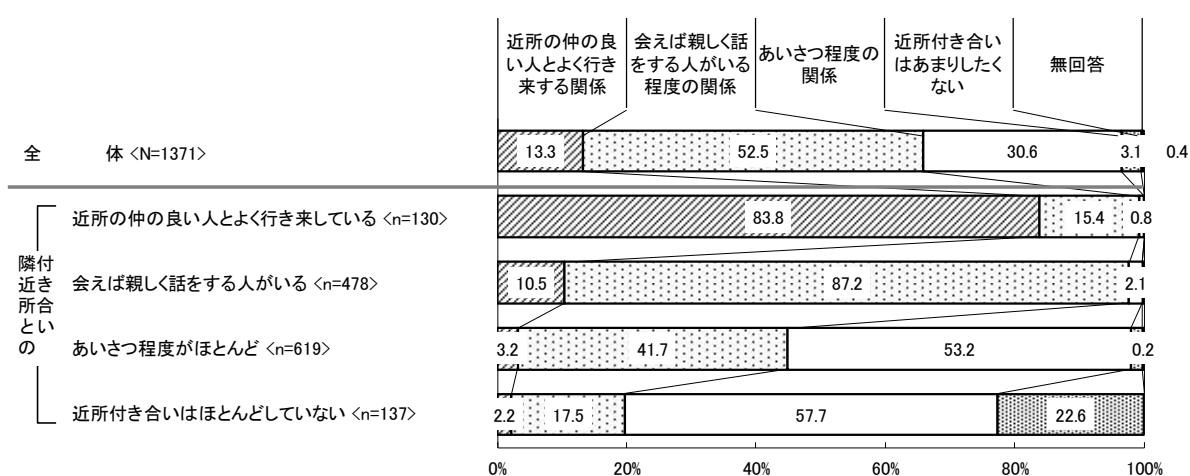
問) あなたは、今後隣近所の人とどのような付き合い方をしていきたいですか。

- 今後、どのような近所付き合いをしていきたいかについては、「会えば親しく話をする人がいる程度の関係」(52.5%)が半数を超えて最も多く、「あいさつ程度の関係」は約3割(30.6%)となっている。前項の結果と比べて分析すると、現状の近所付き合いよりも親密な付き合いを求めていると言える。
- 性別にみると、男性よりも女性の方が、より深い付き合いを要望している。
- 年代別にみると、年代が上がるほどより親密な付き合いを求めている。



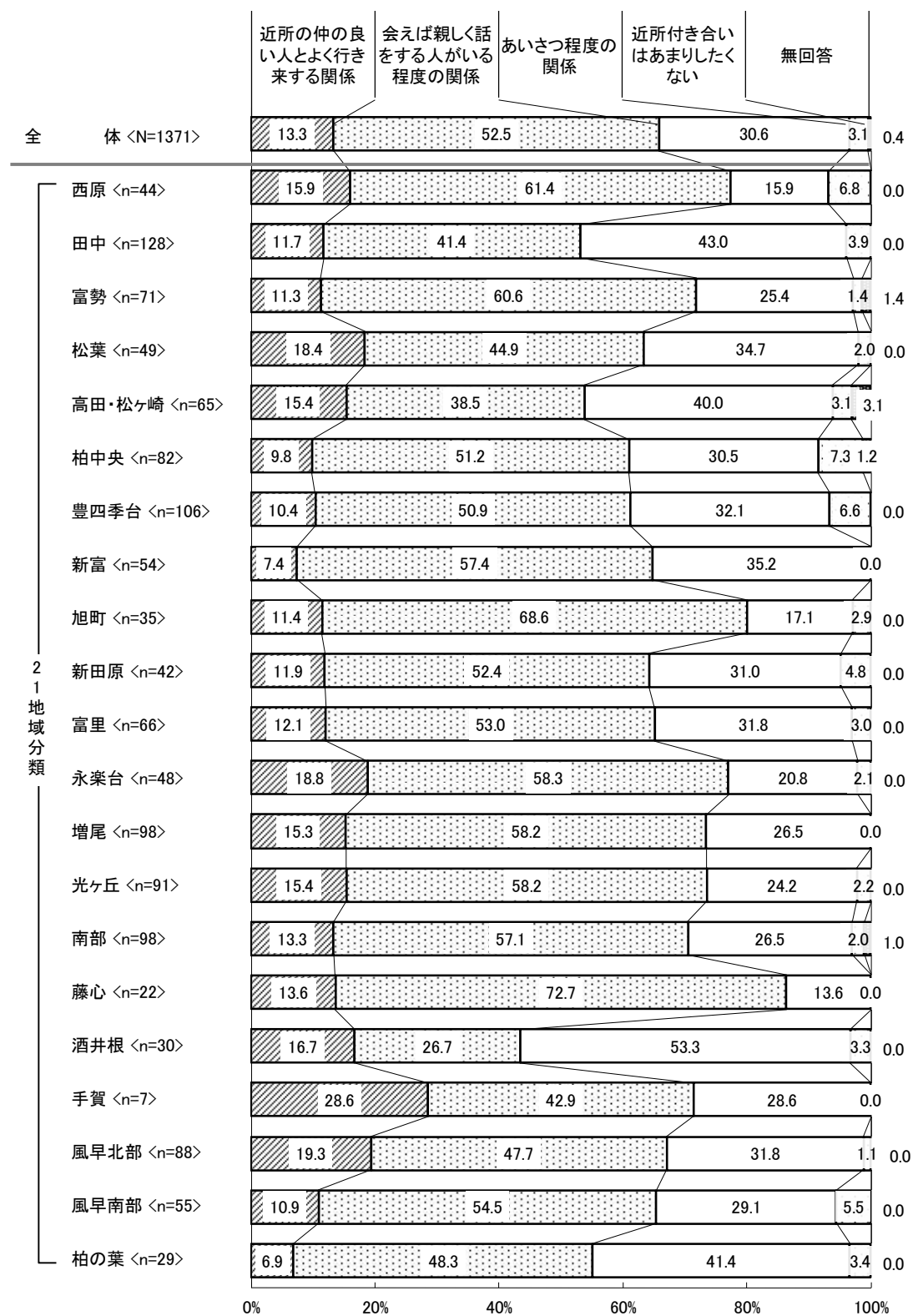
【隣近所との現状の付き合いの状況別】

- 隣近所との現状の付き合いの状況別にみると、現在、「近所の仲の良い人とよく行き来している」方は、「近所の仲の良い人とよく行き来する関係」（83.8%）、「会えば親しく話をする人がいる」人でも「会えば親しく話をする人がいる程度の関係」（87.2%）がほとんどであり、現状の付き合いのレベルを続けていきたい人が多くなっている。
- 現在、「あいさつ程度がほとんど」の方は「あいさつ程度の関係」（53.2%）に次いで「会えば親しく話をする人がいる程度の関係」（41.7%）も多くなり、「近所付き合いはほとんどしていない」人では「近所付き合いはほとんどしていない」（22.6%）よりも「近所付き合いはほとんどしていない」（57.7%）の方が多くなっている。
- 近所付き合いが少ない人ほど、現状より一歩進んだ親密な付き合いを求めている。



【地域別の状況】

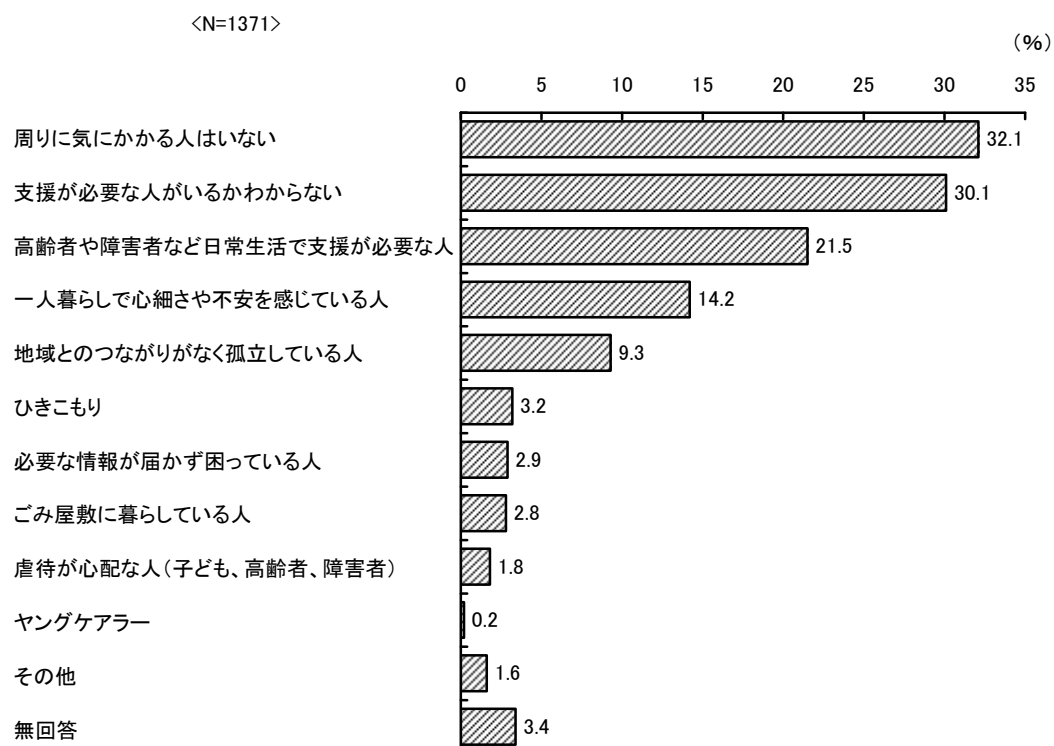
- 21 地域分類別の結果は、以下のとおりである。



(3) 気にかかる人(支援が必要そうな人)がいるか

問) あなたの隣近所には、次のように気にかかる人(支援が必要そうな人)がいますか。
(複数回答)

- 「周りに気にかかる人はいない」(32.1%)、「支援が必要な人があるかわからない」(30.1%)という回答が多くなっている。具体的に気にかかる人(支援が必要そうな人)をあげている回答としては、「高齢者や障害者など日常生活で支援が必要な人」(21.5%)、「一人暮らしで心細さや不安を感じている人」(14.2%)、「地域とのつながりがなく孤立している人」(9.3%)などの順となっている。



【地域別の状況】

- 21 地域分類別の結果は、以下のとおりである。

(%)

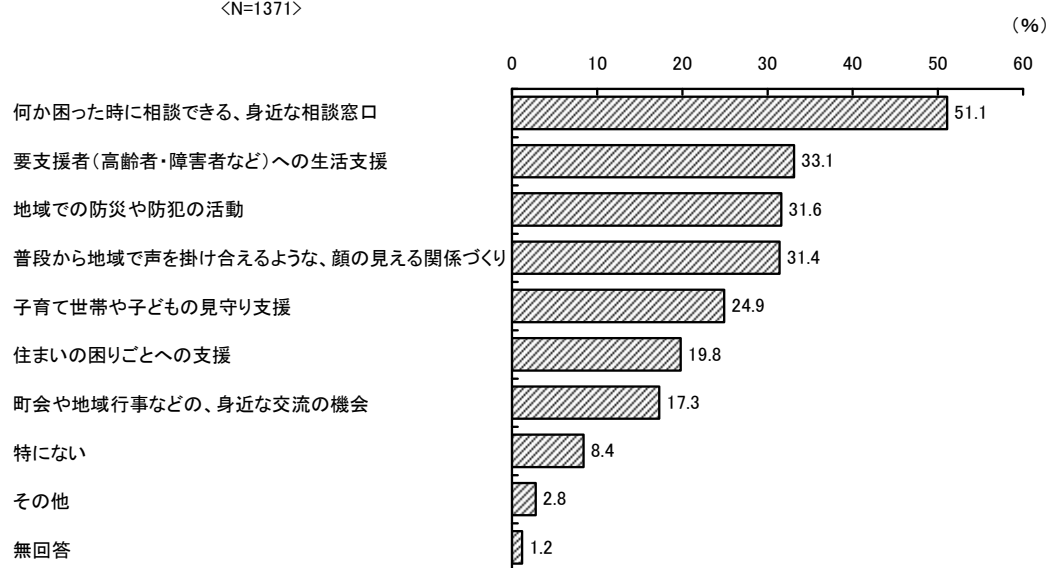
	サンプル数	周りに気にかかる人はいない	支援が必要な人がいるかわからない	高齢者や障害者など日常生活で支援が必要な人	一人暮らしで心細さや不安を感じている人	地域とのつながりがなく孤立している人	ひきこもり	必要な情報が届かず困っている人	ごみ屋敷に暮らしている人	虐待が心配な人（子ども・高齢者・障害者）	ヤングケアラー	その他	無回答
全 体	1371	32.1	30.1	21.5	14.2	9.3	3.2	2.9	2.8	1.8	0.2	1.6	3.4
21 地域分類	西原	44	38.6	18.2	29.5	20.5	13.6	－	4.5	－	4.5	－	－
	田中	128	41.4	39.8	10.9	5.5	2.3	1.6	－	0.8	2.3	－	2.3
	富勢	71	28.2	31.0	21.1	16.9	8.5	2.8	2.8	4.2	2.8	1.4	2.8
	松葉	49	28.6	28.6	24.5	14.3	6.1	－	－	－	－	－	2.0
	高田・松ヶ崎	65	29.2	35.4	13.8	9.2	9.2	3.1	1.5	1.5	－	－	1.5
	柏中央	82	35.4	30.5	17.1	6.1	8.5	－	3.7	1.2	3.7	－	1.2
	豊四季台	106	28.3	36.8	25.5	13.2	10.4	4.7	4.7	0.9	1.9	－	1.9
	新富	54	25.9	25.9	29.6	27.8	20.4	7.4	－	7.4	1.9	－	1.9
	旭町	35	34.3	25.7	17.1	11.4	5.7	5.7	2.9	2.9	2.9	－	－
	新田原	42	28.6	33.3	16.7	11.9	4.8	2.4	2.4	7.1	2.4	2.4	4.8
	富里	66	36.4	28.8	22.7	10.6	6.1	3.0	4.5	1.5	－	－	3.0
	永楽台	48	33.3	25.0	20.8	16.7	6.3	－	2.1	2.1	－	－	－
	増尾	98	32.7	26.5	28.6	17.3	14.3	7.1	8.2	2.0	1.0	1.0	－
	光ヶ丘	91	29.7	25.3	25.3	23.1	11.0	3.3	1.1	3.3	1.1	－	2.2
	南部	98	31.6	26.5	23.5	19.4	10.2	6.1	1.0	5.1	4.1	－	1.0
	藤心	22	54.5	22.7	9.1	－	9.1	4.5	－	4.5	－	－	－
	酒井根	30	40.0	20.0	30.0	10.0	6.7	3.3	3.3	6.7	－	－	－
	手賀	7	14.3	14.3	14.3	14.3	14.3	－	－	14.3	－	－	－
	風早北部	88	25.0	22.7	33.0	21.6	17.0	4.5	8.0	2.3	3.4	－	2.3
	風早南部	55	34.5	43.6	7.3	12.7	7.3	－	1.8	－	－	－	1.8
	柏の葉	29	27.6	48.3	13.8	6.9	－	－	3.4	3.4	－	－	－

(4) 今住む地域で、充実したい・充実してほしいこと

問) これからも、あなたが今住む地域で、あなたらしく暮らしていくために、充実したい・充実してほしいことはなんですか。(上位3つ選択)

- 「何か困った時に相談できる、身近な相談窓口」(51.1%)は半数以上があげており最も多く、以下「要支援者(高齢者・障害者など)への生活支援」(33.1%)、「地域での防災や防犯の活動」(31.6%)、「普段から地域で声を掛け合えるような、顔の見える関係づくり」(31.4%)、「子育て世帯や子どもの見守り支援」(24.9%)、「住まいの困りごとへの支援」(19.8%)などがあげられている。
- 性別にみると、あまり差はみられなかった。
- 年代別にみると、20代・30代は「子育て世帯や子どもの見守り支援」を求める割合が多く、40代以上は「何か困った時に相談できる、身近な相談窓口」を求める割合が多い。

<N=1371>



		サンプル数	何か困った時に相談できる、身近な相談窓口	要支援者(高齢者・障害者など)への生活支援	地域での防災や防犯の活動	普段から地域で声を掛け合えるような、顔の見える関係づくり	子育て世帯や子どもの見守り支援	住まいの困りごとへの支援	町会や地域行事などの、身近な交流の機会	特にない	その他	無回答
全 体		1371	51.1	33.1	31.6	31.4	24.9	19.8	17.3	8.4	2.8	1.2
性別	男性	572	49.8	32.5	36.0	29.9	24.1	18.4	19.1	8.9	3.3	1.0
	女性	750	53.3	33.5	28.7	32.9	25.6	20.9	15.7	7.5	2.3	1.2
年代	20代以下	73	35.6	17.8	27.4	15.1	53.4	19.2	13.7	13.7	2.7	-
	30代	146	34.2	19.2	41.8	23.3	65.8	21.9	15.8	4.1	4.1	-
	40代	177	50.3	32.8	33.9	24.3	42.4	25.4	15.3	6.2	2.8	-
	50代	215	60.5	43.7	35.8	25.1	19.1	21.4	13.0	6.0	3.7	1.4
	60代	220	60.9	39.5	34.1	32.7	17.7	27.3	13.2	5.5	1.8	-
	70代	325	57.8	31.1	29.2	37.5	11.1	13.2	21.5	10.2	1.8	1.5
	80代以上	202	40.1	33.7	21.3	43.1	6.9	14.4	22.8	13.9	3.0	3.5

【地域別の状況】

- 21 地域分類別の結果は、以下のとおりである。

(%)

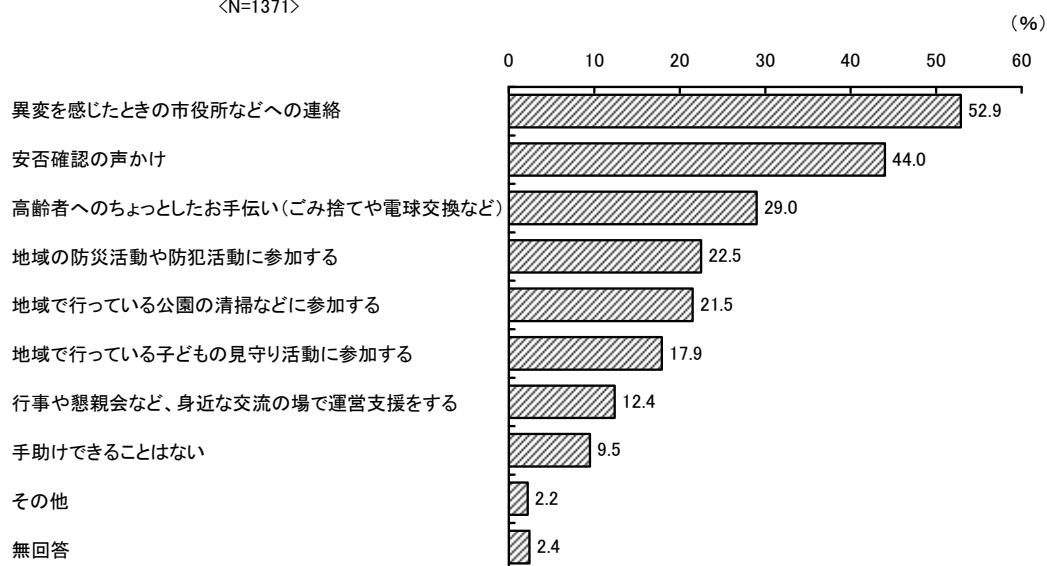
		サ ン プ ル 数	何 か 困 っ た 時 に 相 談 窓 口 を 使 う こ と が あ る か	要 援 助 者 等 に 対 し て の 支 援 が あ る か	地 域 の 防 災 や 防 犯 の 活 動	普 段 か ら 地 域 の 活 動 に 参 加 し て い る か	子 育 て 世 帯 や 子 ど も の 見 守 り 支 援	住 ま い の 困 り ご と へ の 支 援	身 近 な 交 流 の 機 会 の 有 無	特 に あ る か	そ の 他	無 回 答
全 体		1371	51.1	33.1	31.6	31.4	24.9	19.8	17.3	8.4	2.8	1.2
2 1 地 域 分 類	西原	44	47.7	36.4	27.3	34.1	27.3	20.5	25.0	9.1	2.3	-
	田中	128	50.0	28.1	32.8	21.1	34.4	20.3	18.8	7.8	6.3	-
	富勢	71	49.3	38.0	31.0	29.6	21.1	21.1	16.9	9.9	4.2	1.4
	松葉	49	57.1	30.6	34.7	32.7	12.2	22.4	20.4	8.2	2.0	-
	高田・松ヶ崎	65	43.1	27.7	35.4	29.2	24.6	18.5	21.5	7.7	1.5	4.6
	柏中央	82	47.6	30.5	34.1	24.4	25.6	20.7	19.5	12.2	1.2	-
	豊四季台	106	47.2	30.2	32.1	33.0	27.4	16.0	17.0	11.3	4.7	2.8
	新富	54	53.7	42.6	38.9	29.6	29.6	24.1	22.2	-	-	-
	旭町	35	60.0	11.4	45.7	25.7	17.1	22.9	17.1	8.6	5.7	2.9
	新田原	42	42.9	33.3	35.7	33.3	35.7	23.8	16.7	4.8	-	2.4
	富里	66	56.1	37.9	28.8	28.8	19.7	21.2	22.7	7.6	3.0	-
	永楽台	48	54.2	31.3	33.3	35.4	16.7	27.1	20.8	4.2	6.3	-
	増尾	98	64.3	35.7	26.5	37.8	25.5	16.3	14.3	4.1	1.0	-
	光ヶ丘	91	45.1	36.3	35.2	36.3	29.7	16.5	14.3	8.8	2.2	2.2
	南部	98	52.0	34.7	24.5	29.6	16.3	17.3	14.3	12.2	5.1	1.0
	藤心	22	54.5	27.3	40.9	27.3	27.3	9.1	9.1	9.1	-	-
	酒井根	30	50.0	40.0	30.0	40.0	20.0	16.7	16.7	10.0	-	-
	手賀	7	71.4	28.6	28.6	42.9	14.3	14.3	14.3	-	-	-
	風早北部	88	51.1	50.0	25.0	39.8	31.8	23.9	12.5	10.2	-	1.1
	風早南部	55	52.7	21.8	23.6	27.3	18.2	20.0	14.5	14.5	-	1.8
	柏の葉	29	48.3	17.2	51.7	34.5	24.1	10.3	20.7	6.9	-	-

(5) 隣近所や地域の付き合いや関り方において、手助けできると思うこと

問) 隣近所や地域の付き合いや関り方において、あなたが手助けできると思うことがありますか。(複数回答)

- 全体でみると、「手助けできることはない」(9.5%)は1割未満で、大半の人は何らかの手助けできることをあげている。最も多いのは「異変を感じたときの市役所などへの連絡」(52.9%)で半数を超えており、以下「安否確認の声かけ」(44.0%)、「高齢者へのちょっとしたお手伝い(ごみ捨てや電球交換など)」(29.0%)、などの順となっている。
- 性別にみると、総じて大きな差はない。
- 年代別にみると、総じて40～60代で高い割合を示す項目が多く、一方、「80代以上」で「手助けできることはない」(22.3%)の割合が高くなっている。

<N=1371>



		サンプル数	異変を感じたときの市役所などへの連絡	安否確認の声かけ	（高齢者へのちょっとしたお手伝い（ごみ捨てや電球交換など））	地域の防災活動や防犯活動に参加する	地域で行っている公園の清掃などに参加する	地域で行っている子どもの見守り活動に参加する	行事や懇親会など、身近な交流の場で運営支援をする	手助けできることはない	その他	無回答
全 体		1371	52.9	44.0	29.0	22.5	21.5	17.9	12.4	9.5	2.2	2.4
性別	男性	572	51.9	40.2	30.9	28.5	22.0	17.5	16.8	10.5	3.0	1.6
	女性	750	53.6	48.0	27.6	18.9	21.7	18.0	9.3	8.1	1.6	2.7
年代	20代以下	73	52.1	31.5	26.0	17.8	12.3	20.5	8.2	13.7	1.4	—
	30代	146	54.8	34.9	26.7	19.9	29.5	33.6	9.6	5.5	1.4	0.7
	40代	177	62.7	39.0	28.2	21.5	27.1	25.4	10.7	5.1	—	0.6
	50代	215	64.7	41.4	33.5	20.5	21.9	14.9	12.6	5.1	0.9	—
	60代	220	57.7	52.3	41.4	25.9	26.4	23.2	12.3	7.7	3.2	1.4
	70代	325	46.5	50.8	27.1	26.8	19.7	13.5	13.5	8.6	2.8	3.4
	80代以上	202	35.6	43.6	18.3	19.8	11.9	4.5	14.9	22.3	4.5	6.9

【隣近所との現状の付き合いの状況別】

- ・ 隣近所との付き合い状況別にみると、全般に付き合いが親密な人ほど、手助けできる項目の可能割合が高くなる傾向がみられる。

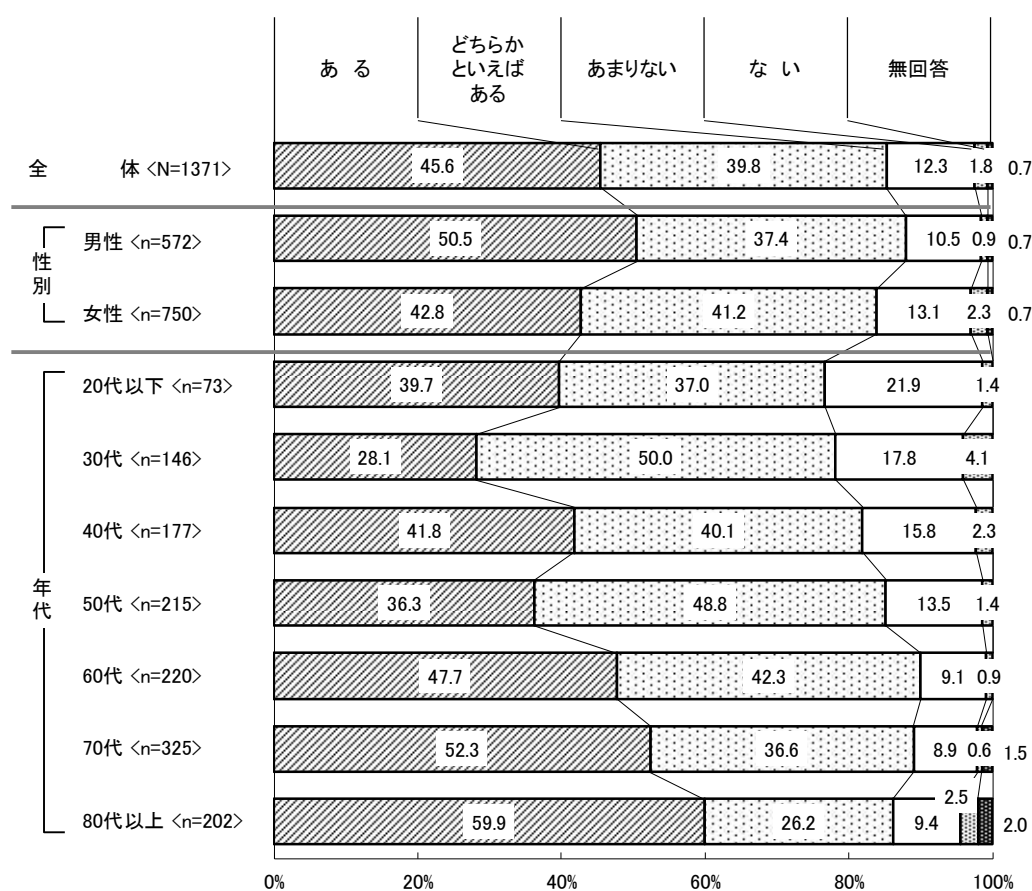
(%)

		サンプル数	異変を感じたときの市役所などへの連絡	安否確認の声かけ	高齢者へのちよつとしたお手伝い（ごみ捨てや電球交換など）	地域の防災活動や防犯活動に参加する	地域で行っている公園の清掃などに参加する	地域で行っている子どもの見守り活動に参加する	行事や懇親会など、身近な交流の場で運営支援をする	手助けできることはない	その他	無回答
全 体		1371	52.9	44.0	29.0	22.5	21.5	17.9	12.4	9.5	2.2	2.4
隣付き近所合 といの	近所の仲の良い人とよく行き来している	130	51.5	65.4	33.8	30.8	25.4	23.8	24.6	3.1	2.3	3.1
	会えば親しく話をする人がある	478	51.0	54.0	31.8	25.3	24.5	22.6	17.2	6.7	2.9	2.1
	あいさつ程度がほとんど	619	56.1	36.7	28.3	20.5	19.7	13.9	7.9	9.9	1.6	1.9
	近所付き合いはほとんどしていない	137	47.4	22.6	18.2	15.3	16.8	15.3	5.1	24.1	1.5	1.5

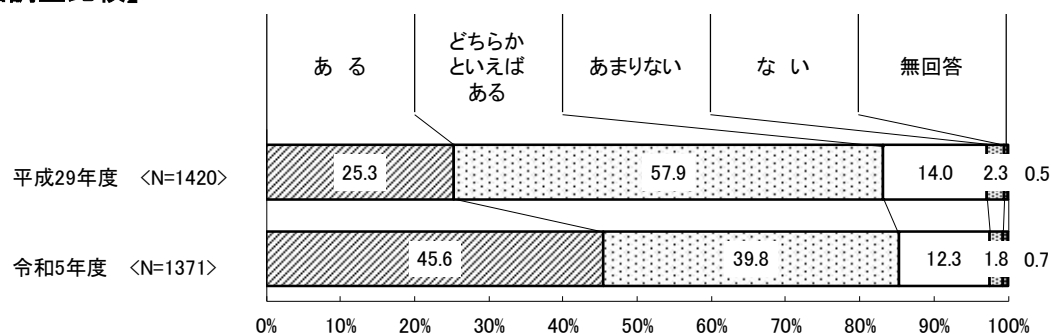
(6) 今住んでいる地域に愛着はあるか

問) 今住んでいる地域に愛着はありますか。

- 今住んでいる地域に愛着は「ある」(45.6%)という回答は半数近くで、「どちらかといえばある」(39.8%)を合わせると、大半の人が肯定的に回答している。性別にみると、男性の方が愛着があると回答している人の割合が高い。
- 年代別にみると、年代が上がるほど「ある」の割合は高く、最も低い「30代」の3割弱(28.1%)に比べ、「80代以上」(59.9%)では6割近くと大きな差が生じている。
- 同設問を前回(平成29年度調査)の結果と比較すると、選択肢の表現が異なるため参考の数字となるが、「大いにある」と「ある程度ある」を合わせた割合は、前회가 83.2%で今回調査では 85.4%となっており、あまり大きな変化は見られない。

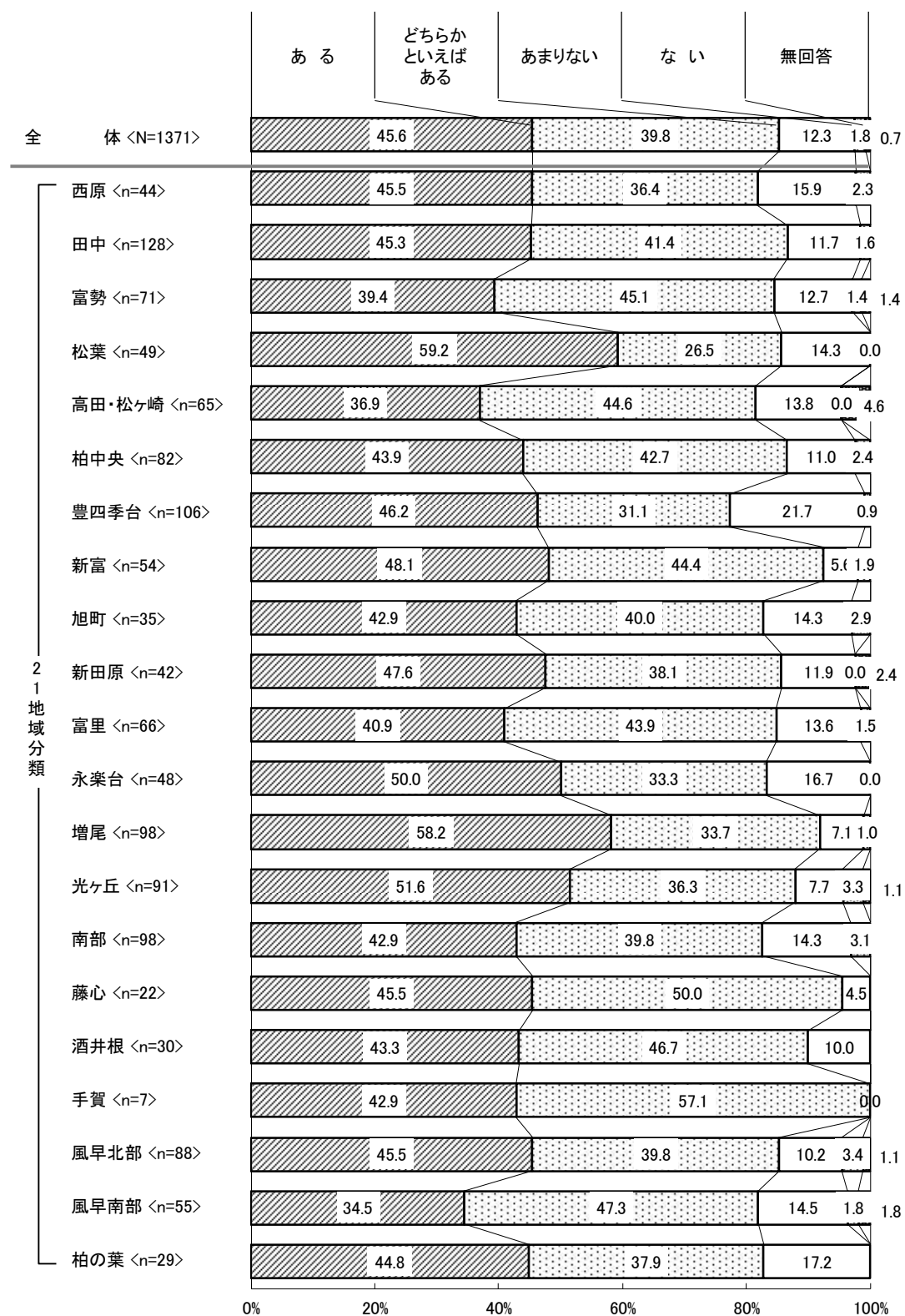


【前回調査比較】



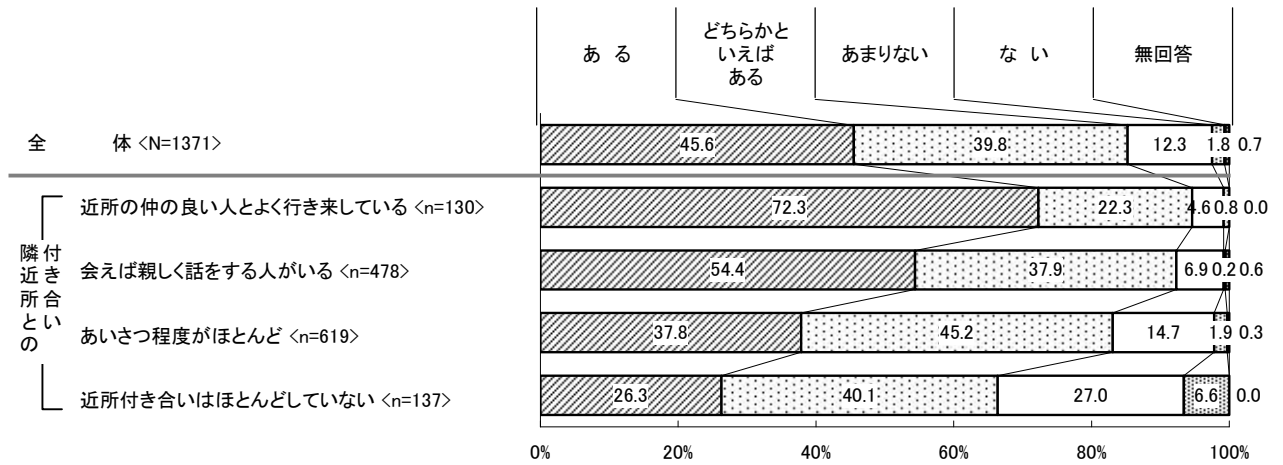
【地域別の状況】

- 21 地域分類別にみると、「ある」の割合が高いのは「松葉」(59.2%)、「増尾」(58.2%)、「光ヶ丘」(51.6%)、「永楽台」(50.0%)の順、低いのは「風早南部」(34.5%)、「高田・松ヶ崎」(36.9%)、「富勢」(39.4%)などとなっている。



【隣近所との現状の付き合いの状況別】

- 隣近所との付き合い別にみると、「ある」と「どちらかといえばある」の合計の割合は、近所付き合いが親密なほど高くなっている。

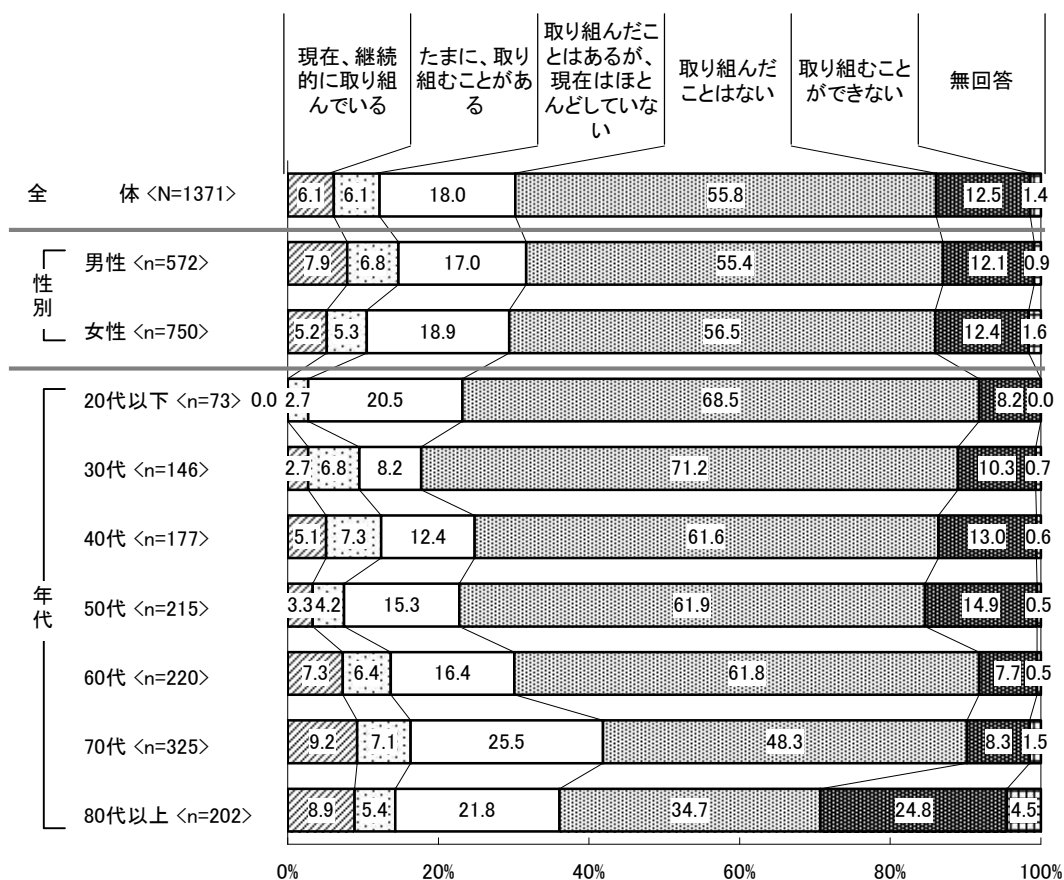


3. 地域での活動について

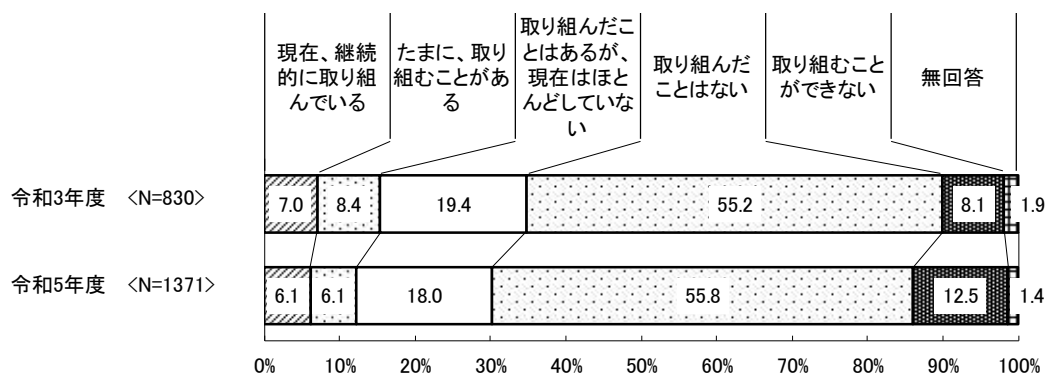
(1) 地域福祉に関するボランティアや市民活動などに取り組んでいるか

問) あなたは、地域福祉に関するボランティアや市民活動などに取り組んでいますか。

- 「取り組んだことはない」(55.8%)が半数を超えており、そのほかの項目では「取り組んだことはあるが、現在はほとんどしていない」(18.0%)、「取り組むことができない」(12.5%)など、現在はやっていないという回答がほとんどとなっている。
- 性別ではあまり差はなく、いずれも「取り組んだことはない」が半数を超えている。
- 年代別にみると、やはりいずれの年代でも「取り組んだことはない」が多い。
- 同設問を前回調査(令和3年)の結果と比較すると、大きな変動はなかった。

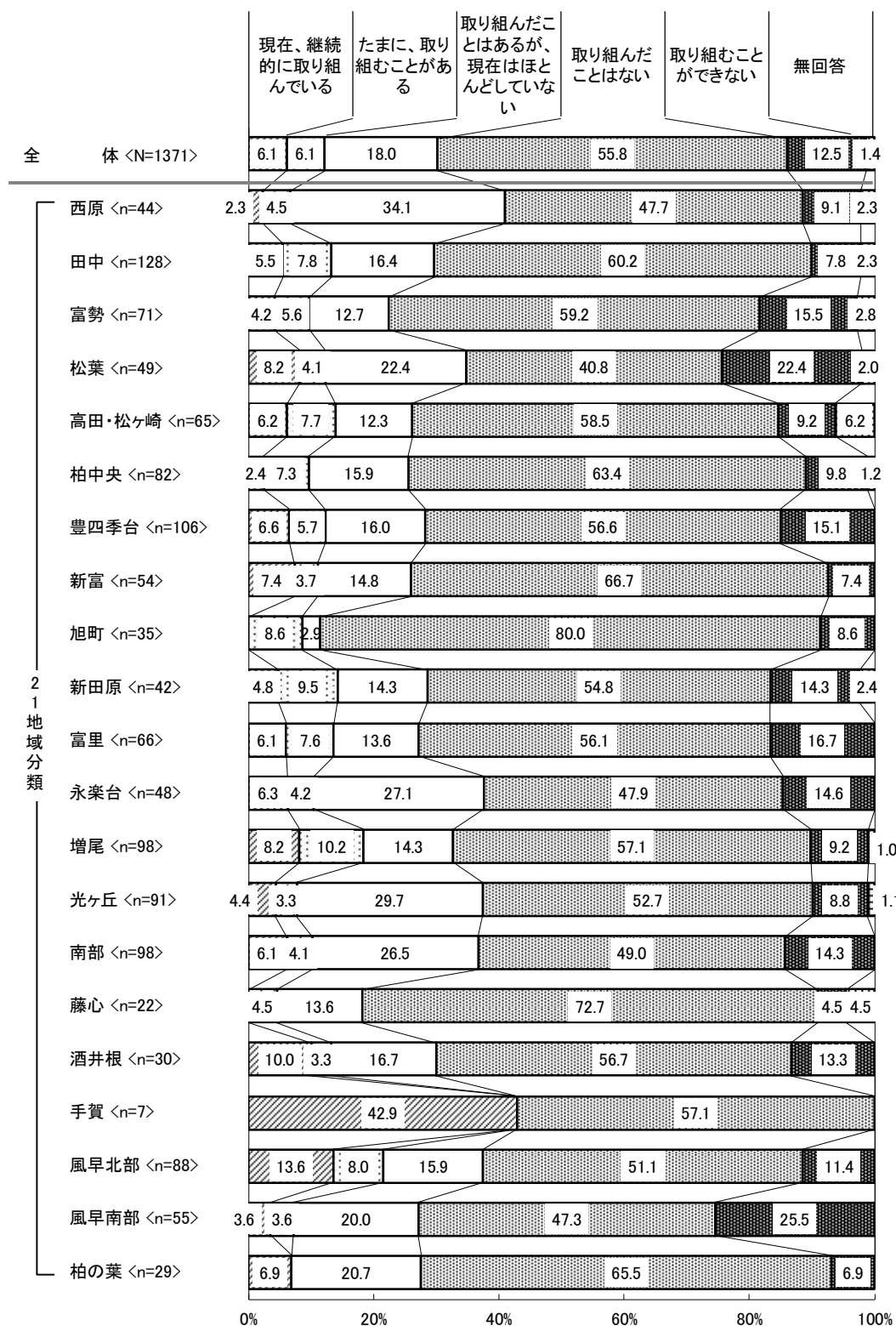


【前回調査比較】



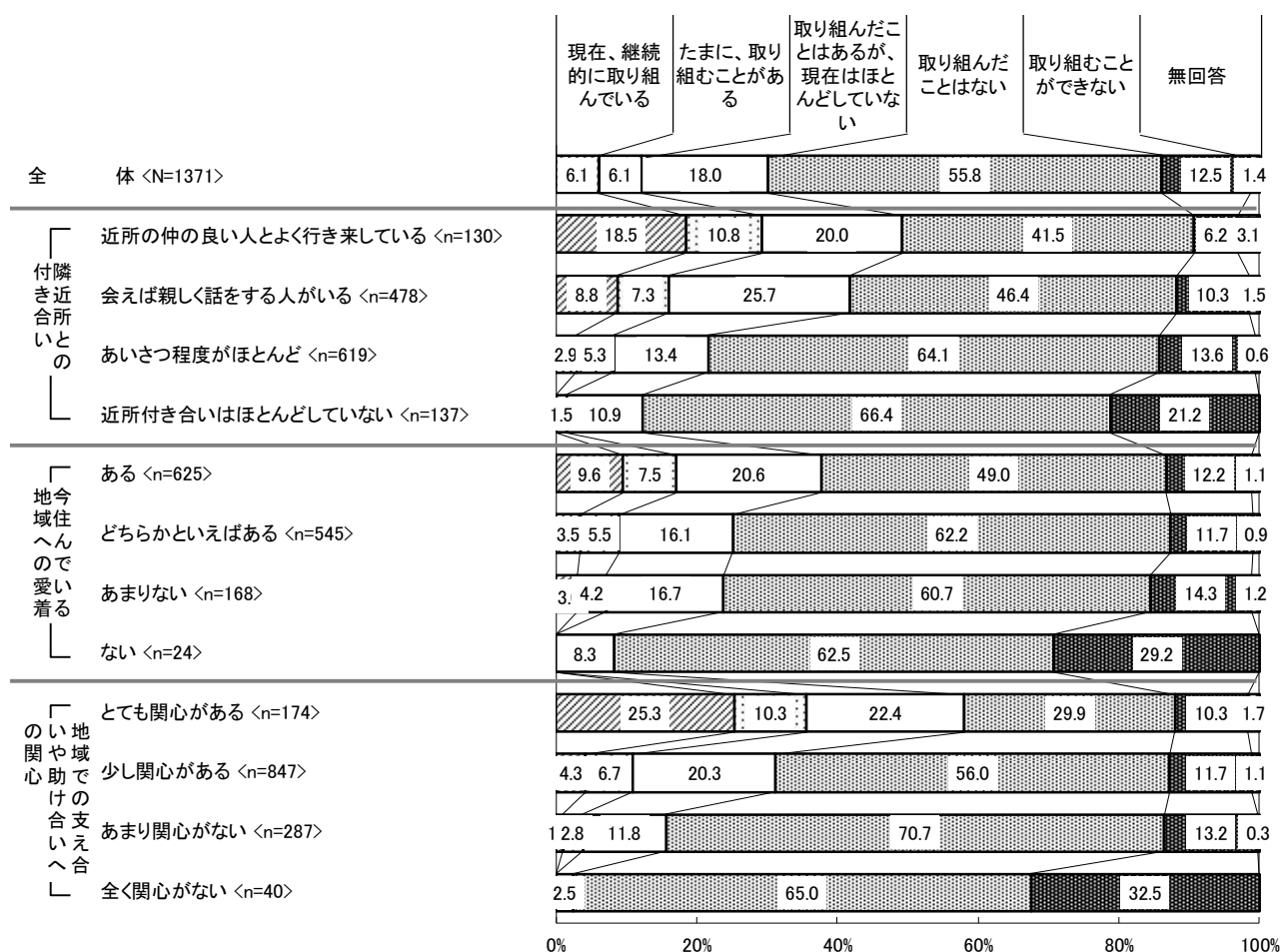
【地域別】

- 21 地域分類別にみると、ほとんどの地域で「取り組んだことはない」が半数を超えているが、「松葉」(40.8%)、「風早南部」(47.3%)、「西原」(47.7%)、「永楽台」(47.9%)、「南部」(49.0%)では半数以下となっている。



【隣近所との付き合いの状況別・地域への愛着別・地域での支え合いや助け合いへの関心度別】

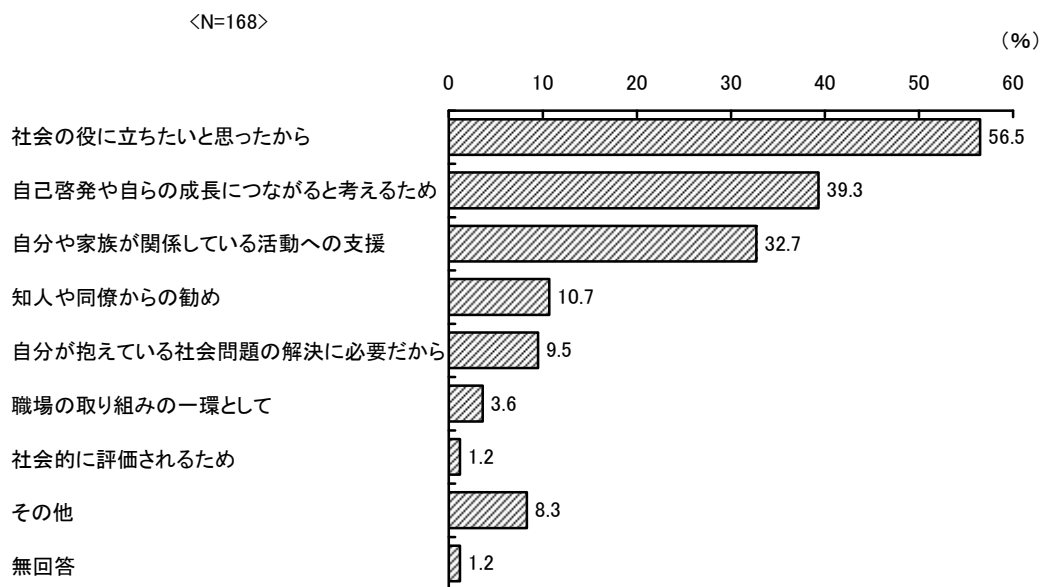
- ・ 隣近所との付き合い別にみると、付き合いが親密な人ほど取り組みの度合いも高い。
- ・ 今住んでいる地域への愛着別にみると、愛着がある人ほどボランティアや市民活動などに取り組んでいる。
- ・ 地域での支え合いや助け合いへの関心度別にみると、関心がある人ほど取り組んでいる。



(2) 地域福祉に関するボランティアに取り組む理由

問)「現在、継続的に取り組んでいる」、「たまに、取り組むことがある」と回答された方にお聞きします。地域福祉に関するボランティアに取り組む理由は何ですか。(複数回答)

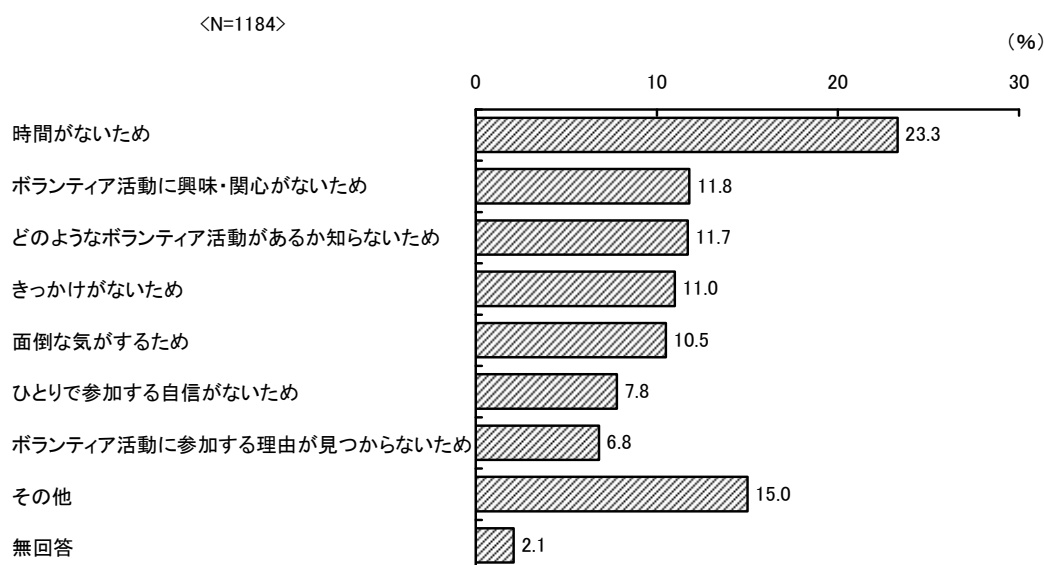
- 地域福祉に関するボランティアに取り組む理由は、「社会の役に立ちたいと思ったから」(56.5%)が最も多く、以下「自己啓発や自らの成長につながると考えるため」(39.3%)、「自分や家族が関係している活動への支援」(32.7%)となっている。



(3) 地域福祉に関するボランティアや市民活動などに現在取り組んでいない理由

問) 地域福祉に関するボランティアや市民活動などに現在取り組んでいない理由として、最も当てはまるものは何ですか。

- 地域福祉に関するボランティアや市民活動などに現在取り組んでいない理由は、「時間がないため」(23.3%)、「ボランティア活動に興味・関心がないため」(11.8%)、「どのようなボランティア活動があるか知らないため」(11.7%)の順になっている。
- 「その他」では、自身の病気による体調面や、生活に余裕がないなど経済面の理由があげられている。
- 性別にみると、あまり大きな差はない。
- 年代別にみると、「ボランティア活動に興味・関心がないため」は若い人ほど高い割合となっている。

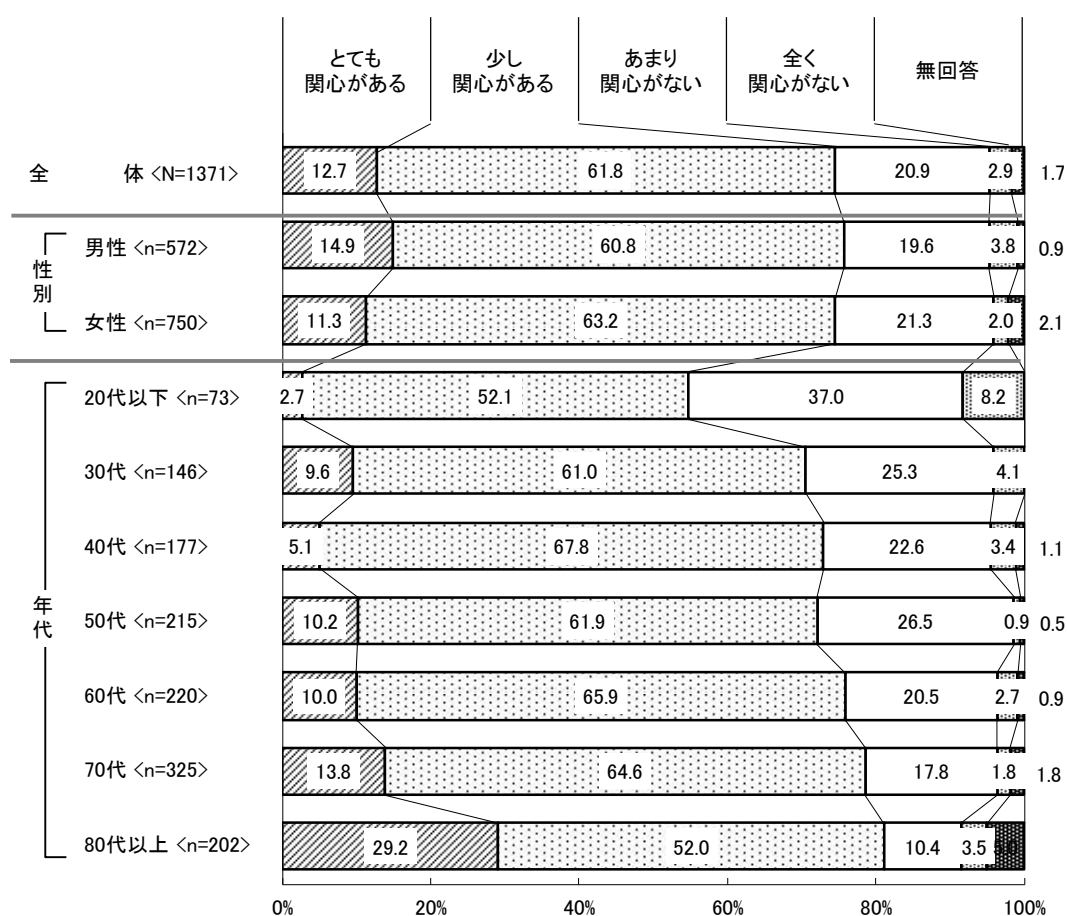


		サンプル数	時間がないため	ボランティア活動に興味・関心がないため	どのようなボランティア活動があるか知らないため	きっかけがないため	面倒な気がするため	ひとりで参加する自信がないため	ボランティア活動に参加する理由が見つからないため	その他	無回答
全 体		1184	23.3	11.8	11.7	11.0	10.5	7.8	6.8	15.0	2.1
性別	男性	483	23.4	15.7	9.9	13.5	7.7	4.6	9.5	14.1	1.7
	女性	659	23.8	8.8	13.5	9.4	11.7	10.2	4.4	15.8	2.4
年代	20代以下	71	29.6	26.8	15.5	7.0	7.0	1.4	9.9	2.8	—
	30代	131	26.7	16.0	18.3	9.2	7.6	6.9	9.2	6.1	—
	40代	154	31.2	14.3	11.0	9.1	14.3	4.5	8.4	6.5	0.6
	50代	198	36.4	12.1	12.6	10.6	8.6	5.6	6.6	7.6	—
	60代	189	27.5	10.1	14.3	11.1	12.2	11.1	8.5	4.8	0.5
	70代	267	13.9	8.6	9.7	14.2	11.6	9.4	4.5	25.1	3.0
	80代以上	164	6.1	6.7	4.9	11.0	8.5	9.8	4.3	40.2	8.5

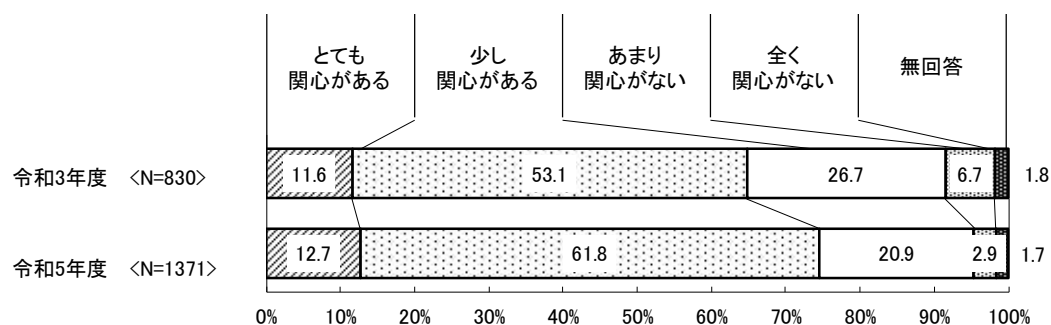
(4) 地域での支え合いや助け合いに関心を持っているか

問) あなたは、地域での支え合いや助け合いに関心を持っていますか。

- 「とても関心がある」(12.7%)と少ないが、「少し関心がある」(61.8%)を合わせると、関心のある層は7割を占めている。
- 性別にみると、あまり大きな差はない。
- 年代別にみると、年代が上がるほど関心度は高くなっており、「とても関心がある」の割合は「20代以下」(2.7%)ではごくわずかだが、「80代以上」(29.2%)では3割近くに達している。
- 同設問を前回(令和3年度調査)の結果と比較すると、前回よりも「少し関心がある」が増えており、関心は高まっているとみられる。

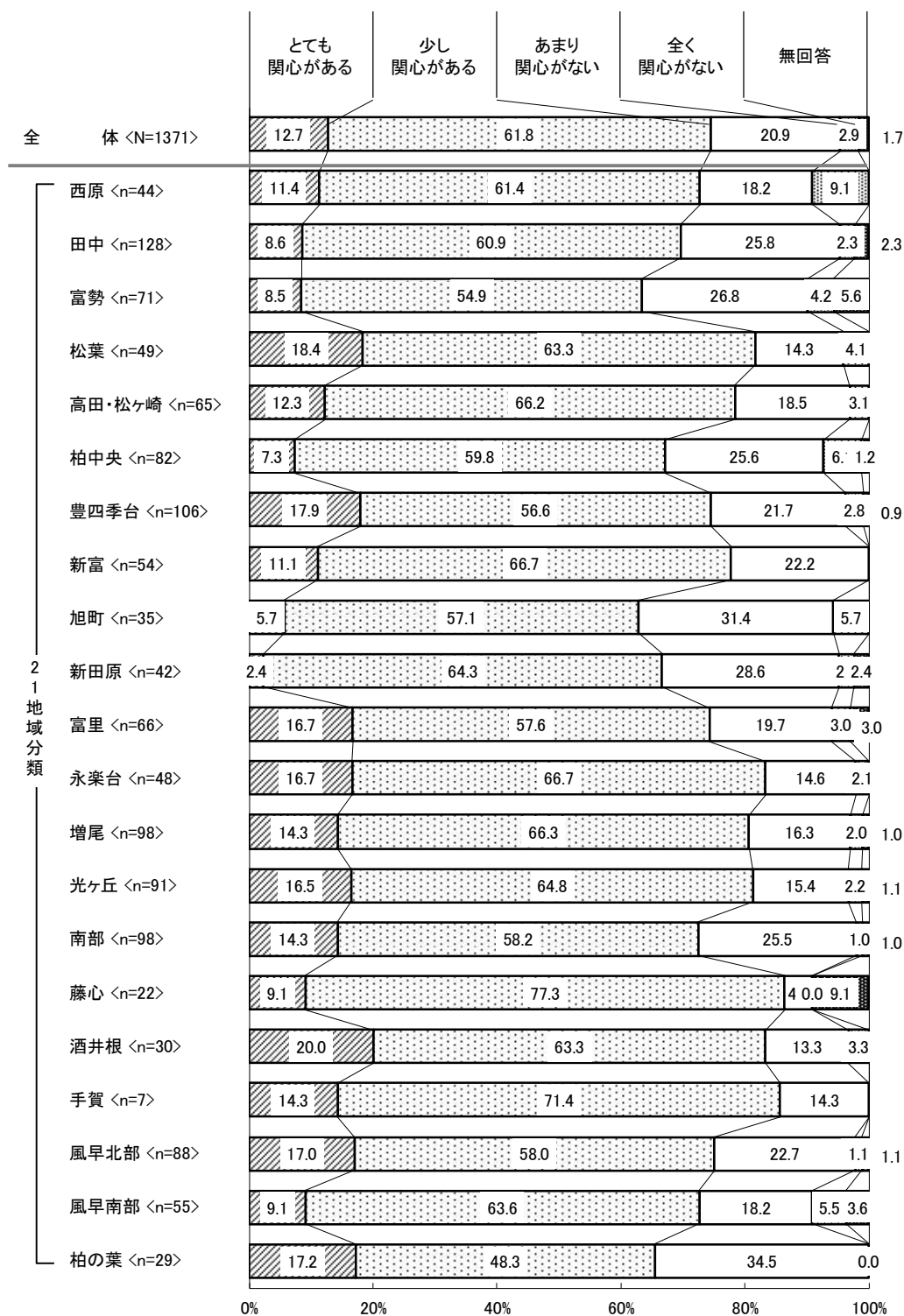


【前回調査比較】



【地域別の状況】

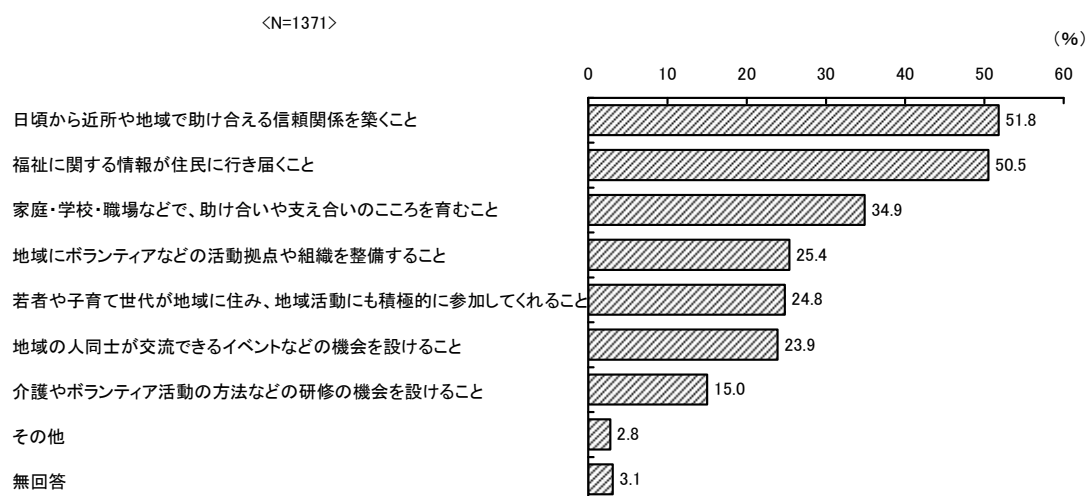
- 21 地域分類別にみると、「とても関心がある」（12.7%）「少し関心がある」（61.8%）を合わせた関心のある層の割合は、「藤心」（86.4%）、「手賀」（85.7%）、「酒井根」（83.3%）、「永楽台」（83.3%）、「松葉」（81.6%）などで高く、「旭町」（62.9%）、「富勢」（63.4%）、「柏の葉」（65.5%）などで低い。



(5) 地域における助け合いや支えあいの活動を活発にするために、充実すべきだと思うこと

問) 地域における助け合いや支えあいの活動を活発にするためには、どのようなことを充実すべきだと思いますか。(複数回答)

- 地域における助け合いや支えあいの活動を活発にするために、充実すべきだと思うことは、「日頃から近所や地域で助け合える信頼関係を築くこと」(51.8%)、「福祉に関する情報が住民に行き届くこと」(50.5%)の2項目が半数を超えている。
- 性別にみると、「地域の人同士が交流できるイベントなどの機会を設けること」をあげる割合は男性よりも女性の方が高い。
- 年代別では、目立った傾向の差はみられない。



		サンプル数	日頃から近所や地域で助け合える信頼関係を築くこと	福祉に関する情報が住民に行き届くこと	家庭・学校・職場などで、助け合いや支えあいのところを育むこと	地域にボランティアなどの活動拠点や組織を整備すること	若者や子育て世代が地域に住み、地域活動にも積極的に参加してくれること	地域の人同士が交流できるイベントなどの機会を設けること	介護やボランティア活動の方法などの研修の機会を設けること	その他	無回答
	全 体	1371	51.8	50.5	34.9	25.4	24.8	23.9	15.0	2.8	3.1
性別	男性	572	51.0	46.3	33.6	27.8	26.7	29.5	17.1	4.4	2.8
	女性	750	52.8	53.3	36.1	23.6	23.6	19.9	13.5	1.3	2.8
年代	20代以下	73	41.1	31.5	53.4	19.2	35.6	21.9	4.1	4.1	-
	30代	146	52.1	46.6	35.6	24.7	30.1	24.7	8.2	3.4	0.7
	40代	177	47.5	49.7	45.2	24.3	31.1	27.7	16.4	3.4	1.7
	50代	215	47.9	60.0	34.4	27.9	19.5	19.1	19.5	1.9	0.9
	60代	220	52.3	58.2	34.5	29.5	21.8	22.7	19.1	1.4	1.8
	70代	325	59.4	44.0	30.2	25.5	22.2	27.4	14.2	3.1	3.7
	80代以上	202	50.0	52.5	26.7	21.3	23.8	21.3	14.4	3.0	8.4

【地域での支え合いや助け合いへの関心別】

- 地域での支え合いや助け合いへの関心別にみると、ほとんどの項目で関心が高い層ほど高い割合となっている。

(%)

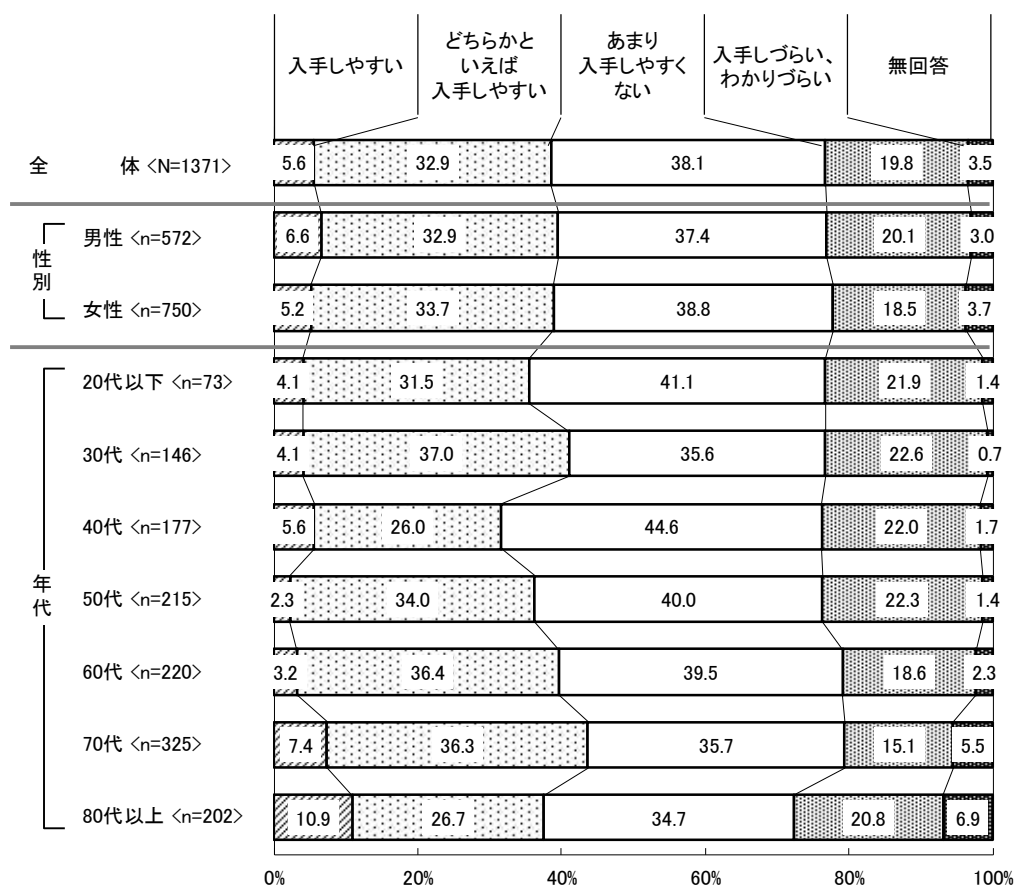
		サンプル数	信頼関係を築くこと	日頃から近所や地域で助け合える	福祉に関する情報が住民に行き届くこと	家庭・学校・職場などで、助け合いや支え合いのこころを育むこと	地域にボランティアなどの活動拠点や組織を整備すること	地域活動にも積極的に参加して、若者や子育て世代が地域に住み、地域活動にも積極的に参加して、若者や子育て世代が地域に住み、	地域の人同士が交流できるイベントなどの機会を設けること	介護やボランティア活動の方法などの研修の機会を設けること	その他	無回答
全 体		1371	51.8	50.5	34.9	25.4	24.8	24.8	23.9	15.0	2.8	3.1
地域での 支え合いや 助け合いへの関心	とても関心がある	174	77.0	51.1	49.4	38.5	38.5	42.0	44.8	25.3	1.7	1.1
	少し関心がある	847	54.5	50.6	36.7	27.3	27.3	25.6	24.1	15.3	2.7	1.7
	あまり関心がない	287	34.5	50.9	23.3	14.3	14.3	14.3	14.6	8.4	3.1	2.4
	全く関心がない	40	22.5	52.5	27.5	15.0	15.0	17.5	5.0	7.5	7.5	15.0

4. 健康福祉について

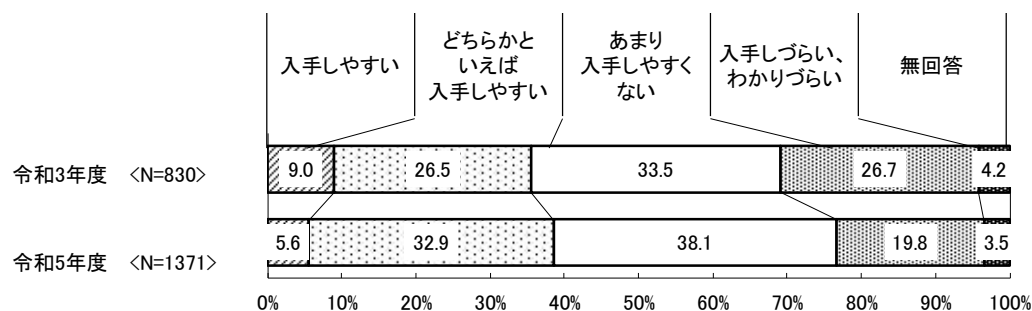
(1) 柏市の健康や福祉に関する情報は、入手しやすいと思うか

問) 柏市の健康や福祉に関する情報は、入手しやすいと思いますか。

- 「入手しやすい」(5.6%)、「どちらかといえば入手しやすい」(32.9%)を合わせた“入手しやすい”(38.5%)という割合は4割弱で、「あまり入手しにくい」(38.1%)と「入手しづらい、わかりづらい」(19.8%)を合わせた半数以上が情報の入手に課題を感じていることがうかがえる。
- 性別にみると、あまり差はない。
- 年代別にみると、“入手しやすい”の割合は、「70代」(43.7%)で最も高く、「40代」(31.6%)で最も低い。
- 同設問を前回(令和3年度調査)の結果と比較すると、大きな変動はなかった。



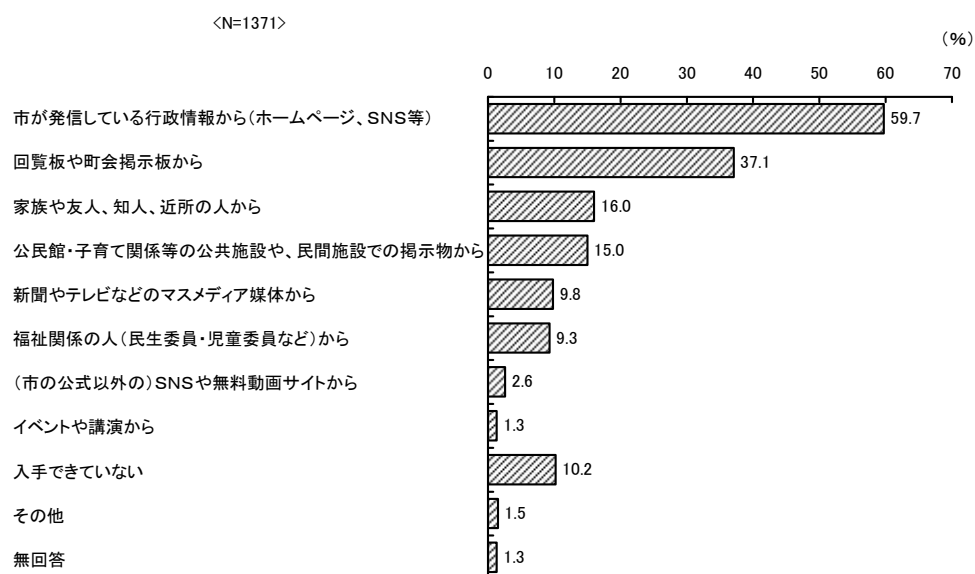
【前回調査比較】



(2) 柏市の健康や福祉に関する情報を主にどこから入手しているか

問) 柏市の健康や福祉に関する情報を主にどこから入手していますか。(複数回答)

- 「市が発信している行政情報から(ホームページ、SNS等)」(59.7%)が最も多くなっている。次いで、「回覧板や町会掲示板から」(37.1%)、「家族や友人、知人、近所の人から」(16.0%)、「公民館・子育て関係等の公共施設や、民間施設での掲示物から」(15.0%)などとなっている。
- 性別にみると、ほとんど差はない。
- 年代別にみると、多くの項目で年代が上がるほど高い割合を示している。一方、「入手できていない」の割合は若い人ほど高く、「20代以下」(24.7%)で最も高くなっている。



(%)

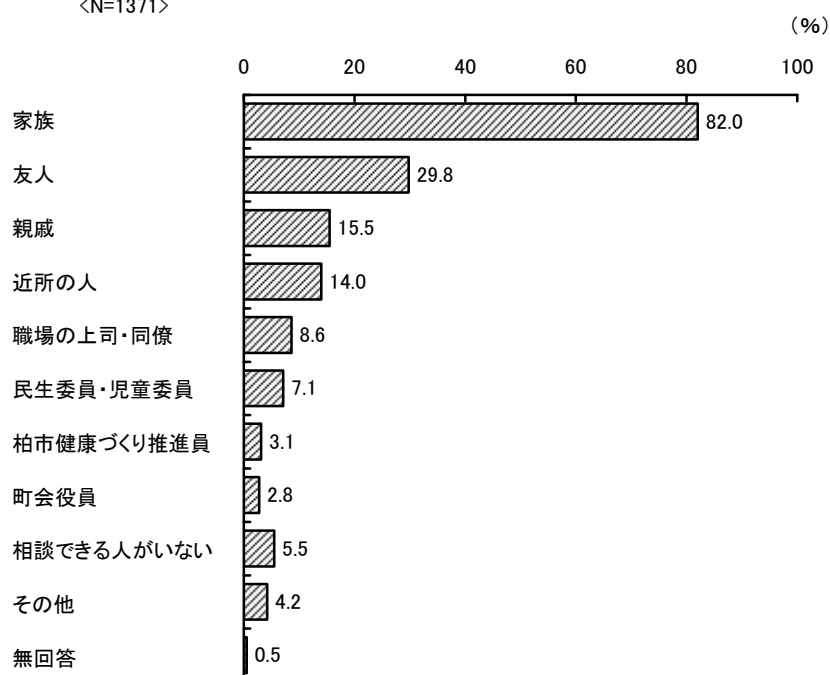
	サンプル数	市が発信している行政情報から(ホームページ、SNS等)	回覧板や町会掲示板から	家族や友人、知人、近所の人から	公民館・子育て関係等の公共施設や、民間施設での掲示物から	新聞やテレビなどのマスメディア媒体から	福祉関係の人(民生委員・児童委員など)から	(市の公式以外の)SNSや無料動画サイトから	イベントや講演から	入手できていない	その他	無回答
全 体	1371	59.7	37.1	16.0	15.0	9.8	9.3	2.6	1.3	10.2	1.5	1.3
性 別												
男性	572	59.6	36.2	15.2	14.9	10.3	11.0	3.1	1.4	11.2	1.0	1.0
女性	750	60.4	38.1	16.3	15.7	9.2	7.6	2.3	1.2	8.5	1.9	1.6
年 代												
20代以下	73	38.4	17.8	13.7	21.9	9.6	-	8.2	-	24.7	1.4	-
30代	146	52.7	17.8	15.8	26.0	4.1	4.8	4.1	1.4	20.5	0.7	-
40代	177	61.0	29.4	10.7	17.5	5.1	5.1	2.3	-	10.2	3.4	1.7
50代	215	61.4	36.7	8.8	12.1	8.8	1.9	2.3	0.5	12.1	2.8	-
60代	220	74.5	39.5	10.5	11.8	10.0	4.5	2.7	1.4	6.8	0.9	0.5
70代	325	58.8	47.4	22.2	14.8	12.6	11.7	2.2	2.5	6.2	0.6	3.1
80代以上	202	55.4	45.5	24.3	10.4	13.9	27.2	0.5	2.0	5.0	1.0	2.0

(3) 健康や福祉に関することで困ったときに、相談できる人

問) 健康や福祉に関することで困ったときに、相談できる人は誰ですか。

- 相談できる人は、「家族」(82.0%)が圧倒的に多く、次いで、「友人」(29.8%)、「親戚」(15.5%)、「近所の人」(14.0%)となっている。
- 性別にみると、「友人」の割合は「男性」(22.9%)よりも「女性」(34.7%)の方が高いが、そのほかの項目については大きな差はない。
- 年代別にみると、「近所の人」は年代が上がるほど、「職場の上司・同僚」は若い人ほど、それぞれ高い割合となっている。

<N=1371>



(%)

	サンプル数	家族	友人	親戚	近所の人	職場の上司・同僚	民生委員・児童委員	柏市健康づくり推進員	町会役員	相談できる人がいない	その他	無回答
全 体	1371	82.0	29.8	15.5	14.0	8.6	7.1	3.1	2.8	5.5	4.2	0.5
性 別												
男性	572	80.1	22.9	15.4	12.9	8.0	8.6	3.7	5.1	6.6	4.7	0.5
女性	750	83.7	34.7	15.1	15.2	9.3	6.0	2.5	1.3	4.4	3.7	0.5
年 代												
20代以下	73	90.4	34.2	12.3	4.1	9.6	1.4	1.4	1.4	5.5	2.7	—
30代	146	85.6	32.2	22.6	11.0	23.3	0.7	2.1	1.4	4.8	3.4	—
40代	177	87.6	36.2	18.1	10.7	15.3	1.7	5.1	0.6	4.5	4.0	0.6
50代	215	76.3	26.0	14.9	10.2	16.7	1.4	2.3	2.8	9.8	2.8	—
60代	220	80.0	30.0	14.5	14.5	5.5	4.1	4.1	2.7	5.9	2.3	0.9
70代	325	81.8	31.4	12.9	18.5	0.6	9.5	2.8	2.8	5.2	4.9	0.6
80代以上	202	80.7	22.8	14.9	19.3	—	23.8	3.0	6.9	2.0	7.4	1.0

【隣近所との現状の付き合いの状況別】

- ・ 隣近所との付き合い別にみると、「家族」については大きな差はないが、「友人」「近所の人」などでは、付き合いが親密な人ほど高い割合を示している。

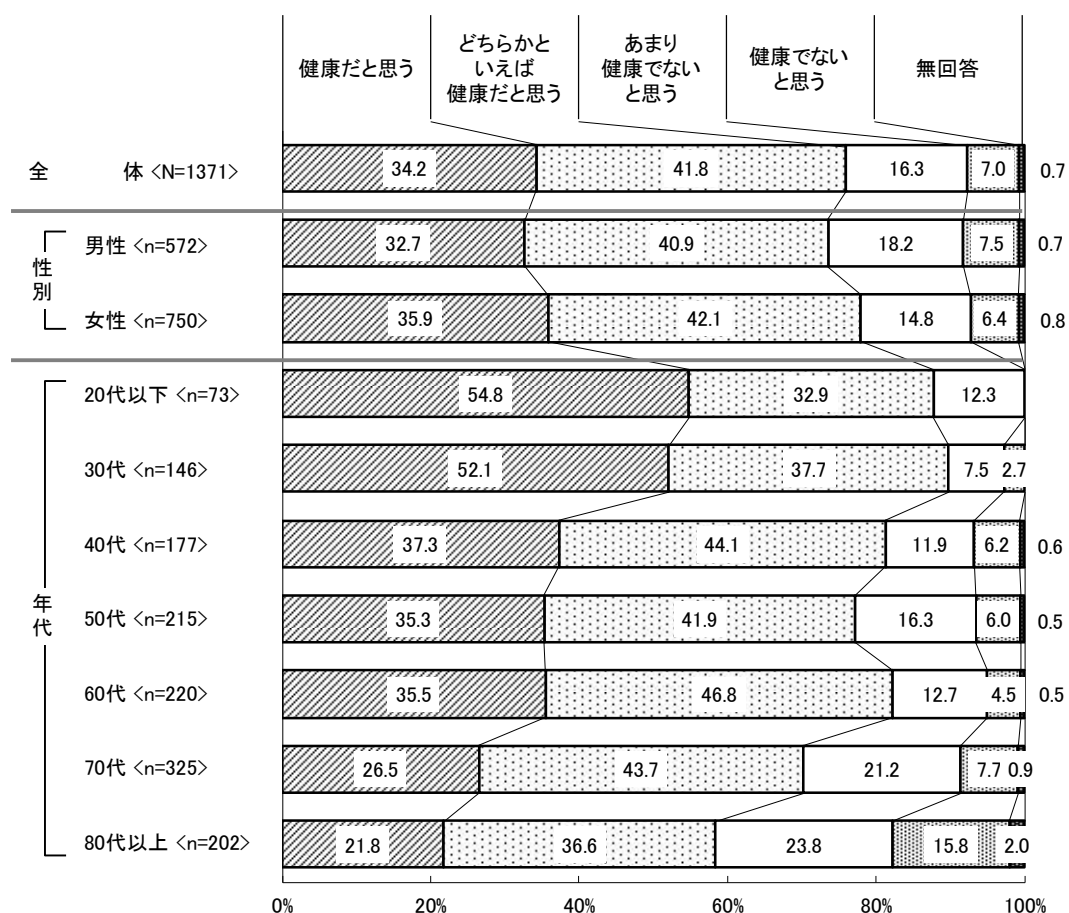
(%)

		サンプル数	家族	友人	親戚	近所の人	職場の上司・同僚	民生委員・児童委員	柏市健康づくり推進員	町会役員	相談できる人がいない	その他	無回答
全 体		1371	82.0	29.8	15.5	14.0	8.6	7.1	3.1	2.8	5.5	4.2	0.5
隣近所との付き合い	近所の仲の良い人とよく行き来している	130	76.9	55.4	17.7	45.4	5.4	14.6	6.2	7.7	2.3	2.3	1.5
	会えば親しく話をする人がいる	478	83.7	35.4	19.0	22.2	7.3	10.3	3.1	4.0	2.7	5.6	0.2
	あいさつ程度がほとんど	619	83.0	22.6	14.1	4.2	10.3	4.5	2.4	1.6	6.8	3.2	0.3
	近所付き合いはほとんどしていない	137	76.6	18.2	8.0	0.7	8.8	-	2.9	-	13.1	5.1	0.7

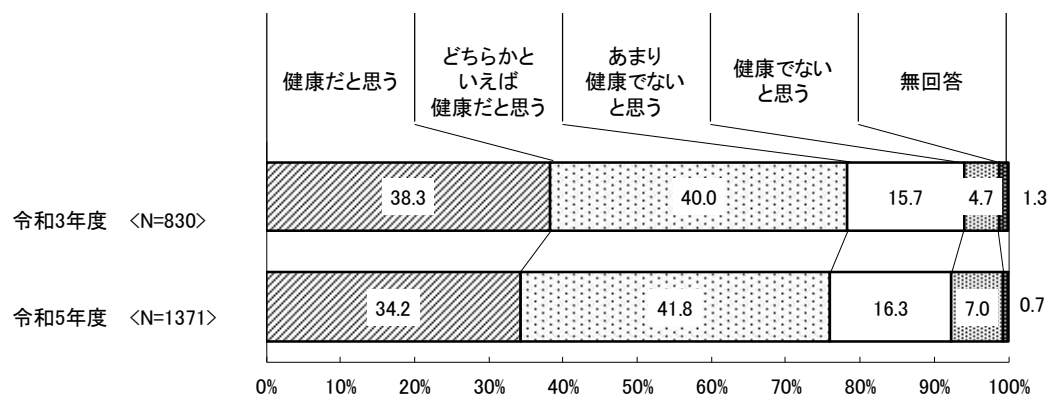
(4) 健康だと感じているか

問) あなたは、健康だと感じていますか。

- 「健康だと思う」(34.2%)と「どちらかといえば健康だと思う」(41.8%)を合わせると、自身を“健康である”と感じている人が76.0%となっている。
- 性別にみると、男性よりも女性の方がやや健康と感じる割合は高い傾向がみられる。
- 年代別にみると、若い人ほど健康と感じており、最も高い年代は「30代」(89.8%)であり、最も低い年代は「80代以上」(58.4%)となっている。
- 同設問を前回(令和3年度調査)の結果と比較すると、大きな変動はなかった。

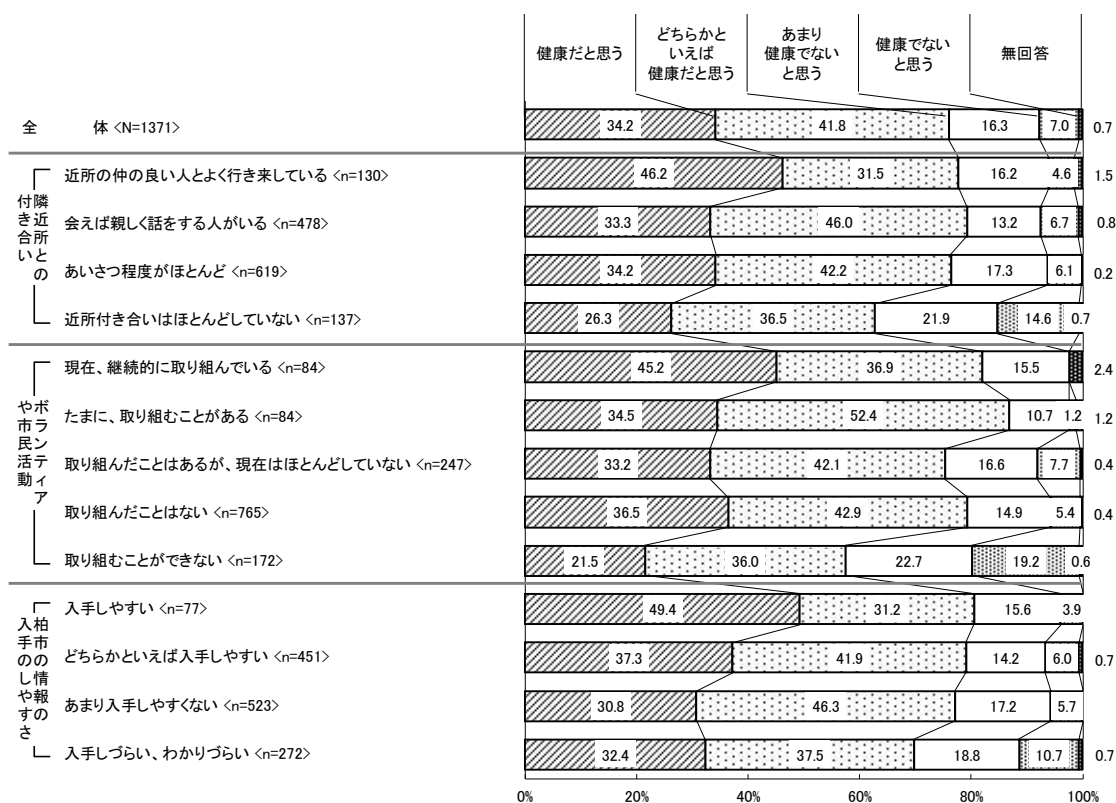


【前回調査比較】



【隣近所との現状の付き合いの状況別・ボランティアや市民活動への取組別・柏市の情報の入手しやすさ別】

- ・ 隣近所との付き合い別にみると、付き合いが密なほど「健康だと思う」の割合も高くなっている。
- ・ ボランティアや市民活動への取り組み別にみると、「現在、継続的に取り組んでいる」人で「健康だと思う」の割合が45.2%と最も高く、「取り組むことができない」人で21.5%と最も低くなっている。
- ・ 柏市の情報の入手しやすさ別にみると、「入手しやすい」という人で「健康だと思う」(49.4%)割合が高くなっている。



(5) 普段どれくらい外出しているか

問) あなたは普段どれくらい外出していますか。散歩やウォーキング、買い物など、日課にしていることや、仕事も含めてお答えください。

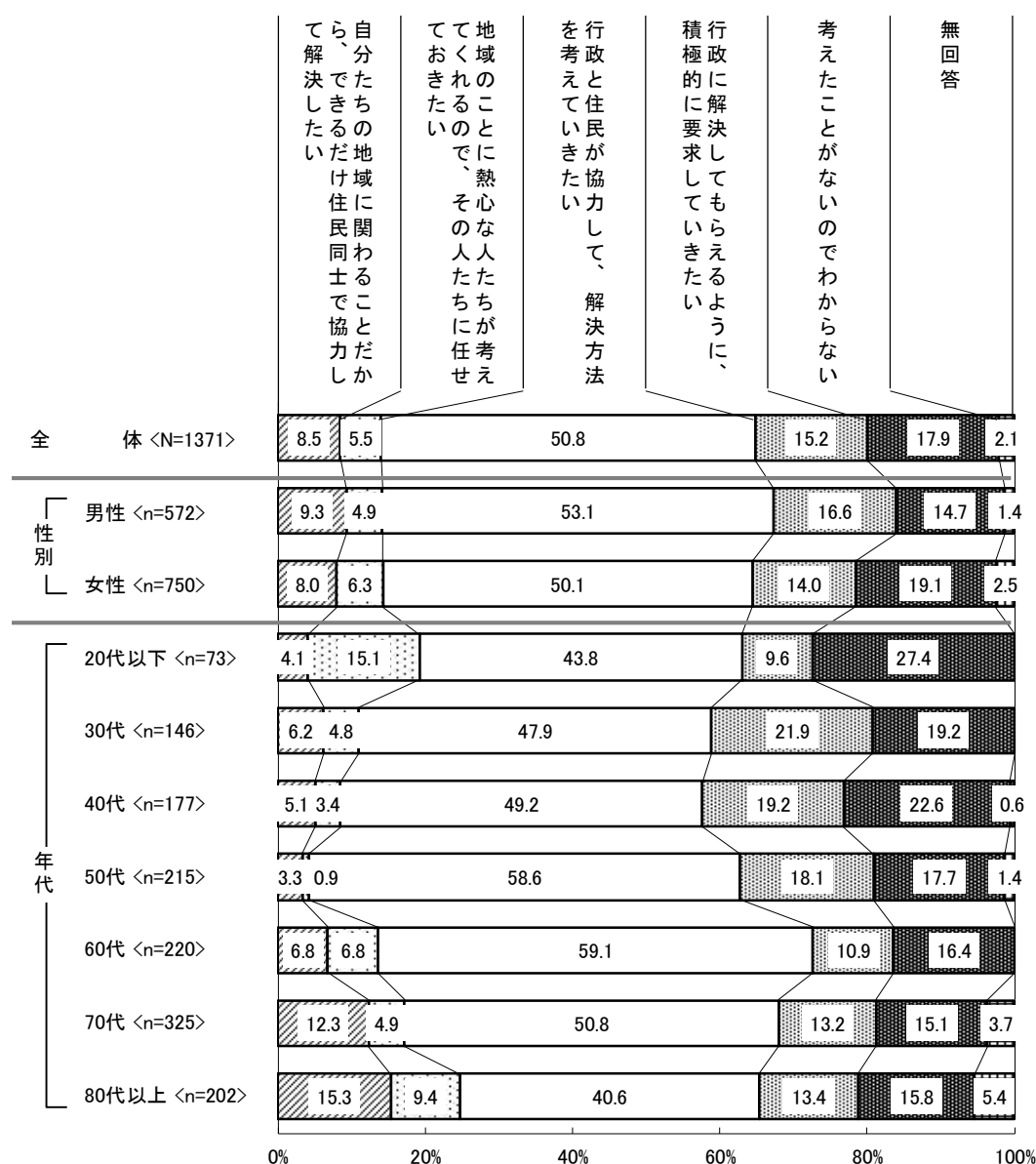
- 「毎日」(45.4%)が半数近くを占め、以下「週4～6日」(31.3%)、「週2～3日」(14.7%)が続いている。
- 性別にみると、男性の方が女性よりもやや外出頻度は高い。
- 年代別にみると、30～40代をピークに、若い人ほど外出頻度は高く、「毎日」の割合は「40代」(60.5%)では6割を超えるが、「80代以上」(24.8%)では2割台にとどまっている。

		サンプル数 上段:人 下段:%	毎日	週4～6日	週2～3日	週1日	月に1～3回	ほとんど 外出しない	*週1回以上	*月1回以上	無回答
全 体		1371 100.0	622 45.4	429 31.3	202 14.7	42 3.1	28 2.0	40 2.9	1295 94.5	1323 96.5	8 0.6
性別	男性	572 100.0	287 50.2	165 28.8	68 11.9	17 3.0	9 1.6	23 4.0	537 93.9	546 95.5	3 0.5
	女性	750 100.0	315 42.0	247 32.9	127 16.9	24 3.2	17 2.3	15 2.0	713 95.1	730 97.3	5 0.7
年代	20代以下	73 100.0	39 53.4	22 30.1	8 11.0	1 1.4	— —	3 4.1	70 95.9	70 95.9	— —
	30代	146 100.0	85 58.2	44 30.1	13 8.9	3 2.1	1 0.7	— —	145 99.3	146 100.0	— —
	40代	177 100.0	107 60.5	48 27.1	11 6.2	6 3.4	1 0.6	3 1.7	172 97.2	173 97.7	1 0.6
	50代	215 100.0	123 57.2	70 32.6	15 7.0	3 1.4	1 0.5	3 1.4	211 98.1	212 98.6	— —
	60代	220 100.0	107 48.6	83 37.7	24 10.9	2 0.9	1 0.5	2 0.9	216 98.2	217 98.6	1 0.5
	70代	325 100.0	108 33.2	108 33.2	74 22.8	17 5.2	6 1.8	9 2.8	307 94.5	313 96.3	3 0.9
	80代以上	202 100.0	50 24.8	49 24.3	54 26.7	9 4.5	17 8.4	20 9.9	162 80.2	179 88.6	3 1.5

(6) 地域的課題に対し、望む解決方法に近いもの

問) 地域的課題（高齢化、少子化に伴う担い手不足等）に対し、あなたが望む解決方法に近いものはどれですか。

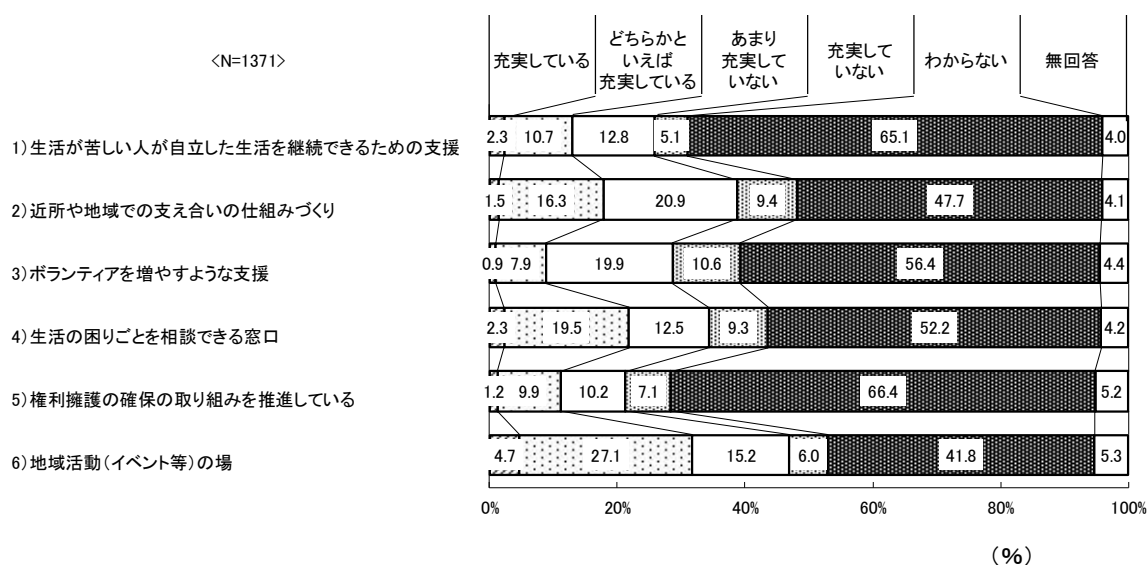
- 地域的課題に対し、望む解決方法に近いものをあげてもらったところ、「考えたことがないのでわからない」（17.9%）という人が2割近くいるが、そのほかでは、「行政と住民が協力して、解決方法を考えていきたい」（50.8%）を半数以上があげて最も高くなっている。次いで、「行政に解決してもらえるように、積極的に要求していきたい」（15.2%）となっている。
- 性別にみると、あまり大きな差はない。
- 年代別にみると、「考えたことがないのでわからない」とする割合は、若い人ほど少しずつ高くなっている。また、「行政と住民が協力して、解決方法を考えていきたい」は、「50代」（58.6%）、「60代」（59.1%）で高くなっている。



(7) 健康や福祉に関する柏市の取組についてどう感じるか

問) 健康や福祉に関する柏市の取り組みについてどう感じますか。

- ・「充実している」「どちらかといえば充実している」を合わせて“充実している”の割合は、【6】地域活動（イベント等）の場】（31.7%）で3割を超えて最も高くなっている。
- ・性別でみると、あまり大きな差はない。
- ・年代別では、総じて20代で最も高い割合を示す項目が多く、【6】地域活動（イベント等）の場】では、20代以下（46.6%）、30代（45.2%）で高いのが目立つ。

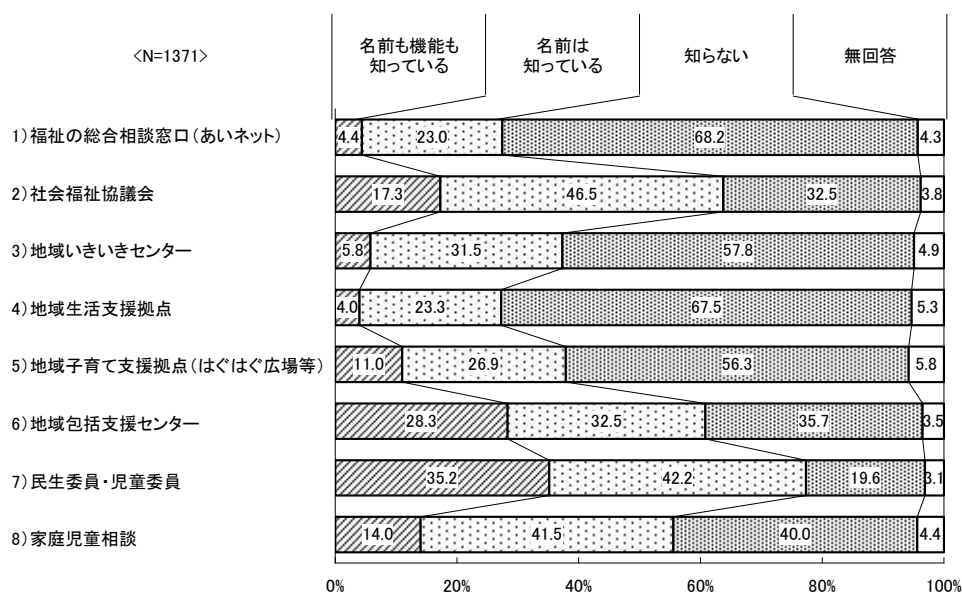


		サンプル数	1) 生活支援	2) 生活が苦しい人が自立した仕組みや地域での支え合いの	3) ボランティアを増やすよう	4) 生活の困りごとを相談できる窓口	5) 権利擁護の確保の取り組みを推進している	6) 地域活動（イベント等）の場
全 体			1371	13.0	17.9	8.8	21.7	11.1
性別	男性	572	13.8	18.0	9.1	20.8	12.4	29.2
	女性	750	12.7	17.9	8.7	22.9	10.1	34.0
年代	20代以下	73	15.1	24.7	15.1	32.9	19.2	46.6
	30代	146	16.4	18.5	12.3	28.8	14.4	45.2
	40代	177	14.7	14.1	9.6	22.6	9.6	33.9
	50代	215	14.0	12.6	7.0	23.3	12.1	32.1
	60代	220	9.1	19.1	10.0	20.0	6.8	33.2
	70代	325	9.5	19.1	6.8	16.3	9.5	26.5
	80代以上	202	17.3	21.3	6.9	21.8	13.4	21.8

(8) 以下の相談窓口を知っているか

問) あなたは、次の相談窓口を知っていますか。それぞれについて、当てはまるものを選んでください。

- 「名前も機能も知っている」「名前は知っている」を合わせた認知率は、【7) 民生委員・児童委員】(77.3%)が最も高く、次いで【2) 社会福祉協議会】(63.7%)である。対して、【4) 地域生活支援拠点】(27.3%)、【1) 福祉の総合相談窓口】(27.5%)は認知度が低くなっている。
- 性別では【5) 地域子育て支援拠点(はぐはぐ広場等)】は男性(27.8%)よりも女性(45.5%)の方がかなり高い。
- 年代別にみると、【2) 社会福祉協議会】をはじめ、年代が上がるほど高い割合となる項目が多い。



(%)

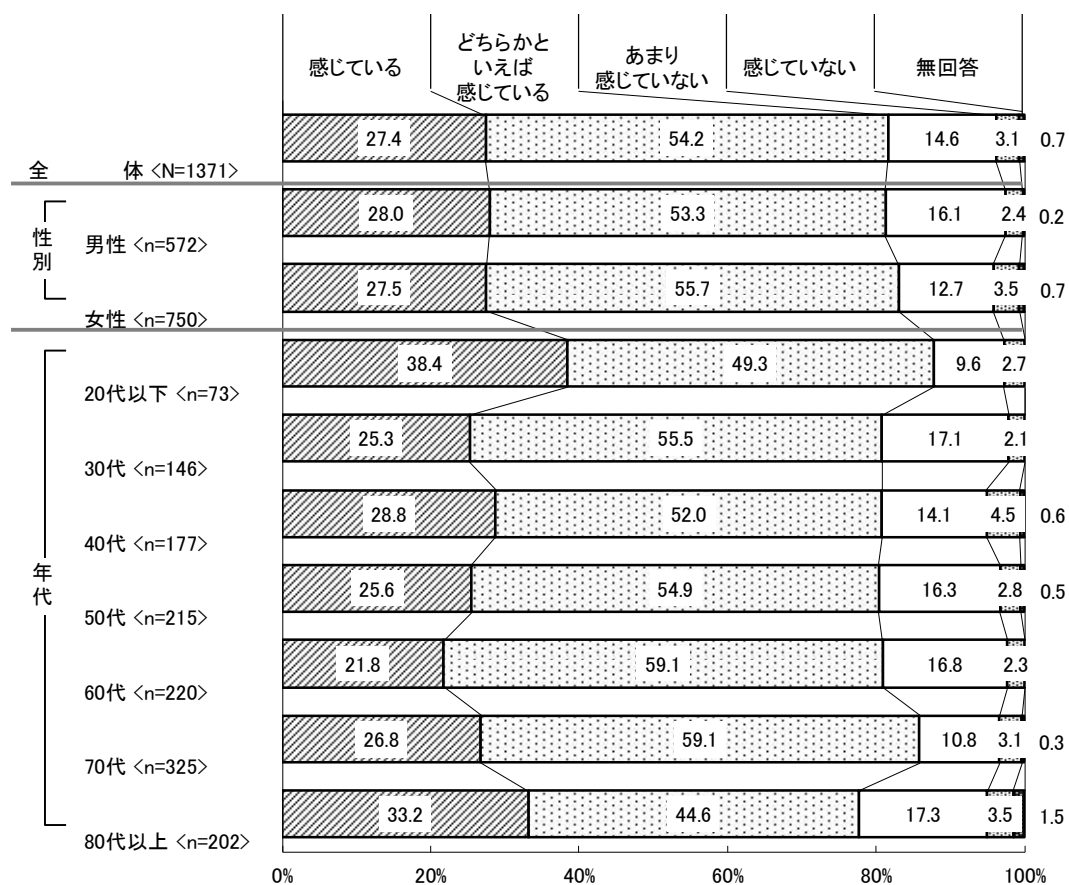
		サンプル数	福祉の総合相談窓口(あいネット)	社会福祉協議会	地域いきいきセンター	地域生活支援拠点	地域子育て支援拠点(はぐはぐ広場等)	地域包括支援センター	民生委員・児童委員	家庭児童相談	非該当(全て知らない)
	全 体	1371	27.5	63.7	37.3	27.3	37.9	60.8	77.3	55.5	11.5
性別	男性	572	28.3	62.1	34.4	26.9	27.8	54.2	73.6	53.5	16.3
	女性	750	27.3	66.1	39.9	28.1	45.5	66.3	81.5	57.6	6.9
年代	20代以下	73	31.5	43.8	41.1	34.2	41.1	49.3	47.9	68.5	15.1
	30代	146	17.1	42.5	31.5	23.3	65.1	47.3	55.5	62.3	14.4
	40代	177	21.5	54.8	32.2	27.7	59.3	54.2	70.6	55.9	14.1
	50代	215	26.5	65.1	33.0	26.0	42.3	60.5	82.3	59.1	13.0
	60代	220	27.3	69.5	39.5	28.2	31.4	65.5	82.7	57.3	12.3
	70代	325	34.8	74.5	42.8	28.9	25.5	65.5	87.4	55.7	7.1
	80代以上	202	28.7	70.8	38.1	25.7	22.3	69.3	83.7	41.6	8.9

5. 安全安心の取組について

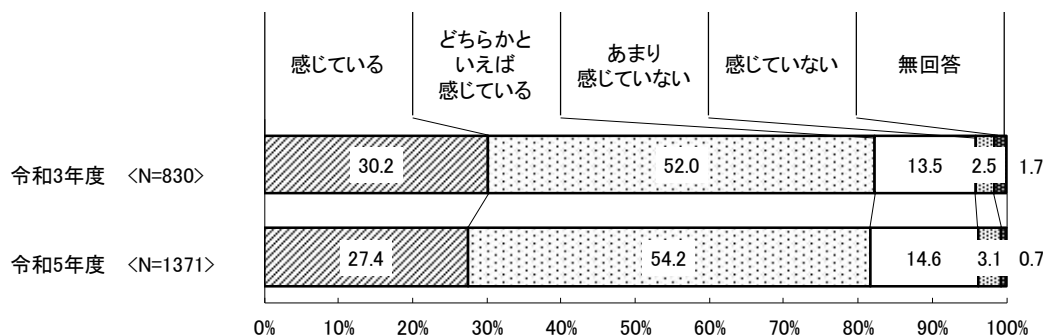
(1) 地域の中で安心して生活できていると感じるか

問) あなたは、地域の中で安心して生活できていると感じますか。

- 全体でみると、「感じている」(27.4%)と「どちらかといえば感じている」(54.2%)を合わせた“感じている”が、約8割を占めている。
- 性別にみると、ほとんど差はない。
- 年代別にみると、70代までは“感じている”の割合は80%を超えているが、「80代以上」は77.7%とやや低めである。
- 同設問を前回(令和3年度調査)の結果と比較すると、大きな変動はなかった。

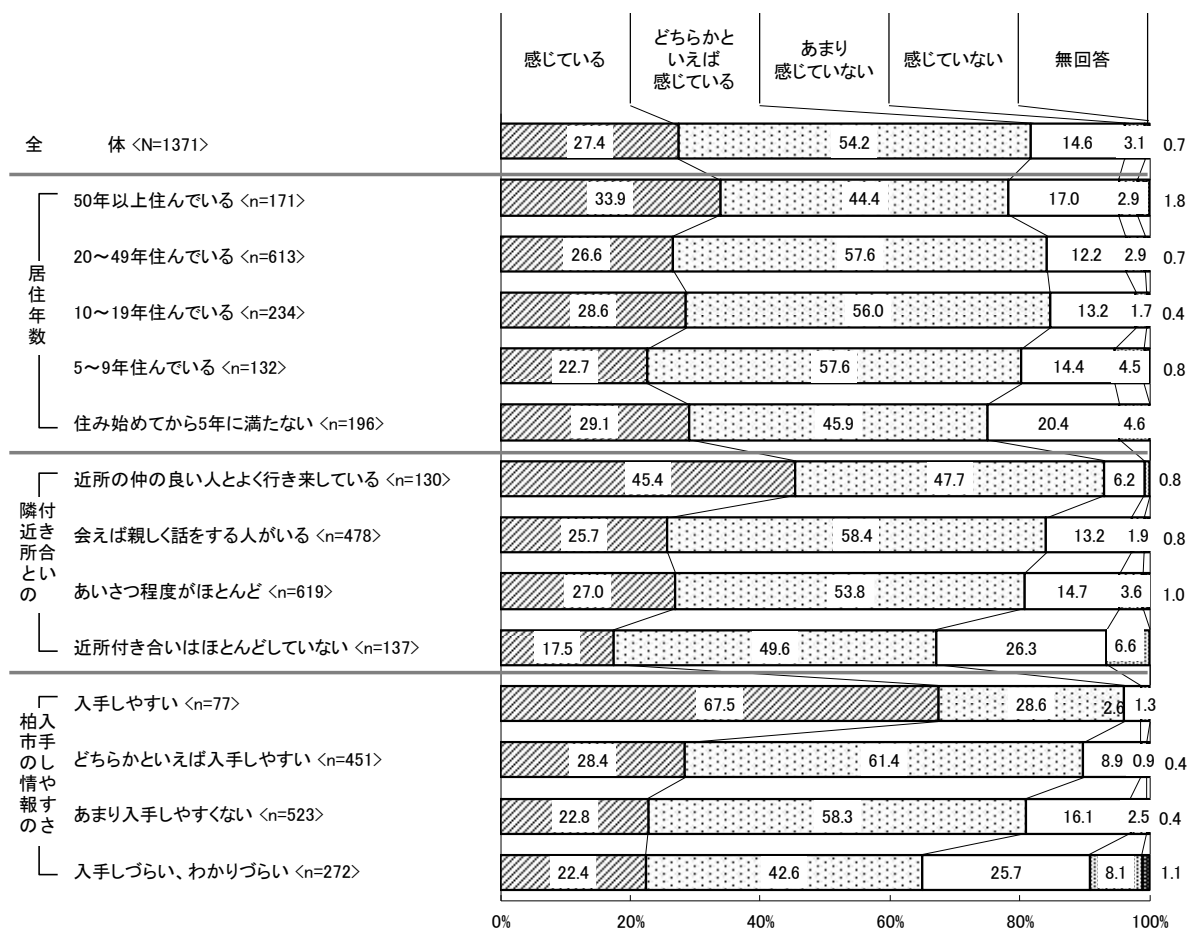


【前回調査比較】



【居住年数別・隣近所との付き合い別・柏市の情報の入手しやすさ別】

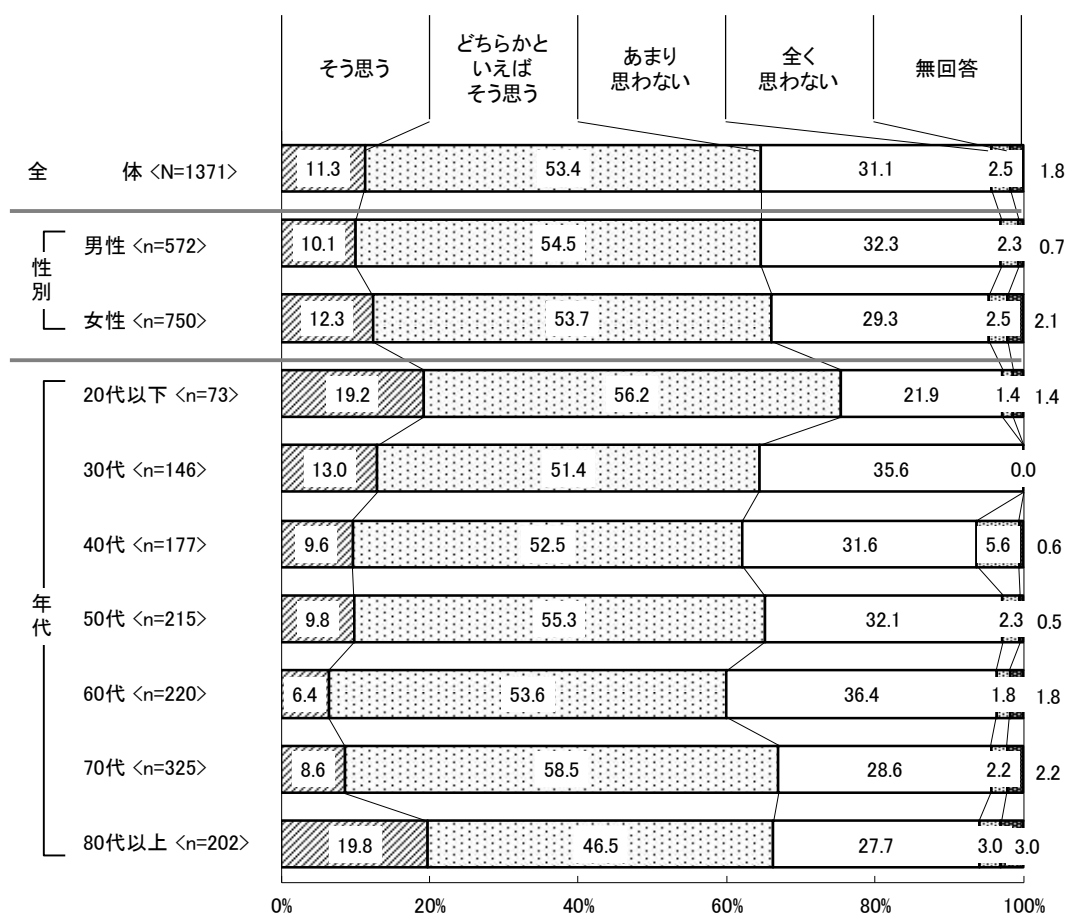
- 居住年数別にみると、最も長い「50年以上住んでいる」と最も短い「住み始めてから5年に満たない」という人で、安心して生活できていると“感じている”割合が低めとなっている。
- 隣近所との付き合い別にみると、付き合いが密な人ほど安心感は強く、「近所の仲の良い人とよく行き来している」という人では「感じている」（45.4%）の割合は半数近くに達している。
- 柏市の情報の入手しやすさ別にみると、「感じている」とする割合は「入手しやすい」（67.5%）という人で6割を超え、他の層に比べ、圧倒的に安心感を得ている。



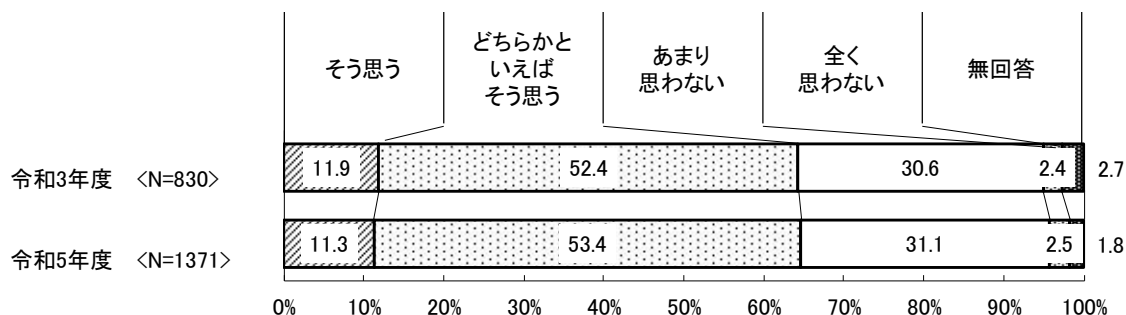
（２）住んでいる地域は障害者・高齢者や子育てをしている方にとって安心して生活できる環境だと思うか

問）お住まいの地域は障害者・高齢者や子育てをしている方にとって安心して生活できる環境だと思いますか。

- 「そう思う」(11.3%)は1割程度とあまり多くないが、「どちらかといえばそう思う」(53.4%)は半数を超えており、合わせて“そう思う”（64.7%）の割合は6割を超えている。
- 性別、年代別でみると、ほとんど差はない。
- 同設問を前回（令和3年度調査）の結果と比較すると、大きな変動はなかった。



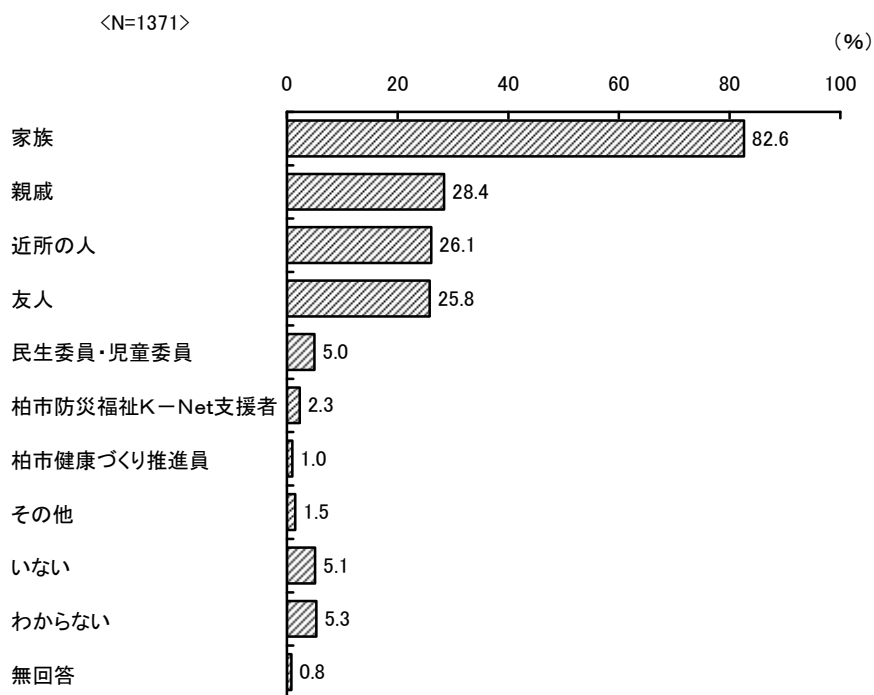
【前回調査比較】



(3) 災害が起きた時に支援をしてくれる人はいるか

問) あなたには、災害が起きた時に支援をしてくれる人はいますか。

- 災害が起きた時に支援をしてくれる人は「家族」(82.6%)が断然多く、以下「親戚」(28.4%)、「近所の人」(26.1%)、「友人」(25.8%)となっている。
- 性別ではあまり大きな差はない。
- 年代別にみると、「近所の人」は年代が上がるほど高い割合となっている。



(%)

		サンプル数	家族	親戚	近所の人	友人	民生委員・児童委員	柏市防災福祉K-Net支援者	柏市健康づくり推進員	その他	いない	わからない	無回答
全 体		1371	82.6	28.4	26.1	25.8	5.0	2.3	1.0	1.5	5.1	5.3	0.8
性別	男性	572	81.5	28.8	26.9	21.9	5.6	2.6	1.6	1.9	6.3	5.6	0.5
	女性	750	84.4	28.3	25.7	28.7	4.7	2.1	0.7	1.2	4.1	4.9	0.5
年代	20代以下	73	89.0	27.4	20.5	30.1	1.4	-	-	1.4	4.1	4.1	-
	30代	146	84.2	37.7	19.2	30.8	-	-	-	-	6.8	6.8	-
	40代	177	85.9	33.9	19.8	31.1	-	0.6	-	2.3	5.1	6.2	0.6
	50代	215	76.7	27.4	20.0	24.7	0.9	0.9	-	1.9	9.3	7.0	-
	60代	220	80.9	25.9	25.5	25.5	1.8	2.3	0.5	2.3	5.9	5.9	-
	70代	325	87.7	24.0	32.0	26.2	8.3	3.4	0.9	1.2	2.8	2.5	0.9
	80代以上	202	78.7	28.7	35.6	16.8	17.3	5.9	5.0	1.0	2.5	6.4	1.5

【隣近所との現状の付き合いの状況別】

- 隣近所との付き合い別にみると、総じて付き合いの深い人ほど高い割合の項目が多いが、特に「近所の人」では大きな差が生じている。

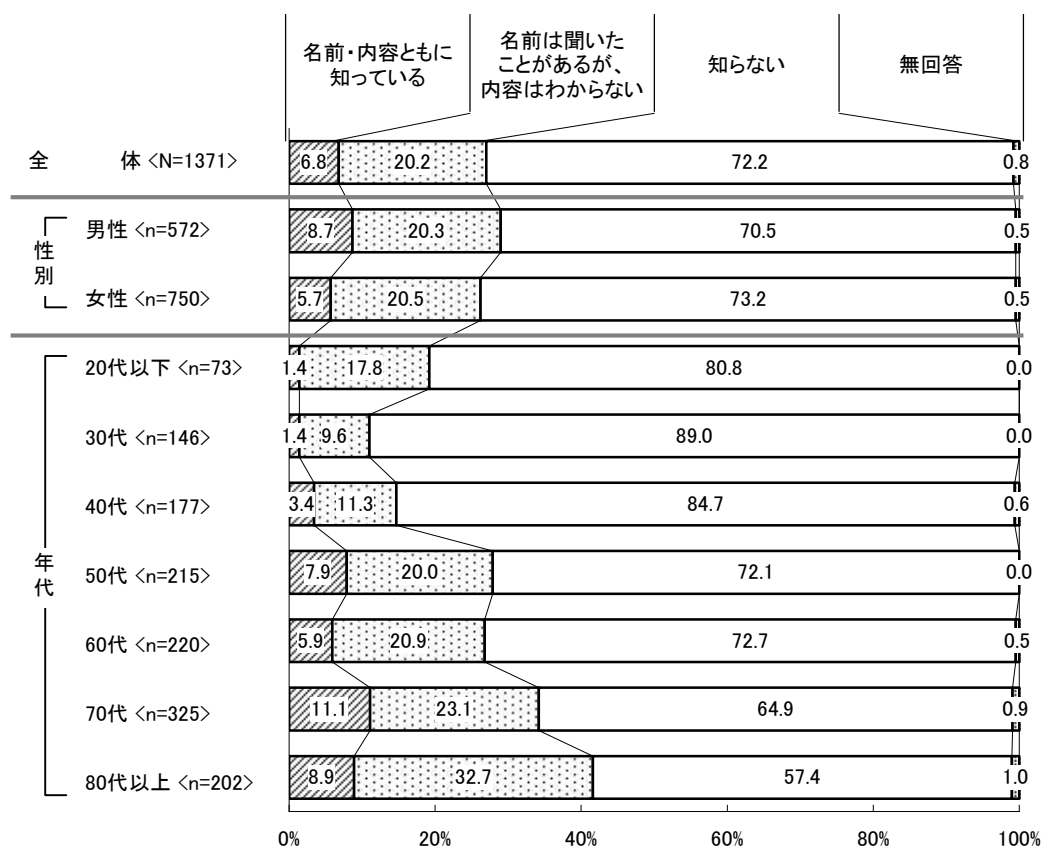
(%)

		サ ン プ ル 数	家 族	親 戚	近 所 の 人	友 人	民 生 委 員 ・ 児 童 委 員	柏 市 防 災 福 祉 K ・ N e t 支 援 者	柏 市 健 康 づ く り 推 進 員	そ の 他	い な い	わ か ら な い	無 回 答
全 体		1371	82.6	28.4	26.1	25.8	5.0	2.3	1.0	1.5	5.1	5.3	0.8
隣 近 所 合 い	近所の仲の良い人とよく行き来している	130	86.2	35.4	66.9	49.2	13.8	4.6	3.1	1.5	0.8	1.5	0.8
	会えば親しく話をする人がいる	478	83.3	33.5	38.5	30.1	7.3	3.1	1.0	2.1	2.3	4.6	1.0
	あいさつ程度がほとんど	619	83.4	25.0	13.6	20.4	2.4	1.3	0.6	0.6	6.3	5.7	0.8

(4) 柏市防災福祉K-Netを知っているか

問) 柏市防災福祉 K-Net を知っていますか。

- 「名前・内容ともに知っている」(6.8%)はごくわずかで、「名前は聞いたことがあるが、内容はわからない」(20.2%)を合わせても、認知率は3割弱(27.0%)にとどまっている
- 性別にみると、男性の方がやや認知率は高いが、差は大きくない。
- 年代別にみると、年代が上がるほど認知率は高くなる傾向がみられる。

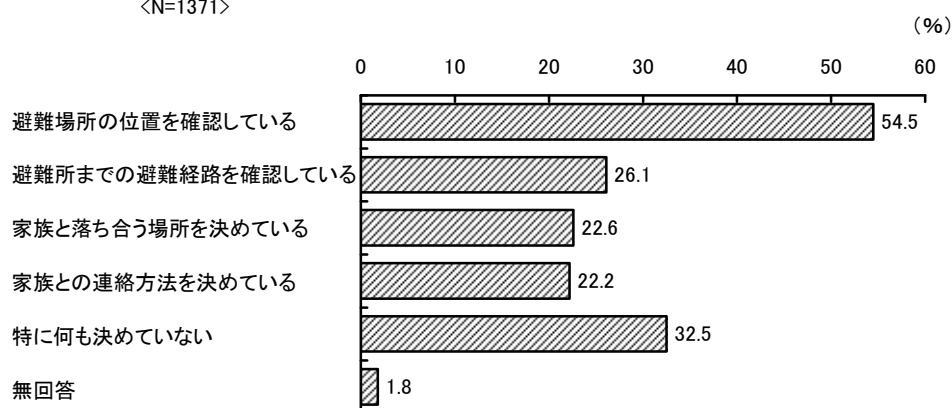


(5) 災害発生時の避難行動を想定して、どのような事前準備をしているか

問) あなたは、災害発生時の避難行動を想定して、どのような事前準備をしていますか。
(複数回答)

- 災害発生時の避難行動を想定して、している事前準備は、「特に何も決めていない」(32.5%)という人が3割強を占めている。それ以外の、事前準備をしているという回答では、「避難場所の位置を確認している」(54.5%)を過半数があげているほか、「避難所までの避難経路を確認している」(26.1%)、「家族と落ち合う場所を決めている」(22.6%)、「家族との連絡方法を決めている」(22.2%)などの順となっている。
- 性別でみると、ほとんど差はみられない。
- 年代別にみると、少しずつではあるが、年代が上がるほど高い割合となっている項目が多い。一方、「特に何も決めていない」の割合は若い年代ほど高く、「20代以下」(41.1%)、「30代」(45.2%)となっている。

<N=1371>



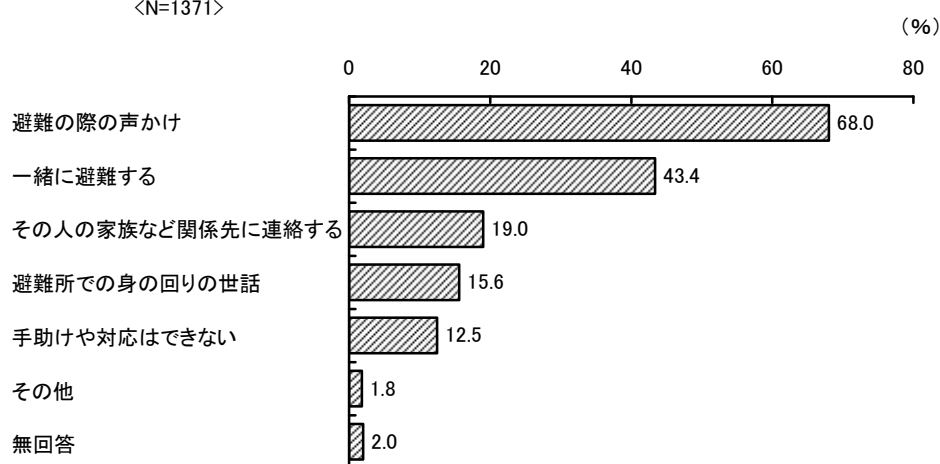
		サンプル数	避難場所の位置を確認している (%)	避難所までの避難経路を確認している (%)	家族と落ち合う場所を決めている (%)	家族との連絡方法を決めている (%)	特に何も決めていない (%)	無回答 (%)
全 体		1371	54.5	26.1	22.6	22.2	32.5	1.8
性別	男性	572	54.4	26.2	21.2	22.6	34.1	0.9
	女性	750	55.1	25.7	23.2	21.9	31.5	2.0
年代	20代以下	73	43.8	17.8	24.7	19.2	41.1	1.4
	30代	146	47.9	17.8	21.9	18.5	45.2	-
	40代	177	48.0	25.4	33.3	14.1	34.5	1.7
	50代	215	58.1	25.1	26.5	18.6	28.8	0.5
	60代	220	56.4	20.5	19.1	24.5	33.2	1.4
	70代	325	60.0	28.3	20.6	28.0	27.1	2.8
	80代以上	202	55.9	39.1	15.8	25.2	30.7	1.5

(6) 近所に「避難行動要支援者」がいた際は、どのような手助けができると思うか

問) あなたは、災害発生時の避難行動を想定して、どのような事前準備をしていますか。
(複数回答)

- 「避難の際の声かけ」(68.0%)が7割近くを占めて最も多く、以下「一緒に避難する」(43.4%)、「その人の家族など関係先に連絡する」(19.0%)、「避難所での身の回りの世話」(15.6%)、「手助けや対応はできない」(12.5%)などがあげられている。
- 性別でみると、あまり大きな差はない。
- 年代別にみると、全般に若い人ほど高い割合を示す項目が多く、特に「一緒に避難する」の割合は、「20代以下」(64.4%)の6割台に対し、「80代以上」(33.2%)では3割台と半分程度にとどまっている。一方、「手助けや対応はできない」は「80代以上」(31.2%)で高い割合となっている

<N=1371>



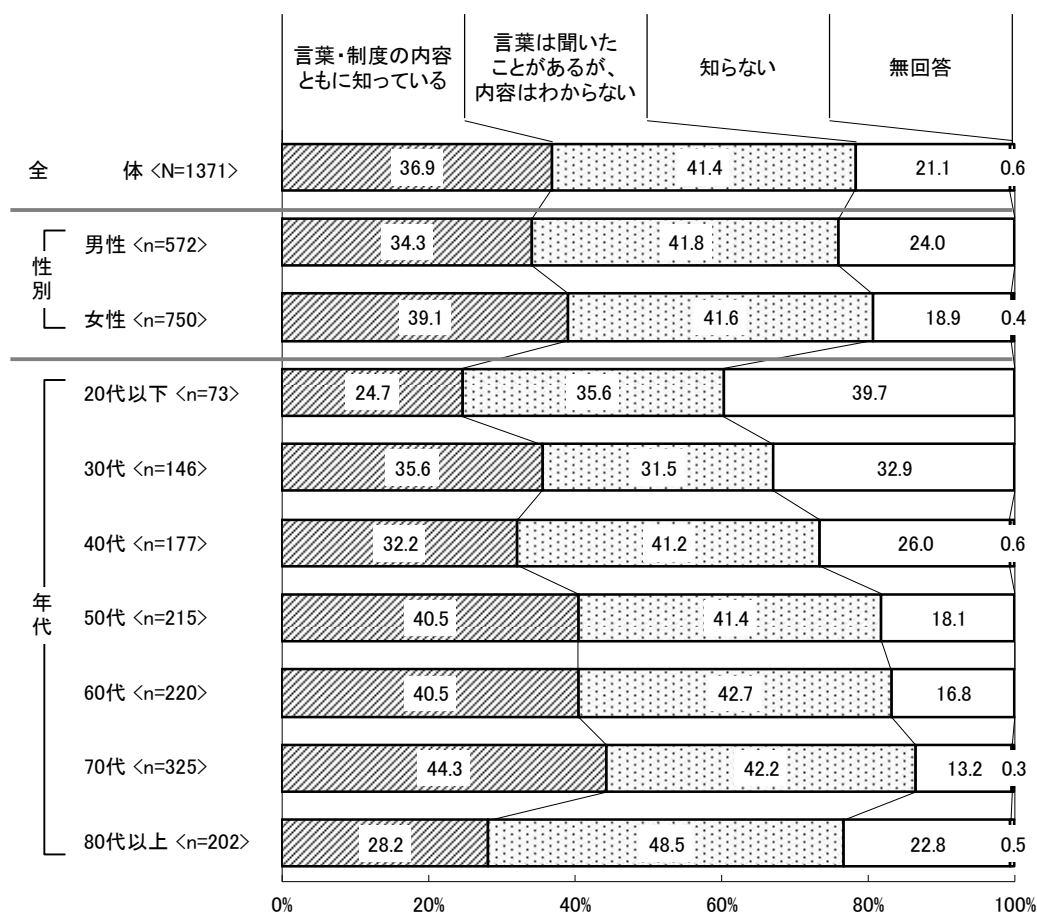
(%)

		サンプル数	避難の際の声かけ	一緒に避難する	その人の家族など関係先に連絡する	避難所での身の回りの世話	手助けや対応はできない	その他	無回答
全 体		1371	68.0	43.4	19.0	15.6	12.5	1.8	2.0
性別	男性	572	67.7	46.3	19.1	11.0	12.9	2.1	1.0
	女性	750	69.6	41.9	19.7	19.5	12.0	1.3	2.0
年代	20代以下	73	69.9	64.4	23.3	23.3	4.1	1.4	-
	30代	146	67.8	45.9	22.6	13.0	13.0	0.7	0.7
	40代	177	71.2	45.8	22.0	13.0	10.7	1.1	1.1
	50代	215	73.0	43.7	24.2	20.0	6.5	1.4	0.5
	60代	220	75.9	45.9	15.9	24.1	8.2	2.3	0.5
	70代	325	68.0	41.8	18.5	13.2	10.8	2.8	3.7
	80代以上	202	52.5	33.2	12.4	7.4	31.2	2.0	2.0

(7) 「成年後見制度」を知っているか

問) あなたは、「成年後見制度」を知っていますか。

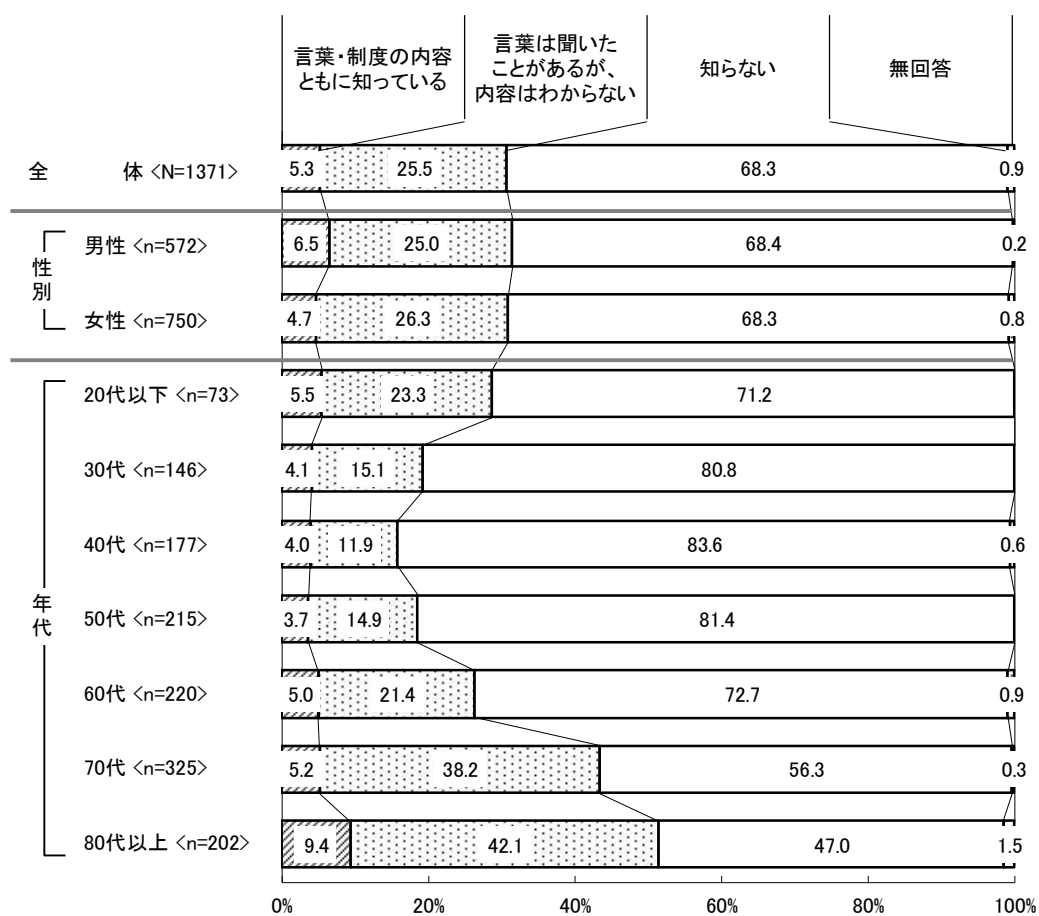
- 「成年後見制度」についての認知度は、「言葉・制度の内容ともに知っている」36.9%で、「言葉は聞いたことがあるが、内容はわからない」が41.4%となっており、合わせて認知率は8割近くに達している(78.3%)。
- 性別にみると、女性の方がやや認知率は高いが、あまり大きな差ではない。
- 年代別にみると、年代が上がるほど認知率は高くなる傾向がある。



(8) 「社会を明るくする運動」という言葉や内容を知っているか

問) あなたは、「社会を明るくする運動」という言葉や内容を知っていますか

- 「社会を明るくする運動」という言葉や内容の認知度をみると、「言葉・制度の内容とも知っている」(5.3%)はごくわずかで、「言葉は聞いたことがあるが、内容はわからない」(25.5%)を合わせても、認知率は3割(30.8%)にとどまっている。
- 性別でみると、ほとんど差はない。
- 年代別にみると、認知率は、年代が上がるほど高く、最も低い「40代」(15.8%)に比べ、「80代以上」(51.5%)では半数を超えている。

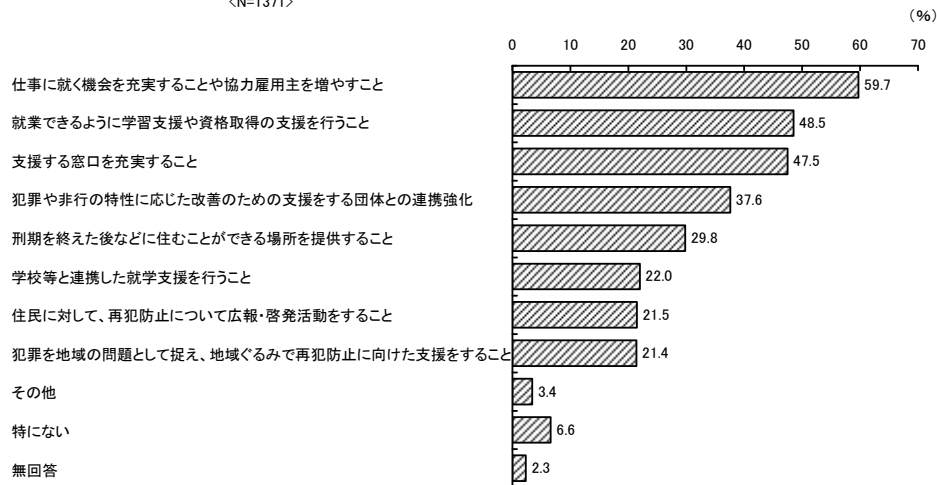


(9) 非行や犯罪を犯した人の立ち直りや再犯防止に何が必要だと思うか

問) 非行や犯罪を犯した人の立ち直りや再犯防止に何が必要だと思いますか。(複数回答)

- 非行や犯罪を犯した人の立ち直りや再犯防止に必要だと思うことは、「仕事に就く機会を充実することや協力雇用主を増やすこと」(59.7%)が最も多く、次いで、「就業できるように学習支援や資格取得の支援を行うこと」(48.5%)、「支援する窓口を充実すること」(47.5%)であった。
- 性別でみると、総じてあまり差はない。
- 年代別にみると、あまり差のない項目が多いが、「支援する窓口を充実すること」「住民に対して、再犯防止について広報・啓発活動をする事」などは、年代が上がるほど高い割合になる傾向がみられる。

<N=1371>



(%)

		サンプル数	仕事に就く機会を充実することや協力雇用主を増やすこと	就業できるように学習支援や資格取得の支援を行うこと	支援する窓口を充実すること	犯罪や非行の特性に応じた改善のための支援をする団体との連携強化	刑期を終えた後などに住むことができる場所を提供すること	学校等と連携した就学支援を行うこと	住民に対して、再犯防止について広報・啓発活動をする事	犯罪を地域の問題として捉え、地域ぐるみで再犯防止に向けた支援をする事	その他	特になし	無回答
	全 体	1371	59.7	48.5	47.5	37.6	29.8	22.0	21.5	21.4	3.4	6.6	2.3
性別	男性	572	60.3	46.5	46.0	36.4	30.4	19.2	23.3	19.1	3.3	8.0	0.9
	女性	750	60.3	50.7	49.5	39.1	29.6	24.5	20.5	23.2	2.9	5.5	2.4
年代	20代以下	73	45.2	49.3	37.0	35.6	17.8	19.2	13.7	19.2	2.7	9.6	-
	30代	146	52.7	45.9	39.7	49.3	23.3	23.3	16.4	21.9	6.2	4.1	0.7
	40代	177	59.9	45.2	46.3	39.5	33.9	24.9	20.9	25.4	7.3	5.6	1.1
	50代	215	64.7	52.6	42.3	47.4	28.8	22.3	22.3	19.1	4.2	3.7	0.5
	60代	220	65.9	51.8	47.3	37.7	33.6	24.5	20.0	19.5	2.7	7.7	1.4
	70代	325	63.4	49.8	54.8	31.1	32.9	20.3	23.1	21.8	1.2	6.8	2.2
	80代以上	202	54.5	44.6	54.0	29.7	28.7	20.3	27.7	23.3	2.0	9.4	5.0

6. 市民の考えや意見（自由記述）

（１）自由記述の設問・回答数

本アンケートは、「安全安心に暮らせるまち」や「助け合い・支え合える地域づくり」に関して、市民の考えや意見を自由記述方式で尋ねたところ、自由記述回答数 781 件（有効回収数に占める回答率 57.0%）の回答があった。

問）「みんなが安心して安全に暮らせまちづくり」や、「みんなで助け合い・支え合える地域をつくるため」のためにはどのようなことが必要だと思いますか。あなたの考えや意見を自由にお書きください。

（２）分析方法

分析方法は、自由記述回答の特徴を把握するため、形態素解析（*1）の手法を用いて基礎分析を行い、頻出ワードの抽出を行った。また、基礎分析で抽出された頻出ワードが、調査項目の 5 つのカテゴリー①地域との関わり、②地域での活動、③健康づくり、④安心・安全の取組、⑤地域共生社会の視点で見た場合、どのような視点で述べられているのか傾向を把握するために、質的データ分析補助ソフト MAXQDA を用いて整理・分析を行った。

*1：文章を言語上で意味を持つ最小単位に分け、それぞれの品詞や変化などを判別すること。

*2：形態素解析で処理された頻出語や特徴語を抽出し可視化したもの。

（３）基礎分析（頻出ワード抽出）

市民のみなさんの考えや意見として記載された内容を形態素解析し、ワードクラウドで表示するとともに、その中から使用された頻出回数が多いワードの上位 30 を整理した。

補足 1：31 位以降のワードは頻出回数が少なく、内容が拡散することから、掲出するのは上位 30 までにとどめている。

補足 2：回数の数え方は、当該単語が出現したことをもって 1 回としており、同一回答者の発言の中で繰り返し使用されている単語があった場合、複数回数える方法でおこなっている。

【頻出ワード】

順位	頻出ワード	出現回数	自由記述回答数の出現割合	順位	頻出ワード	出現回数	自由記述回答数の出現割合
1	人	431	60.0%	16	生活	63	8.8%
2	思う	362	50.4%	17	行政	62	8.6%
3	地域	242	33.7%	18	声	61	8.5%
4	必要	164	22.8%	19	私	58	8.1%
5	高齢	147	20.5%	20	子ども	57	7.9%
6	近所	116	16.2%	21	助け合う	57	7.9%
7	情報	107	14.9%	22	関係	56	7.8%
8	市	105	14.6%	23	子育て	55	7.7%
9	柏	82	11.4%	24	挨拶	54	7.5%
10	社会	81	11.3%	25	交流	52	7.2%
11	場	78	10.9%	26	住	50	7.0%
12	参加	71	9.9%	26	話	50	7.0%
13	自分	68	9.5%	26	会	50	7.0%
14	住民	66	9.2%	26	活動	50	7.0%
15	世代	65	9.1%	30	利用	49	6.8%

(4) 詳細分析

基礎分析で抽出された頻出ワード上位30のうち、動詞に分類される単語は「思う」「助け合う」である。地域の健康・福祉に関する視点から、これらの2つのワードがどのような意見や考えとして使用されているか、詳細分析を行った。最も多く使われていた内容は「地域との関わり」に関する意見であり、続いて「地域活動」が多いという結果となった。

	分類	延べ回数	延べ回答割合
1)	地域との関わりに関する意見	171	47.2%
2)	地域活動に関する意見	98	27.1%
3)	健康福祉に関する意見	58	16.0%
4)	安心安全に関する意見	82	22.7%
5)	地域共生に関する意見	15	4.1%
6)	その他(広報啓発)	28	7.7%
7)	その他(広報啓発以外)	49	13.5%

1) 地域との関わりに関する主な意見

●挨拶・顔の見える関係

- ✓ まず挨拶。誰かが何かをしてくれるのを待つだけでなく、日頃からご近所に顔を覚えてもらえるようにする。
- ✓ 新しくできた住宅地なので、昔からの住人と新しく転入してきた人との橋渡しを行政が仲介し、新たな町会構成や、世代間ギャップを埋める仲介役を置いて、顔の見える地域作りを早急にすべきだと思う。

●町会不参加・個人情報等による関わりの難しさ

- ✓ 町会に入会しない人が増えているため、顔が分からないので交流も難しい。
- ✓ 個人情報の保護ばかりが先に立ってしまい、地域に本当に必要な情報が入ってこない。その結果、孤立する人が増えるのではないか。

2) 地域活動に関する主な意見

●町会活動や社会参加の仕組み

- ✓ 町内会活動の充実が最も大切だと思う
- ✓ 高齢者パワー（多様なスキルを持つ人々も多数）を活かしたポジティブな都市生活者としてのプライドが持てる仕組みを、ある程度の市行政のサポートで構築してほしい。

●地域活動への交流の機会やきっかけ

- ✓ 若者たちが参加したくなるイベント 交流の場が必要。特に自分が「やる側」ではなく、「お客様」として参加するイベント。まずは参加してもらうことを優先し、そこから運営側への興味 関心を持ってもらう必要があると思う。
- ✓ 一番大事なことは、きっかけがないので行動しないことだと思う（ボランティアをする気があっても）。

3) 健康福祉に関する主な意見

●誰もが気軽に相談できる環境

- ✓ 自分や家族の生活が大切な中、顔を合わせる程度の近隣の人を助けることは難しいく、昔から住んでいて制度を知らない限り、当事者になった時、自分から情報を探し、声を上げなければ助けがない。
- ✓ 困った時に気軽に相談できる体制や窓口がたくさんあることが大事だと思う。相談してもらい回しにされるようなことがあっては意味がないし、安心して暮らせないと思う。

●つながり・交流の場

- ✓ 児童館、図書館、公民館が一体になったものが必要。子育てや福祉関係だけでなく、文化的 社会的 娯楽的な活動としても活用できる施設が必要。ふだんから利用している人がいれば、困った時に駆け込みやすい。子育てには年配者、年配者には若い力が助けになる時があるので、ふだんからそれぞれの世代が文化的 健康的な活動ができる施設内に駆け込み寺があるといいのでは、と思う。
- ✓ 高齢者 1人で参加しやすいような習いごと教室を充実させてほしい。外出の機会を増やして、生活の質が向上すれば、引きこもりも少なくなり、支援を受けたい時に声を上げやすくなるのでは。

4) 安全安心に関する主な意見

●見守り・防犯対策

- ✓ 子どもと地域の人との交流がもっと必要。学校の登下校などの見守りも皆でしていくことが必要。
- ✓ 監視カメラ、街灯を、メイン道路だけでなく、住宅地の夜になると人通りが少なくなる場所にも設置してほしい。暗くて怖い。

●移動・交通

- ✓ 歩行者が歩きやすい道路が必要だと思う。道幅が狭く危ないところがある。
- ✓ 高齢者が増える中、乗り合いのタクシー、バス等の配備は必要かと思う（この地区はバスが通っていない）。

5) 地域共生活動に関する主な考えや意見

●助け合い・支え合い

- ✓ お互いがお互いを尊重する心を社会全体ではぐくむこと。
- ✓ 非行や犯罪も予防や立ち直りを皆が受け入れたり支援をできたりするように、講演などをしてはどうかと思う。

●支援が必要な方への配慮

- ✓ 障害者の方が安心して出歩ける環境が不十分だと思う。

6) 広報啓発

●情報発信の充実・強化

- ✓ 市からの情報発信があまりないように思う。
- ✓ 分かりやすい情報を必要な人に十分に伝わるようにする（新しい制度や施策が行われている。求めれば得られるが、求める術がない人などは知らないままのことがある）。

●対象に応じた啓発の工夫

- ✓ 今は新聞など購入しない家庭が多いと思うので、窓口の有無や活用の仕方などの情報を、SNSなどを利用して発信を拡大すれば、皆が情報を知ること増え、声を上げやすくなると思う。
- ✓ 情報を入手しづらい人（高齢者など）に情報を知らせる方法がもっとたくさん必要だと思う。一人暮らしの人や高齢者のみの世帯は、SNS等のみの情報は入手できないことが多いと思う。

7) その他の意見

- ✓ 子どもたちの遊び声が聞けなくなって久しい。子育ては今まさに行政の急務だろう。
- ✓ 若い人は皆都会に出て行く。若者が住みたくなくなるような、魅力のある地域になってほしいと思う。
- ✓ 住民同士が助け合うことはもちろん大切だが、その前に公的なセーフティネットが十分あり、機能していることが重要だと思う。
- ✓ 地域と行政が課題を共有 把握できるようにする。
- ✓ 柏の葉や豊四季団地のように、大学 行政 住民代表でモデルケースを作り、その地域の課題と今後を検討しながら進めるような取り組みが必要と思う。

III 資料編（調査票）

柏市地域健康福祉アンケート調査 ご協力をお願い

市民の皆様には日ごろから福祉行政にご協力いただき、ありがとうございます。

柏市では、だれもがその人らしく住み慣れた地域でいきいきと暮らせるまちづくりのため、市民、関係機関・団体、行政が連携し、地域住民がお互いに助け合い、支え合うことのできる仕組みづくりをめざして「第5期柏市地域健康福祉計画」を策定します。

このアンケート調査は、18歳以上の市民4,000人を対象に実施し、皆様の福祉観、地域での関わりなどの実態を把握するとともに、ご意見、ご提言を広くお聞きし、計画策定に反映していきたいと考えております。

また、このアンケート調査でお答えいただいた内容は、地域健康福祉計画策定に関する目的以外に使用することはありません。趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

令和5年11月

柏市長 太田 和美

ご記入にあたってのお願い

○この調査票は、お名前・ご住所を記入する必要はありません。

○ご記入は、あて名のご本人様にお願いいたします。ご本人様のご記入が困難な場合は、ご家族の方などがご本人様のお考えをお聞きのうえ、またはご意向を汲み取ったうえで、代理でご記入をお願いいたします。

○お答えは、あてはまる回答の番号に○をつけてください。また、記入欄については、具体的にその内容をご記入ください。

○なお、本調査の結果は統計的に処理いたしますので、集計結果の公表時などにおいて、個人が特定されることはありません。思いのままをお答えいただきますようお願い申し上げます。

○ご記入いただいた調査票は、**11月30日（木）**までに、同封の封筒に入れて（切手を貼らずに）投函してください。ご協力の程よろしくお願い申し上げます。

【調査に関するお問い合わせ先】

柏市 福祉部 福祉政策課 政策担当

電話：04-7167-1131 FAX：04-7164-3917

I. 「地域」との関わりについておたずねします。

(※ここでいう「地域」とは、あなたのお住まいの場所を中心とした近隣のエリアを示します。)

問1 あなたは、ふだん隣近所の人とどのような付き合い方をしていますか。
(ひとつだけ○)

- | |
|----------------------|
| 1 近所の仲の良い人とよく行き来している |
| 2 会えば親しく話をする人がいる |
| 3 あいさつ程度がほとんど |
| 4 近所付き合いはほとんどしていない |

問2 あなたは、今後隣近所の人とどのような付き合い方をしていきたいですか。
(ひとつだけ○)

- | |
|-----------------------|
| 1 近所の仲の良い人とよく行き来する関係 |
| 2 会えば親しく話をする人がいる程度の関係 |
| 3 あいさつ程度の関係 |
| 4 近所付き合いはあまりしたくない |

問3 あなたの隣近所には、次のように気にかかる人(支援が必要そうな人)がいますか。
(あてはまるものすべてに○)

- | |
|-------------------------|
| 1 高齢者や障害者など日常生活で支援が必要な人 |
| 2 地域とのつながりがなく孤立している人 |
| 3 一人暮らしで心細さや不安を感じている人 |
| 4 ひきこもり |
| 5 必要な情報が届かず困っている人 |
| 6 虐待が心配な人(子ども、高齢者、障害者) |
| 7 ヤングケアラー |
| 8 ごみ屋敷に暮らしている人 |
| 9 周りに気にかかる人はいない |
| 10 支援が必要な人がいるかわからない |
| 11 その他() |

問4 これからも、あなたが今住む地域で、あなたらしく暮らしていくために、充実したい・充実してほしいことはなんですか(3つまで○)

- | |
|--------------------------------|
| 1 普段から地域で声を掛け合えるような、顔の見える関係づくり |
| 2 町会や地域行事などの、身近な交流の機会 |
| 3 要支援者(高齢者・障害者など)への生活支援 |
| 4 子育て世帯や子どもの見守り支援 |
| 5 地域での防災や防犯の活動 |
| 6 住まいの困りごとへの支援 |
| 7 何か困った時に相談できる、身近な相談窓口 |
| 8 特にない |
| 9 その他() |

問5 隣近所や地域の付き合いや関り方において、あなたが手助けできると思うことがありますか。(あてはまるものすべてに○)

- 1 安否確認の声かけ
- 2 行事や懇親会など、身近な交流の場で運営支援をする
- 3 地域の防災活動や防犯活動に参加する
- 4 地域で行っている子どもの見守り活動に参加する
- 5 高齢者へのちょっとしたお手伝い(ごみ捨てや電球交換など)
- 6 地域で行っている公園の清掃などに参加する
- 7 異変を感じたときの市役所などへの連絡
- 8 手助けできることはない
- 9 その他()

問6 今住んでいる地域に愛着はありますか(ひとつだけ○)

- | | |
|--------------|---------|
| 1 ある | 3 あまりない |
| 2 どちらかといえばある | 4 ない |

Ⅱ.「地域」での活動についておたずねします。

問7 あなたは、地域福祉に関するボランティアや市民活動などに取り組んでいますか。(ひとつだけ○)

- | | | |
|----------------------------|---|-----|
| 1 現在、継続的に取り組んでいる | } | 問8へ |
| 2 たまに、取り組むことがある | | |
| 3 取り組んだことはあるが、現在はほとんどしていない | } | 問9へ |
| 4 取り組んだことはない | | |
| 5 取り組むことができない | | |

問8 問7で「1」～「2」と回答された方にお聞きします。地域福祉に関するボランティアに取り組む理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

- 1 社会の役に立ちたいと思ったから
- 2 自己啓発や自らの成長につながると考えるため
- 3 自分や家族が関係している活動への支援
- 4 職場の取り組みの一環として
- 5 知人や同僚からの勧め
- 6 自分が抱えている社会問題の解決に必要なから
- 7 社会的に評価されるため
- 8 その他()

問9 問7で「3」～「5」と回答された方にお聞きします。地域福祉に関するボランティアや市民活動などに現在取り組んでいない理由として、最も当てはまるものは何ですか。(ひとつだけ○)

- 1 (参加したいと思っているが) きっかけがないため
- 2 (参加したいと思っているが) 時間がないため
- 3 (参加したいと思っているが) ひとりで参加する自信がないため
- 4 (参加したいと思っているが) どのようなボランティア活動があるか知らないため
- 5 ボランティア活動に興味・関心がないため
- 6 ボランティア活動に参加する理由が見つからないため
- 7 面倒な気がするため
- 8 その他()

問 10 あなたは、地域での支え合いや助け合いに関心を持っていますか。
(ひとつだけ○)

- | | |
|------------|------------|
| 1 とても関心がある | 3 あまり関心がない |
| 2 少し関心がある | 4 全く関心がない |

問 11 地域における助け合いや支えあいの活動を活発にするためには、どのようなことを充実すべきだと思いますか。(あてはまるものすべてに○)

- | |
|--------------------------------------|
| 1 家庭・学校・職場などで、助け合いや支え合いのこころを育むこと |
| 2 日頃から近所や地域で助け合える信頼関係を築くこと |
| 3 地域の人同士が交流できるイベントなどの機会を設けること |
| 4 介護やボランティア活動の方法などの研修の機会を設けること |
| 5 地域にボランティアなどの活動拠点や組織を整備すること |
| 6 若者や子育て世代が地域に住み、地域活動にも積極的に参加してくれること |
| 7 福祉に関する情報が住民に行き届くこと |
| 8 その他() |

Ⅲ. 健康福祉についておたずねします。

問 12 柏市の健康や福祉に関する情報は、入手しやすいと思いますか。(ひとつだけ○)

- | | |
|------------------|-----------------|
| 1 入手しやすい | 3 あまり入手しにくい |
| 2 どちらかといえば入手しやすい | 4 入手しづらい、わかりづらい |

問 13 柏市の健康や福祉に関する情報を主にどこから入手していますか。
(あてはまるものすべてに○)

- | |
|---|
| 1 福祉関係の人(民生委員・児童委員や社会福祉協議会等の職員)から |
| 2 公民館・子育て関係等の公共施設や、ショッピングモールなどの民間施設でのチラシ等の掲示物から |
| 3 家族や友人、知人、近所の人から |
| 4 新聞やテレビなどのマスメディア媒体から |
| 5 回覧板や町会掲示板から |
| 6 市が発信している行政情報から(ホームページ、SNS、広報かしわ等) |
| 7 (市の公式以外の) SNSや無料動画サイトから |
| 8 イベントや講演から |
| 9 入手できていない |
| 10 その他() |

問 14 健康や福祉に関することで困ったときに、相談できる人は誰ですか。
(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|--------|--------------|
| 1 家族 | 6 民生委員・児童委員 |
| 2 親戚 | 7 柏市健康づくり推進員 |
| 3 近所の人 | 8 職場の上司・同僚 |
| 4 友人 | 9 相談できる人がいない |
| 5 町会役員 | 10 その他() |

問 15 あなたは、健康だと感じていますか。(ひとつだけ○)

- | | |
|------------------|---------------|
| 1 健康だと思う | 3 あまり健康でないと思う |
| 2 どちらかといえば健康だと思う | 4 健康でないと思う |

問 16 あなたは普段どれくらい外出していますか。散歩やウォーキング、買い物など、日課にしていることや、仕事も含めてお答えください。(ひとつだけ○)

1 毎日	4 週 1 日
2 週 4～6 日	5 月に 1～3 回
3 週 2～3 日	6 ほとんど外出しない

問 17 地域的課題（高齢化、少子化に伴う担い手不足等）に対し、あなたが望む解決方法に近いものはどれですか（ひとつに○）

1 自分たちの地域に関わることから、できるだけ住民同士で協力して解決したい
2 地域のことに熱心な人たちが考えてくれるので、その人たちに任せておきたい
3 行政と住民が協力して、解決方法を考えていきたい
4 行政に解決してもらえるように、積極的に要求していきたい
5 考えたことがないのでわからない

問 18 健康や福祉に関する柏市の取り組みについてどう感じますか。次の（１）～（６）のそれぞれについて、当てはまるものを選んでください。(それぞれひとつだけ○)

取り組み		充実している	どちらかといえば充実している	あまり充実していない	充実していない	わからない
(1)	生活が苦しい人が自立した生活を継続できるための支援					
(2)	近所や地域での支え合いの仕組みづくり					
(3)	ボランティアを増やすような支援					
(4)	生活の困りごとを相談できる窓口					
(5)	権利擁護（※）の確保の取り組みを推進している					
(6)	地域活動（イベント等）の場					

※権利擁護…高齢者や障害者の権利を保護し、その人らしく暮らし続けていくことができるようにすることです。

問 19 あなたは、次の相談窓口を知っていますか。
それぞれについて、当てはまるものを選んでください。(それぞれひとつだけ○)

相談窓口		名前も機能も知っている	名前は知っている	知らない
(1)	福祉の総合相談窓口（あいネット）			
(2)	社会福祉協議会			
(3)	地域いきいきセンター			
(4)	地域生活支援拠点			
(5)	地域子育て支援拠点（はぐはぐ広場等）			
(6)	地域包括支援センター			
(7)	民生委員・児童委員			
(8)	家庭児童相談			

Ⅳ. 安全安心の取り組みについておたずねします。

問 20 あなたは、地域の中で安心して生活できていると感じますか。(ひとつだけ○)

- | | |
|-----------------|-------------|
| 1 感じている | 3 あまり感じていない |
| 2 どちらかといえば感じている | 4 感じていない |

問 21 お住まいの地域は障害者・高齢者や子育てをしている方にとって安心して生活できる環境だと思いますか。(ひとつだけ○)

- | | |
|----------------|-----------|
| 1 そう思う | 3 あまり思わない |
| 2 どちらかと言えばそう思う | 4 全く思わない |

問 22 あなたには、災害が起きた時に支援をしてくれる人はいますか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|-------------|-------------------|
| 1 家族 | 6 柏市健康づくり推進員 |
| 2 親戚 | 7 柏市防災福祉K-Net 支援者 |
| 3 近所の人 | 8 その他() |
| 4 友人 | 9 いない |
| 5 民生委員・児童委員 | 10 わからない |

問 23 柏市防災福祉 K-Net を知っていますか。(ひとつだけ○)

- | |
|-------------------------|
| 1 名前・内容ともに知っている |
| 2 名前は聞いたことがあるが、内容はわからない |
| 3 知らない |

問 24 あなたは、災害発生時の避難行動を想定して、どのような事前準備をしていますか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|---------------------|-------------------|
| 1 避難場所の位置を確認している | 4 家族と落ち合う場所を決めている |
| 2 避難所までの避難経路を確認している | 5 特に何も決めていない |
| 3 家族との連絡方法を決めている | |

問 25 近所に「避難行動要支援者※」がいた際は、あなたにどのような手助けができると思いますか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|--------------------|----------------|
| 1 避難の際の声かけ | 4 避難所での身の回りの世話 |
| 2 一緒に避難する | 5 手助けや対応はできない |
| 3 その人の家族など関係先に連絡する | 6 その他() |

※避難行動要支援者とは、高齢者、障害者、乳幼児、妊産婦、児童、傷病者、外国人など、避難時に特に配慮を要する方のうち、自ら避難することが困難な方です。

問 26 あなたは、「成年後見制度※」を知っていますか。(ひとつだけ○)

- | |
|-------------------------|
| 1 言葉・制度の内容ともに知っている |
| 2 言葉は聞いたことがあるが、内容はわからない |
| 3 知らない |

※成年後見制度とは、知的障害・精神障害・認知症などによってひとりで決めることに不安や心配のある人が、いろいろな契約や手続をする際にお手伝いする制度です。

問 27 あなたは、「社会を明るくする運動※」という言葉や内容を知っていますか。
(ひとつだけ○)

- 1 言葉・内容ともに知っている
2 言葉は聞いたことがあるが、内容はわからない
3 知らない

※社会を明るくする運動とは、犯罪や非行の防止と犯罪や非行をした人たちの更生につて理解を深め、それぞれの立場において力を合わせ、犯罪や非行のない安全で安心な明るい地域社会を築いていく運動です。

問 28 非行や犯罪を犯した人の立ち直りや再犯防止に何が必要だと思いますか。
(あてはまるものすべてに○)

- 1 支援する窓口を充実すること
- 2 仕事に就く機会を充実することや協力雇用主を増やすこと
- 3 就業できるように学習支援や資格取得の支援を行うこと
- 4 犯罪を地域の問題として捉え、地域ぐるみで再犯防止に向けた支援をすること
- 5 刑期を終えた後などに住むことができる場所を提供すること
- 6 学校等と連携した就学支援を行うこと
- 7 犯罪や非行の特性に応じた改善のための支援をする団体との連携強化
- 8 住民に対して、再犯防止について広報・啓発活動をする事
- 9 その他（
- 10 特にない

問 29 「みんなが安心して安全に暮らせまちづくり」や、「みんなで助け合い・支え合える地域をつくるため」のためにはどのようなことが必要だと思いますか。あなたの考えや意見を自由にお書きください。

[illegible]

V. あなたご自身についておたずねします。

1) あなたの性別をお答えください。(ひとつだけ○)

- 1 男性 2 女性 3 答えたくない

2) あなたの年齢にあてはまるものをお答えください。(ひとつだけ○)

- | | | | |
|---|-------|---|-------|
| 1 | 20代以下 | 5 | 60代 |
| 2 | 30代 | 6 | 70代 |
| 3 | 40代 | 7 | 80代以上 |
| 4 | 50代 | | |

3) あなたがお住まいの地域の郵便番号(下5けた)を数字でご記入ください。

郵便番号	2	7		—				
------	---	---	----------------------	---	----------------------	----------------------	----------------------	----------------------

4) あなたは現在の地区(3で回答された地区)に何年住んでいますか。
(ひとつだけ○)

1 50年以上住んでいる	4 5～9年住んでいる
2 20～49年住んでいる	5 住み始めてから5年に満たない
3 10～19年住んでいる	

5) あなたの職業は何ですか。(ひとつだけ○)

1 常勤の社員・職員(正規雇用)	4 その他の仕事
2 アルバイト・パート・労働者派遣事業 ・契約社員・嘱託等(非正規雇用)	5 学生
3 自営業・自由業	6 その他()

6) あなたの家族構成を選んでください。(ひとつだけ○)

1 ひとり暮らし世帯	4 親と子と孫の3世代世帯
2 夫婦のみの世帯	5 その他()
3 親と子の2世代世帯	

7) あなたのお住まいの居住形態は、どれにあたりますか。(ひとつだけ○)

1 持ち家	3 社宅・寮・シェアハウス
2 賃貸	4 その他()

アンケートは以上となります。ご記入ありがとうございました。

柏市地域健康福祉アンケート調査 結果報告書 〈市民〉

令和6年3月

発行：柏市役所 福祉部 福祉政策課
